平成２６年度事業報告（総括）

平成２６年度は、第４次中期経営計画（平成２６年度～３０年度）の初年度として、『持続可能な安定した経営』を目標に掲げ、法人経営を進めてまいりました。

譲渡施設にあっては、自立支援を目的にした新たな運営理念を定め、サービス及び支援内容の見直しを行いました。各施設では、利用者の自己選択と自己決定に基づくサービスの充実に取り組み、個別支援による活動の強化を図りました。また、その取り組みを地域の方々や関係機関に知っていただくために、特に広報ＰＲ活動に努めました。

広報活動については、この自立化を機に、一般の方にも広く法人を知っていただくための初めての試みとして、ハートページや市政だより等フリーペーパーや市電広告、ラジオ広告などの広報媒体を利用した広報ＰＲに取り組みました。また、ホームページのトップページやポスター等に、利用者が製作したイラストを使用し、全体の雰囲気を明るく親しみやすいデザインに一新しました。

高齢者サービスの入口にあたる居宅介護支援事業所では、平成と北部の２カ所に新たな居宅介護支援事業所を開設しました。このことによりデイサービスや訪問介護事業のある市内５拠点において、居宅介護支援事業所と連携したサービス提供ができる体制を整えました。また、従来のヘルパーステーションの事業所化に取り組み、新年度は市内６つのヘルパー事業所として、より地域と密着したサービスを展開してまいります。

これらの取り組みによる法人全体の決算といたしましては、自立化初年度の目標額には若干、届きませんでしたが、約７，０００万円の黒字決算を迎えることができました。しかし、この内訳を見ると、主力である介護サービス事業の多くで前年度を下回る実績となりました。この実態を踏まえた上で、２７年度は事業計画を策定し取り組みを進めております。また、本年度より譲渡を受けた施設の将来の建替資金として建替積立を始めました。市からの自立化支援補助金３億円と明生園で独自に３千万円、計３億３千万円の建替積立金を実施いたしました。

新年度は介護サービス、障がい福祉サービスともに報酬改定を迎え、さらに厳しい年度となりますが、経営目標の達成に向け、職員一丸となって努力してまいる所存です

法　人　本　部

Ⅰ　法人としての取り組み

平成２６年度は第４次中期経営計画の初年度として、自立化後の持続可能な安定した法人経営を目指し、各事業における運営理念及び基本方針を見直し、全職員の共有を図ってまいりました。また、譲渡施設等を中心とした法人全体の収支均衡の達成、建替積立金の積み立て等の確実な実施に向けて法人本部（総務部）と事業部（高齢者事業部及び障がい福祉部）が相互の連携を図り、自立した事業経営の実現に取り組んでまいりました。

１．２６年度の取り組み

（１）経営目標の確実な実施及び法人の安定経営について

①　事業推進会議等の実施について

・各事業における目的意識及び課題解決意識の共有を図るため事業推進会議を３回開催し、うち半期での実施時には各施設に出向き開催しました。また、施設長会議を毎月実施し、譲渡施設等の経営状況の共有を図りました。

②　月次実績報告書等について

・主体的な事業経営の推進を図るため、月次実績報告書の提出により重点課題の整理を行い各事業・所管部と連携し、課題解決に向けた取り組みの共有に努めました。また、月次試算表において会計処理状況及び予算執行状況の把握に努め、内部経理監査の実施、会計ソフトの操作指導、会計研修の実施等をとおして適正な会計処理と予算執行の強化を図りました。

③　効率的な業務体制の確立について

・労務管理における定型的な業務の一部については、社労士事務所へのアウトソーシングを行い効率的な業務体制の構築を行いました。

④　建替積立金について

・熊本市からの自立化支援経費については、各譲渡施設において建替積立金として積み立てを行い適切な管理を実施しました。

（２）人材育成体制の整備について

①　人材育成プランについて

・法人が求める人材像の明確化及びキャリアパスの制度化を目標に検討を行いましたが、充分な形として示すことができなかったため、引き続き検討を重ねてまいります。

（３）人事管理制度の整備について

①　トータル人事管理の明示について

・人事評価、賃金、育成研修、人事等をトータルに連動させる仕組みづくりのため、素案作成を進めましたが、職員への明示には至りませんでした。

②　人事考課制度の運用について

・プロパー職員の人事考課制度導入から２年目となりますが、制度理解の醸成を図るため考課者研修・被考課者研修等を実施し、公平性・透明性・納得性を高める運用を図りました。

・有期契約職員への人事考課制度については、案を検討作成しましたが試行導入まで至らず、次年度の課題として残りました。

③　職員採用について

・職員採用試験の実施により１３名の新規採用を行い、一般職９名の他、看護師２名、作業療法士１名、理学療法士１名の専門職員を採用し、各施設等へ配置しました。

２．２６年度の経営状況（単位：円）

	当期収入合計	当期支出合計	当期資金収支差額
法人合計	4,508,148,297	4,618,236,858	▲110,088,561
※積立分を除く法人合計	4,508,148,297	4,438,236,858	69,911,439

※前期末支払資金残高から繰り入れ、施設整備積立金へ積み立てた 150,000 千円及び明生園の当期資金収支差額から積み立てた 30,000 千円を除く。

３．２６年度目標に対する成果

法人の経営目標として、自立化支援経費を除く当期資金収支差額から４０，０００千円の建替積立金を掲げていましたが、明生園において３０，０００千円の積み立てに留まりました。

Ⅱ　運営管理

（1）理事会

開催回数	期　　日	審　　議　　事　　項
第１回理事会	平成 26.4.1	１．理事長の互選について ２．副理事長の同意について ３．常務理事の同意について ４．入札及び契約について
第２回理事会	平成 26.5.28	１．平成２５年度事業報告について ２．平成２５年度決算報告について ３．平成２６年度第１回収入支出補正予算について ４．規程の制定について ５．報告事項
第３回理事会	平成 26.9.25	１．役員の選任同意について ２．平成２６年度第２回収入支出補正予算について ３．諸規程の改正等について
第４回理事会	平成 27.3.17	１．平成２６年収入支出補正予算について ２．平成２７年度事業計画について ３．平成２７年度収入支出予算について ４．定款の一部変更について ５．諸規程の改廃について ６．新任施設長等の同意について ７．入札及び契約について

（2）評議員会

開催回数	期　　日	審　　議　　事　　項
第１回評議員会	平成 26.5.28	１．平成２５年度事業報告について ２．平成２５年度決算報告について ３．平成２６年度第１回収入支出補正予算について ４．規程の制定について ５．報告事項
第２回評議員会	平成 26.9.25	１．役員の選任同意について ２．平成２６年度第２回収入支出補正予算について ３．諸規程の改正等について
第３回理事会	平成 27.3.17	１．平成２６年収入支出補正予算について ２．平成２７年度事業計画について ３．平成２７年度収入支出予算について ４．定款の一部変更について ５．諸規程の改廃について ６．新任施設長等の同意について ７．入札及び契約について

（3）監事の監査

期　　日	会　　場	実 施 者	監　査　事　項
平成 26.5.22	法人本部	重岡監事 大熊監事	１．平成２５年度　会計収支決算 ２．平成２５年度　事業実施状況

（4）指導監査等

区　　分	期　　日	会　　場	実 施 者	監　査　事　項
熊本県指導監査	平成 26.7.4	雁回敬老園	県健康福祉部 社会福祉課	１．事業実施状況 ２．運営管理状況 ３．予算、経理状況 ４．入所者の処遇状況
熊本市指導監査	平成 26.12.2	明生園	市健康福祉子ども局 指導監査課	１．事業実施状況 ２．運営管理状況 ３．予算、経理状況 ４．入所者の処遇状況
熊本市指導監査	平成 26.12.11	明飽苑	市健康福祉子ども局 指導監査課	１．事業実施状況 ２．運営管理状況 ３．予算、経理状況 ４．入所者の処遇状況
熊本市指導監査	平成 26.12.18	法人本部	市健康福祉子ども局 指導監査課	１．法人運営状況
熊本市実地指導	平成 27.3.11	長寿の里 認知症対応型デイ	市健康福祉子ども局 高齢介護福祉課	１．事業実施状況 ２．運営管理状況 ３．予算、経理状況 ４．利用者の処遇状況

（5）内部経理監査

期　　日	会　　場	実 施 者	監　査　事　項
平成 26.9.29 ～ 平成 26.11.28	各拠点及び本部	内部経理監査 担当者	１．各拠点区分予算執行状況 ２．各拠点区分会計処理状況
平成 27.1.26 ～ 平成 27.3.2	各拠点及び本部	内部経理監査 担当者	１．各拠点区分予算執行状況 ２．各拠点区分会計処理状況

Ⅲ　職員研修

内部研修実施状況

期　　日	研　　修　　名	参加者数
平成 26. 4.1～4	平成 26 年度新規採用職員研修	6 名
平成 26. 4.23，4.25	平成 26 年度新規有期契約職員研修	26 名
平成 26. 5 月～8 月	事業団内外施設、事業所体験研修	27 名
平成 26. 5.19	第 1 回人事考課者研修	16 名
平成 26.7.16	第 1 回管理職員研修	17 名
平成 26.8.13	第 2 回人事考課者研修	17 名
平成 26.9. 10，9.12， 9.17，9.19	会計事務研修	61 名
平成 26.9.25	第 3 回人事考課者研修	35 名
平成 26.10.30	アンガーマネジメント研修	19 名
平成 26.11.12	管理職員研修	33 名
平成 26.11.19，11.26	営業・広報研修	34 名
平成 27.1.15	メンタルヘルス研修	33 名
平成 27.2.19	コーチング研修	40 名
平成 27.3.19	第 4 回考課者研修	15 名

外部研修実施状況

期　　日	研　　修　　名
平成 26.7.9	育児・介護休業制度等に関する講習会
平成 26.9.8	平成 27 年度介護保険制度改正速報セミナー
平成 26.10.17	平成 26 年度社会福祉法人会計実務（基礎）研修会
平成 26.10.2	平成 26 年度社会福祉法人労務研修会
平成 26.10.17	平成 26 年度社会福祉法人会計実務（基礎）研修会
平成 26.10.22	平成 26 年度　エグゼクティブセミナー
平成 26.10.30~31	第 15 回　介護保険推進全国サミット in くまもと
平成 26.10.31	高年齢者雇用推進セミナー
平成 27.1.27	改正パートタイム労働法及び改正次世代育成支援対策推進法等説明会
平成 27.1.28	マイナンバー制度に対するセミナー
平成 27.2.12	平成 26 年度社会福祉法人会計実務（実務）研修会
平成 27.2.19~20	平成 26 年度九社連老人福祉施設協議会施設長研修会

明　生　園

Ⅰ　施設運営の状況

（1）２６年度の取り組み

1．入居者サービスの質の向上

①自立に向けた個別支援プランの策定と実施

個室化によるプライバシーの保護と引きこもり防止に伴う個別ケアを重点とした個別支援プランを策定し支援を実施しました。

②入居者ひとりひとりが生きがいを持って生活できるように、入居者の趣味趣向の幅を広げるクラブ活動や「いきいき倶楽部」の活動として園内外整備、食事の配膳下膳、食堂内の清掃等の自己選択・自己決定のもとで活動できるメニューを提供することができました。

③介護サービス事業者との連携

入居者の生活の質の向上と、介護サービス利用率向上のためにケアマネージャーやサービス提供事業者と随時調整を図りました。

④ボランティアの導入

社協ボランティアや地域婦人部、老人会等に働きかけ、歌や楽器演奏のボランティアの協力を得ることができました。

⑤施設設備の開放

施設の社会化の一環として、談話室や多目的室を地域に開放し、地域住民の方々の余暇活動の場として活用されました。

⑥地域との連携

明生園の現状と課題について、地域の皆様に理解してもらい、より連携を深める為に、地域の自治会、民児協の会議に参加し施設の PR ができました。

2．人材の確保と育成

①職員の資質向上のための研修会の実施

職員が園内外研修にできるだけ数多く参加するようにしました。特に認知症の支援に係る研修は他事業との共同での実施参加ができました。その他、職員へは支援に対しての基本的姿勢、支援マニュアルを作成し冊子を配布して資質向上に努めました。

②資格取得のサポートの実施（相談員・支援員）

事業団助成制度の利用を促進し、園としても資格取得に関して、勤務ローテーションへの配慮等、資格取得がより容易になるようにサポートし、３名が介護福祉士試験に合格しました。

③リーダーの育成

部門ごとの主任をリーダーとして、部門ごとや全体でのカンファレンスを通して意見をまとめたり、自らの提案を実践できました。

（2）　２６年度の成果目標

・利用者満足度アンケートにおいて８０%以上を目標とし、結果は９０%と達成できました。
・「いきいき倶楽部」の登録者数２０名以上を目指し、登録者２５名となり目標達成できました。
・給食満足度調査において、満足度合が９０%以上を目指し、アンケートの結果９６%と達成できました。
・要介護（支援）者の外部介護サービスの利用率は９０%を目標とし、結果９３%で目標達成できました。

Ⅱ　利用者の状況

【日課表】

6:00	8:15	9	10	11	12	13	14	15:30	16	17	18	19	20	21:00
起床	洗面　朝食	介助浴（月水金）	クラブ活動	健康レクリ　昼食		一般浴（月水金）	クラブ活動等	おやつ	体操		夕食	自由	就寝	

(1) 入退所の状況　（定員：120 名）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍者数	114	112	110	110	110	111	112	118	117	120	114	113	1361
入　所	0	0	1	0	1	2	7	1	5	0	1	0	18
退　所	2	2	1	0	0	1	1	2	2	6	2	2	21

(2) 年齢別（平成 27 年 3 月 31 日現在）

	55 ～ 64	65 ～ 69	70 ～ 74	75 ～ 79	80 ～ 84	85 ～ 89	90 ～ 94	95 ～ 99	100 以上	計	平均年齢
男	0	1	11	7	8	3	3	1	0	34	79.7
女	0	2	9	10	20	19	14	3	0	77	83.6
計	0	3	20	17	28	22	17	4	0	111	83.0

(3) 在所期間（平成 27 年 3 月 31 日現在）

在所期間＼性別	男	女	計	比率（%）
1 年未満	3	10	13	11.7
1 年以上 3 年未満	14	23	37	33.3
3 年以上 5 年未満	4	11	15	13.5
5 年以上 10 年未満	6	25	31	27.9
10 年以上 15 年未満	4	6	10	9.1
15 年以上 20 年未満	1	1	2	1.8
20 年以上	2	1	3	2.7
計	34	77	111	100

(4) 日常生活状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

区　分	自　立	一部介助	全介助	合　計
歩　行	95	12	4	111
入　浴	69	36	6	111
食　事	99	12	0	111（特別食 45）
着脱衣	79	28	4	111
排　泄	74	35	2	111（紙パンツ 52）

(5) 要介護者と介護サービス利用状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

介護度	人　数	介護サービス利用者		未利用者
		男性	女性	
要介護 5	0	0	0	0
要介護 4	4	2	2	0
要介護 3	10	1	9	0
要介護 2	12	6	6	0
要介護 1	37	10	25	2
要支援 2	4	1	3	0
要支援 1	7	2	2	3
計	74	22	47	5

(6) 外部介護サービス利用人数の推移（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
訪問介護	31	30	36	36	43	44	42	45	43	46	46	48
通所（中央）	11	14	14	14	14	16	16	17	19	21	21	23
通所（西里）	22	22	21	22	19	19	19	18	19	18	22	21
通所（長寿）								2	2	2	3	3
計	64	66	71	72	76	79	77	82	83	87	92	95

Ⅲ　年間行事

月	施設行事	明飽園･雁回敬老園との合同行事	食事関係	保健衛生関係	防災関係	地域交流･実習･ボランティア等
4	朝礼・誕生会		食事委員会 セレクトメニュー	感染症対策委員会害虫消毒	電気設備点検	琵琶演奏ボランティア
5	しょうぶ湯 母の日		食事委員会 セレクトメニュー	害虫消毒	消防設備点検　防災訓練	音楽ボランティア 螢光保育園交流会 針灸ボランティア 熊本支援学校実習
6	父の日 七夕飾り	輪投げ大会	お好み喫茶 セレクトメニュー	感染症対策委員会 利用者健康診断 害虫消毒	安全委員会	花園小 4 年生交流会 城西ひよっとこ愛笑会 あっぱれ座演芸会 螢光保育園七夕飾会 崇城大学学生実習 九州中央リハビリテーション学生実習

月	施設行事	明飽園･雁回敬老園との合同行事	食事関係	保健衛生関係	防災関係	地域交流･実習･ボランティア等
7	日帰り旅行 町内納涼 盆踊り大会		セレクトメニュー	利用者健康診断 害虫消毒 AED 研修		盆踊りの練習（地域婦人部） 針灸ボランティア 浄土宗青年会ボランティア 花園小 4 年生交流会 シルバーボランティア
8	慰霊祭		食事委員会 セレクトメニュー	感染症対策委員会 全館消毒	防災訓練（夜間）	崇城大学学生実習 学園大生実習 針灸ボランティア ルーテル大ボランティア実習 琵琶演奏ボランティア 歌謡ボランティア
9	飾り馬訪問 花園こども神輿 敬老の集い		お好み喫茶 セレクトメニュー	害虫消毒		町内敬老会参加 花園小 4 年生交流会 熊本支援学校実習 ルーテル大ボランティア実習 熊本看護学生実習
10	小ｸﾞﾙｰﾌﾟ外出（買い物･外食）	合同運動会	セレクトメニュー	害虫消毒		螢光保育園運動会参加 チョンかけごまボランティア 健康体操講座 熊本看護学校生実習 崇城大学学生実習 ルーテル大ボランティア実習
11	小ｸﾞﾙｰﾌﾟ外出（買い物･外食） 不在者投票		セレクトメニュー 食事委員会	感染症対策委員 インフルエンザ予防接種 害虫消毒	消防設備点検 避難訓練	熊本看護学校生実習 シルバー人材花園地区除草ボランティア 花園コミセンまつり柿原地区町内一斉清掃 バイオリン演奏ボランティア

月	施設行事	明飽園･雁回敬老園との合同行事	食事関係	保健衛生関係	防災関係	地域交流･実習･ボランティア等
12	小ｸﾞﾙｰﾌﾟ外出 (買い物･外食) 不在者投票 忘年会 餅つき ゆず湯 いきいき倶楽部感謝の集い		食事委員会 お好み喫茶 セレクトメニュー	救急法研修 害虫消毒	防災対策委員会	熊本看護学校生実習 花園小学校発表会参加 クリスマスケーキ寄贈　学園大ボランティア ルーテル大ボランティア実習 針灸ボランティア はなぞの学苑クリスマスコンサート参加
1	新年のつどい		おせち料理 セレクトメニュー 給食アンケート	介護保険関係委員会 感染症対策委員会 害虫消毒 設備点検	設備点検	柿原校区どんどや 熊本医療センター付属看護生実習 針灸ボランティア 口腔ケア講座 手話ダンスボランティア
2	節分豆まき		食事委員会 セレクトメニュー	健康診断 害虫消毒		恵方巻き寄贈 塋光保育園交流会 針灸ボランティア 日舞ボランティア
3	花見 いきいき倶楽部感謝の集い		セレクトメニュー	感染症対策委員 全館消毒 防災訓練	総合防災訓練(夜間想定)	チョンかけごまボランティア 音楽ボランティア 尺八演奏ボランティア　琵琶演奏ボランティア

《定例行事》
朝礼（利用者・職員全員／月１回）
健康レクリエーション（毎日午前 10:40～11:00）
入浴(毎週月・水・金の午前・午後)
誕生会（月初め）　理容カット（月１回）
映画上映（毎週日曜日）　美化活動（毎週土曜日）

《クラブ活動》
書道　生花　紙粘土　カラオケ　吟詠　折り紙

《いきいき倶楽部活動》
園内外清掃　園庭整備　食事配膳下膳　食堂清掃

Ⅳ　職員研修

期　　間	場　　所	研　　修　　名
6 月 26 日	熊本市	熊本市老人福祉施設協議会職員研修会
7 月 16 日	熊本市	調理員研修会
7 月 17 日～18 日	宮崎市	九社連老施協研究大会
8 月 6 日	熊本市	栄養士・調理師研修会
10 月 7 日～８日	熊本市	モチベーションアップ研修会
10 月 10 日	熊本市	福祉職員救急法研修会
10 月 21 日～22 日	熊本市	運営管理職員研修会
10 月 30 日～31 日	熊本市	介護保険推進全国サミット in くまもと
10 月 27 日～28 日 11 月 10 日～11 日	熊本市	カウンセリング研修会
11 月 5 日	熊本市	福祉職員レクリエーション研修会
11 月 5 日	熊本市	感染症及び食中毒対策研修会
11 月 7 日	熊本市	福祉サービス苦情解決研修会
11 月 20 日	熊本市	熊本県老施協養護老人ホーム職員研修会
12 月 1 日	熊本市	社会福祉法人法令関係研修会
1 月 20 日～21 日	熊本市	相談面接技術
1 月 23 日	熊本市	熊本市老人福祉施設協議会施設長・管理職研修会
２ 月 ６ 日	熊本市	成年後見制度利用促進研修会
２月６日	熊本市	熊本県老施協養護老人ホーム職員研修会
２月 19 日～２月 20 日	熊本市	九社連老人福祉施設協議会施設長研修会
３月９日～３月 10 日	横浜市	生活相談員研修会

明　飽　苑

Ⅰ　施設運営の状況

（1）２６年度の取組み

１．入所者サービスの質の向上

①自己選択と自己決定に基づく個別支援の取り組み強化

入所者の要望やニーズを把握するためにアンケートを実施し、それをもとに活動メニューの充実を図りました。個別の希望の実現として「夢かなえますプロジェクト」を実施し、お墓参りや買い物・外食、また定期的に図書館にでかける等の外出を支援しました。さらに苑内においても食堂の一角に新たに談話コーナーを設け創作活動などの場に使用し、また毎日午前に「わくわくタイム」を実施し健康体操やレクレーションを企画するなど、入所者の自発的な活動の意欲につながるような環境整備と個々の入所者に視点を置いた支援に取り組みました。

②入所者の主体的な参加による活動の支援

できることをできる範囲で自発的に行う「はつらつクラブ」を開始しました。活動内容は、洗濯たたみや清掃、草花の手入れや生け花、草取り、食事の片づけの手伝いなどから、カレンダーの創作といった活動なども取り入れ、内容や参加者も広がっています。また活動に応じてスタンプを集めるカードも作成し、参加と活動が入所者の生きがいや健康維持につながるよう取り組みました。

③地域交流の充実

近隣の中学校のナイストライの受け入れや、地域の保育園、熊本支援学校生や看護学校生の実習等積極的に受け入れ、利用者との交流を図りました。また童謡・詩吟・習字の指導、洗たく物たたみや傾聴、さらに月１回の演奏や舞踊といったイベント等にボランティアの方を活用し交流と入所者の余暇の充実に努めました。

④各地域包括支援センターとの連携強化

包括支援センターや居宅介護支援事業所、高齢介護福祉課など関係機関にＰＲや広報を行うと共に、様々なケースの支援を通して相互の連携強化と信頼の構築を図りました。

⑤長寿の里との給食業務一体化によるサービスの強化

通所サービスと生活の場という２施設の性質上、対象者のニーズに違いがあり、取り組んでいく過程で課題が多く見受けられました。その中で、明飽苑での一括調理は水道光熱費の削減は図られましたが、限られた時間・スペースの中での調理は制限や問題点も多く、解決のためには大規模なハード面の整備も必要なため各施設で調理を行うことになりました。

⑥ショートステイ事業

短期宿泊事業については、そのニーズに応える為夜間や急な依頼に対しても柔軟に対応し受け入れた。年間述べ人数130名と、前年度述べ人数９名と比較し利用が大幅に増加しました。

２．人材の確保と育成

人材確保として、熊本市福祉人材確保支援事業を活用し、２名の研修受け入れを行い、１名を採用しました。また支援のレベルアップを図る為、介護講座や認知症研修、権利擁護研修、施設研修（くわのみ荘、明生園）など各種外部研修や苑内におけるＯＪＴ研修を行い人材育成に積極的に取り組みました。

（2）26 年度の成果目標

・利用者満足度アンケートにおいて 80%以上をめざす。

満足度　88%　(平成 27 年 2 月アンケート実施)

・給食満足度調査において、満足度合が 95%以上を目指す。

満足度　96%

・要介護者 90%以上の外部介護サービスの利用

利用率　91%

【日課表】

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
起床	洗面	朝食		クラブ活動	わくわくタイム 口腔体操	昼食		入浴	おやつ	余暇活動	口腔体操	夕食	自由		就寝

（入浴　月・水・金　13：00～介助浴　　14：00～一般浴　　）

Ⅱ　入所者の状況

(1) 入退所の状況　　定員：50 名（平成 27 年 3 月 31 日現在）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍者数	47	45	47	46	48	48	49	50	50	50	47	47	576
入　所	1	0	2	2	1	0	1	1	1	0	1	2	12
退　所	2	0	1	0	1	0	0	1	0	4	0	0	9

退所の内訳

（・死亡 4 名　・特養入所 1 名　・療養病床 2 名　・家族と同居 1 名　・他養護へ変更 1 名　）

(2) 年齢別　　（平成 27 年 3 月 31 日現在）

	55～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計	平均年齢
男	0	1	3	0	2	3	2	2	0	13 名	83.54 歳
女	0	0	3	7	5	8	9	4	0	36 名	85.72 歳
計	0	1	6	7	7	11	11	6	0	49 名	85.14 歳

(3) 在所期間　（平成 27 年 3 月 31 日現在）

性　別 在所期間	男	女	計	比率 (%)
1 年未満	3	6	9	19
1 年以上　3 年未満	3	5	8	16
3 年以上　5 年未満	1	7	8	16
5 年以上 10 年未満	3	12	15	31
10 年以上 15 年未満	3	2	5	10
15 年以上 20 年未満	0	3	3	6
20 年以上	1	0	1	2
計	14	35	49	100

(4) 日常生活状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

区　分	自　立	一部 介助	全介助	合 計
歩　行	30	11	8	49
入　浴	10	29	10	49
食　事	40	6	3	49
着脱衣	36	5	8	49
排泄	38	6	5	49

(5)外部介護サービス利用状況

①要介護状態　（人）　（平成２７年３月 31 日現在）

要介護５	要介護４	要介護３	要介護 ２	要介護１	要支援２	要支援１	自立	合計
4	2	3	１０	１６	6	6	2	４９

②通所系サービスおよび福祉用具貸与

介護度	サービス内容						
	通所介護または通所リハ(人)						福祉用具貸与(人)
	1 回/週	2 回/週	3 回/週	4 回/週	5 回/週	6 回/週	
要介護５	0	1	2	0	0	1	3
要介護４	0	0	0	0	1	0	2
要介護３	0	0	2	0	1	0	3
要介護２	1	0	1	3	0	1	１０
要介護１	0	4	5	2	0	0	１０
要支援２	0	4	0	0	0	0	2
要支援１	4	1	0	0	0	0	0
合計（人）	5	１０	１０	5	2	2	３０

③訪問系サービス

介護度	サービス内容							
	訪問介護（人）					訪問入浴（人）	訪問リハビリ(人)	
	1 回/週	2 回/ 週	3 回/ 週	1 回/ 日	2 回以 上/日	1 回以上/週	1 回/週	2 回/週
要介護５	0	0	0	0	3	1	0	0
要介護４	0	0	0	0	0	0	1	0
要介護３	0	1	0	0	0	0	0	0
要介護２	0	2	0	0	0	0	1	0
要介護１	0	2	0	0	0	0	1	0

介護度	サービス内容							
	訪問介護（人）					訪問入浴（人）	訪問リハビリ(人)	
	1回/週	2回/週	3回/週	1回/日	2回以上/日	1回以上/週	1回/週	2回/週
要支援2	0	1	0	0	0	0	0	0
要支援1	2	0	0	0	0	0	0	0
合計（人）	2	5	0	0	3	1	3	0

④介護タクシー利用者状況（通院介護等）　（人）

要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援2	要支援1	合計
2	1	1	5	3	0	0	12

Ⅲ　年間行事

月	ホーム行事	食事関係	明生園との合同行事
4	琵琶演奏	セレクトメニュー	
5	菖蒲湯	セレクトメニュー	
6	笑笑笑う会　苑内模擬店舗(衣料) 小グループ外出	セレクトメニュー	
7	七夕祭　納涼祭　避難訓練	七夕メニュー、納涼祭メニュー	
8	慰霊祭	セレクトメニュー	3施設合同 輪投げ大会
9	敬老のつどい	セレクトメニュー	
10	茶会（お月見会） 茶屋桃子コンサート 苑内スポーツ週間	セレクトメニュー	合同運動会
11	日帰り旅行(観劇) 小グループ外出(食事)　不在者投票 ジェラードコンサート	セレクトメニュー	
12	ゆず湯　餅つき　不在者投票 小グループ外出(買い物・ドライブ) きまぐれーズコンサート	クリスマスバイキング セレクトメニュー	
1	新年祝賀会　新年茶会、初風呂 笑笑笑う会	おせち料理　鏡開き セレクトメニュー	
2	豆まき　健康診断 大正琴コンサート あきた東保育園との交流会	セレクトメニュー	
3	ひな祭り茶会、花見　総合防災訓練 グループさくらコンサート	ひな祭りメニュー セレクトメニュー	
定例行事	合同ミーティング（給食委員会含む）、誕生会、屋内点検、童謡ボランティア（月1回） 書道・詩吟ボランティア(月2回)　理容カット（月2回）図書館の日(月1回) 健康体操（毎日）、健康診断（年2回）、予防接種（日本脳炎、インフルエンザ） 全館消毒（年2回）　誕生月の方の買い物(月1回)		
その他	実習生～熊本看護学校生、国立病院熊本医療センター付属看護学校生、三和中ナイストライ 熊本支援学校生 寄贈～大野商事、市老人クラブ連合会、日本たばこ産業、鶴屋百貨店、 海苔で健康推進委員会九州ブロック		

Ⅳ　職員研修

期　　日	場　　所	研　　修　　名
6 月 7 日	熊本市	防災講習会(1 名)
6 月 14 日	熊本市	熊本県栄養士会福祉事業部研修会（1 名）
6 月 16 日	熊本市	社会福祉法人会計研修　　(1 名)
6 月 20 日	熊本市	第 1 回福祉職員レクレーション研修（1 名）
6 月 25 日～ 9 月 17 日	熊本市	県民介護講座　　(2 名)
6 月 26 日	熊本市	身体にやさしい介助(2 名)
8 月 6 日	熊本市	老人福祉施設栄養士・調理師研修会(1 名)
7 月 16 日	熊本市	食中毒予防について(1 名)
9 月 19 日～ 10 月 8 日	熊本市	明生園一日現場研修(4 名)
9 月 26 日	熊本市	熊本県栄養士会福祉事業部第 2 回研修会(1 名)
10 月 2 日	熊本市	社会福祉法人労務研修会(2 名)
10 月 16 日～ 2 月 18 日	熊本市	認知症研修会(12 名)
10 月 17 日	熊本市	社会福祉法人会計実務(基礎)研修会(1 名)
10 月 28 日	熊本市	くわのみ荘デイサービスセンター(2 名)
10 月 30 日	熊本市	介護保険推進全国サミットｉｎくまもと（1 名）
10 月 30 日	熊本市	アンガーマネジメント入門講座(1 名)
11 月 6 日	熊本市	栄養管理・調理師合同研修会（1 名）
11 月 7 日	熊本市	福祉サービス苦情解決研修会(1 名)
11 月 13 日	熊本市	熊本県老施協養護老人ホーム職員研修会　(2 名)
12 月 1 日	熊本市	社会福祉法人法令関係研修　(1 名)
1 月 17 日	熊本市	熊本県社会福祉施設協議会研究大会(3 名)
1 月 18 日	熊本市	熊本県老人福祉施設研究会　（3 名）
1 月 23 日	熊本市	熊本市老人福祉施設協議会施設長・管理職研修会(1 名)
1 月 31 日	熊本市	熊本県栄養士会福祉事業部第 3 回研修会(1 名)
2 月 17 日	熊本市	熊本市老人福祉施設協議会職員研修(4 名)
2 月 18 日	熊本市	熊本県有料老人ホーム等介護従事者権利擁護推進研修(2 名)
平成 27 年度 参加延べ人数 53 名		

熊 本 市 立 雁 回 敬 老 園

Ⅰ　施設運営の状況

（１） 26 年度の取り組み

① 介護予防の取り組み強化

基本理念である「笑顔で明るく楽しい施設を目指します！」のスローガンのもと、入所者主体の自立支援の観点より、日々の健康体操や嚥下体操を実施するなど引き続き生きがいと心身の健康維持を図りました。

また、入所者の要介護状態は年々重度化しており、要介護者に対しては、訪問介護での入浴やデイサービス等の介護保険サービスの利用の推進を図り、ケアの充実、個別支援に努めました。

② 地域交流の充実

花見、運動会、どんどやに地域の老人会を招待開催し、地域に貢献出来る施設を目指しました。また、校区内の三つの保育園からも運動会に参加していただき、入所者との触れ合いの機会を図りました。

理容カットや清掃活動のボランティアを受け入れ入所者のサービスを図りました。また、地域の踊りや、びわ演奏などの発表も積極的に受入れ、入所者に楽しんでいただきました。ただ年度後半は工事のため受入が困難だったのが残念でありました。

③ 地域包括支援センター等との連携強化

問い合わせがあった近隣の地域包括支援センターには勿論のこと、遠隔の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所へ即時訪問し、園の説明を行うなど連帯の強化を図りました。また、各関係行政機関には積極的なＰＲや広報活動を行いました。また、定期的に開催される校区自治会長会議、民生・児童委員会議への出席、地域包括ケア会議にも出席し関係情報の収集・広報に努めました。

④ 自己選択と自己決定に基づく個別活動の充実

園では自己の選択により生花・踊り・カラオケ・パステル画のクラブ活動を決定していただき、入所者間の交流を図りました。

また、輪投げ大会、運動会など明生園・明飽苑と合同行事の開催、宇城地区の芝光苑・松寿園との三施設合同によるペタンク大会、輪投げ大会、スカットボール大会を実施するなど、各施設の入所者間の交流を深めました。

季節行事や、3 か月に 1 回の誕生会を実施し、入所者が日々楽しく笑顔で生活できるように努めました。また、各人の希望選択により社会体験活動（個別旅行）も実施しました。

⑤ 食事満足の向上に向けたサービス強化

利用者への嗜好調査をもとに、パン食希望の方へパンの提供、自己の選択によるセレクトメニューを随時行いました。また、糖尿病や肝臓病、高血圧等の病気に応じた食事の提供、個々の口腔の状態と嗜好を考慮した代替食、キザミ・トロミ食やおかゆを提供し、サービスの強化に努めました。さらには、誕生日当日に本人希望の大好物を特別料理として提供し大変喜ばれました。

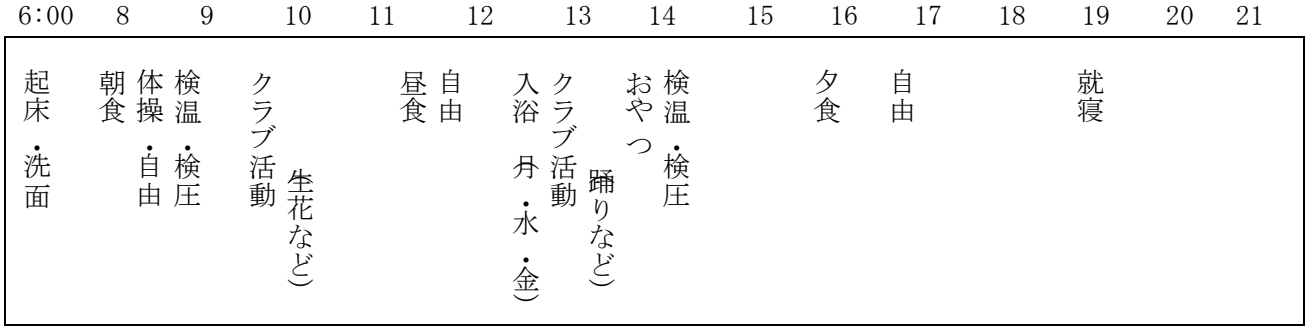
⑥ 養護3施設での定例的な連携会議の開催並びに職員研修

隔月で事業団内の養護3施設で定例的な連帯会議を実施。各施設の現状に基づく情報交換、入所者に対する支援サービスの向上等について協議を行いました。

（2）26年度の成果目標

- 介護度の平均　1.54（平成25年度：1.39）
- 地域の方の来園者数　年間延べ　240人
- 近隣事業所訪問回数　年回延べ　36回
- 利用者満足度アンケート　83.0%（平成25年度：76.9%）
- 食事満足度調査　100%（平成25年度：96.1%）

【日課表】



Ⅱ　利用者の状況

(1) 入退所の状況　　定員：50名

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍者数	35	35	35	35	34	33	33	30	30	33	37	36	406
入　所	0	0	0	0	0	0	2	0	3	4	0	0	9
退　所	0	0	0	1	1	0	5	0	0	0	1	1	9

(2) 年齢別（平成27年3月31日現在）

＼	55～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100以上	計	平均年齢
男	0	1	1	2	2	2	0	1	0	9	80.8
女	0	1	2	2	7	3	10	1	0	26	85.2
計	0	2	3	4	9	5	10	2	0	35	84.3

(3) 在所期間（平成 27 年 3 月 31 日現在）

性別 / 在所期間	男	女	計	比率(%)
1 年未満	2	2	4	11.4
1 年以上 3 年未満	3	5	8	22.9
3 年以上 5 年未満	1	4	5	14.3
5 年以上 10 年未満	0	8	8	22.9
10 年以上 15 年未満	3	5	8	22.9
15 年以上 20 年未満	0	1	1	2.9
20 年以上	0	1	1	2.9
計	7	28	35	100.0

(4) 日常生活状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

区　分	自　立	一部介助	全介助	合　計
歩　行	16	19	0	35
入　浴	9	25	0	35
食　事	35	0	0	35
着脱衣	32	2	1	35
排　泄	20 (紙パンツ 15)	1	2	35 (紙パンツ 15)

(4) 要介護者と介護サービス利用状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

介護度	人　数	介護サービス利用者		未利用者
		男性	女性	
要介護４	1	0	1	0
要介護３	3	0	3	0
要介護２	5	0	5	0
要介護１	13	5	8	0
要支援２	5	0	4	1
要支援１	4	1	3	0
自　立	4	0	0	4
計	35	6	24	5

(5) 外部サービス利用人数の推移（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
通所介護 秋津	11	12	11	12	12	12	12	6	8	9	11	11
通所介護 外部	21	21	22	25	21	20	20	18	16	16	18	20
訪問介護	13	12	14	14	12	11	11	11	15	19	12	11

Ⅲ　年間行事

月	施設行事	施設合同行事	食事関係	保健衛生関係	防災関係	地域交流･実習･ボランティア等
4	花見	ペタンク大会（芝光苑・松寿園合同）				花見ＢＢＱ 地域老人会参加
5	しょうぶ湯 音楽会		セレクトメニュー・食生活改善委員会		事故防止対策委員会	校区自治会長会議出席 児童・民生委員会議出席
6	誕生会 アジサイ花見学	スカットボール大会（芝光苑・松寿園合同）	セレクトメニュー	感染症対策委員会	総合防災訓練	
7	七夕飾り 音楽会 社会体験活動（演劇鑑賞）	輪投げ大会（芝光苑・松寿園合同）	セレクトメニュー			びわ演奏訪問
8	音楽会	輪投げ大会（明飽苑・明生園合同）	食生活改善委員会			民生委員訪問
9	誕生会	スカットボール大会（芝光苑・松寿園合同）	セレクトメニュー	感染症対策委員会	事故防止対策委員会	
10	運動会 コスモス見学	運動会（事業団三養護合同）	月見団子			園運動会（校区３保育園参加）
11	音楽会 社会体験活動	輪投げ大会（芝光苑・松寿園合同)）	食生活改善委員会			
12	ゆず湯・クリスマス・忘年会		年越しそば	感染症対策委員会	総合防災訓練	市長選の不在者投票
1	初風呂・どんどや		おせち弁当 セレクトメニュー		事故防止対策委員会	どんどや（地域老人会参加）
2	節分豆まき 社会体験活動		食生活改善委員会・セレクトメニュー・恵方巻き			
3	花見		お雛様料理 セレクトメニュー	感染症対策委員会	避難訓練	花見ＢＢＱ（地域老人会参加）

《定例行事》　全体会（利用者・職員全員／月１回）　ミーティング(カンファレンス)（毎朝）
職員会議（毎週月曜日）　入浴（毎週月・水・金の午後）　介護相談（月１回）
誕生者紹介（月１回）　ショッピング（月２回）　理容カット奉仕（月１回）
誕生会（3 か月に 1 回集会所にて開催、その他の月は誕生者紹介）

《クラブ活動》　踊り（第１・3 木曜日）　生花（第２・4 火曜日）　カラオケ（月１回）
パステル画（月１回）

《機能訓練活動》　読み語り（月２回）　創作活動（月１回）　ぬり絵（随時）

Ⅳ　職員研修

期　　間	場　　所	研　　修　　名
平成 26 年 6 月	ﾎﾃﾙﾆｭｰｵｰﾀﾆ熊本	熊本市老人福祉施設協議会職員研修会
〃	フードパル熊本	福祉施設レクリエーション研修会
8 月	〃	老人福祉施設栄養士・調理員研修会
9 月	〃	熊本県栄養士会研修会
10 月	希望荘	社会福祉事業団アンガーマネージメント研修会
11 月	ＫＫＲ熊本	福祉サービス苦情解決研修会
〃	ﾎﾃﾙﾆｭｰｵｰﾀﾆ熊本	老人福祉施設生活相談員・介護支援専門員研修会
〃	芝光苑・松寿園	三施設職員交流研修会
12 月	熊本県庁	感染症及び食中毒対策研修会
1 月	事業団本部	社会福祉事業団メンタルヘルス研修会
〃	ﾎﾃﾙ熊本ﾃﾙｻ	熊本県老人福祉施設研究大会
2 月	熊本県庁	成年後見制度利用促進研修会
〃	ﾎﾃﾙ熊本ﾃﾙｻ	福祉サービス苦情解決研修会
〃	事業団本部	社会福祉事業団コーチング研修会
3 月	雁回敬老園	施設内研修
〃	ｳｪﾙﾊﾟﾙ熊本	熊本県老人福祉施設協議会看護職員研修会
〃	熊本県庁	特定施設における不在者投票管理事務研修会

熊本市母子・父子福祉センター

Ⅰ　施設運営状況

26年10月に法令改正による名称変更があり、父子を含めたひとり親家庭等対象としてのセンター機能の充実が求められるなか、他機関とのネットワークを活用しながら、以下の項目に取り組みました。

（1）２６年度の取り組みについて

①　関係機関とのネットワーク

現在までに培った、福祉関係をはじめとする幅広いネットワークを通じて相談者への実効性のある情報提供や支援を積極的に行いました。またボランティアによる親子向け・地域向け・シニア向け等各種の行事・事業を実施しました。

②　心に寄り添うサービス

「母子・父子福祉センターにはハートがあります」をモットーに、ひとり親家庭等が必要とする様々な情報を、講座案内や市政だよりだけでなくメルマガやホームページを中心に数多く発信することで利用者に親しまれるセンターであるように努めました。

更に利用者の声を広く取り上げるためのアンケート、年度末の追跡調査等の実施、また有識者による運営委員会（年２回）による、専門的な立場からの助言を受けつつひとり親家庭等の抱える諸問題に対してひとりひとりに最善最適な支援やサービスにつなげていきました。

③　きめ細やかな就労支援

毎年、受講生が資格取得に向けて学びやすいようにと技能習得講座の見直しを行っています。技能習得講座の修了者についても、最重点事業である就労支援については、求職者登録バンクにより、まず求職者の状況を把握し、求職者の要望や優先事項などを確認しながら情報提供を行ってきましたが、ひとりで求職活動を行うことの不安軽減やモチベーションの維持にも貢献できました。

行政と連携し「母子自立支援プログラム策定事業」の利用へとつないだ後のアフターケアにも力を入れました。

（　支援状況についてはⅡ－（7）参照　）

Ⅱ　利用状況

1　項目別利用状況（延人数）

項目／年度	相　談	講　座（就労支援・教養）	託　児	来館者 見学者他	情　報 提　供	児童健全育・親子ふれあい 事　業	自主事業	合計（人）
26年度	615	2,323	474	2,418	4,638	276	2,907	13,651
目標値	500	3,200	600	2,300	4,300	500	2,700	14,000
達成率	123%	72.6%	79%	105.1%	107.9%	55.2%	107.7%	97.5%

2　事業別実施状況

(1) 相談事業・・・・・・・・・(延　615 人)

①各種相談状況及び人数

項　目	法律相談	家庭一般相　談	就職相談	カウンセリング	電話による相談	アフターケ　ア	合　計
人　数	12	56	41	13	64	429	615
割　合	2%	9%	7%	2%	10%	70%	100%

②年齢別相談状況

年齢別	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	合　計
人 数	3	53	214	192	60	8		85	615
割 合	0.5%	8.6%	34.8%	31.2%	9.8%	1.3%		13.8%	100%

(2) 相談内容別人数

項　目	就職(仕事)	技能習得	生活(住宅)	家庭問題等	金銭貸借	人間関係	養育費等	援助金施設等	その他	合　計
人　数	461	2	20	55	3	21	4	20	39	615
割　合	73.3%	0.3%	3.3%	8.9%	0.5%	3.4%	0.7%	3.3%	6.3%	100%

(3) 講座等

①　技能習得講座

講　座　名	期　間(回数)	曜日	時　間	時間数	延人数
パソコン基礎	4 月 (全８回)	火～土	18:30～20:30	16	40
パソコン 3 級表計算技士	4～6 月 (全 22 回)	火木土	18:30～20:30	44	191
パソコン 2 級表計算技士	6～10 月(全 33 回)	水・金	18:30～20:30	66	227
パソコン 3 級ワープロ技士	4～6 月 (全 19 回)	水・金	18:30～20:30	38	119
PowerPoint 技能認定初級	6～7 月 (全 15 回)	火木土	18:30～20:30	30	84
電子会計実務検定	10～12 月 (全 16 回)	水・金	18:30～20:30	32	104
ﾃﾚｺﾐｭﾆｹｰﾀｰ養成講座	9 月 (全 4 回)	土	09:00～16:00	24	15
マナー検定　初級	4～5 月 (全 5 回)	日	14:00～16:00	10	
中級	6～7 月 (全 5 回)	日	14:00～16:00	10	48
日商簿記 3 級	7～11 月 (全 30 回)	火木土	18:30～20:30	60	218
色彩検定	9～10 月 (全 13 回)	火木土	18:30～20:30	26	76
日商簿記 2 級	11～2 月 (全 33 回)	水・金	18:30～20:30	66	406
医療事務	1 月～3 月 (全 30 回)	火木土	18:30～20:30	60	356
合　計				482	1,884

②　教養講座

講　座　名	実施日 (回数)	時　間	時間数	延人数
子ども書道	主に第 1(土) (全 12 回)	10:00～12:00	24	115
子どもピアノ	主に第 4(日) (全 12 回)	09:00～11:30	30	61
子ども珠算	4～9 月　(土) (全 12 回)	14:00～15:30	18	83
フラワーアレンジメント	主に第 3(土) (全 12 回)	14:00～16:00	24	107
ペン習字	6～3 月(日)　(全 12 回)	10:00～12:00	24	82
合　計			120	448

③　児童健全育成・親子ふれあい講座

講　　座　　名	実施日（回数）	時　間	時間数	延人数
親子でクッキング	4～2 月　（日）（全６回）	10:00～12:00	12	93
親子お茶・お花教室	5～2 月　（日）（全 7 回))	10:00～12:00	14	44
親子でレクリエーション	5～1 月　（日）（全 3 回）	13:00～14:30	4.5	8
子育て達人のお力拝借	7～2 月 （土または日）（全 6 回）	10:00～12:00 14:00～16:00	12	34
パソコンで遊ぼう	6～3 月 （土または日）（全 2 回）	14:00～16:00	8	13
おもしろ科学実験	6・11 月（土）（全 2 回）	10:00～12:00	4	20
わくわく寺子屋	主に毎週火曜日	18:30～19:30	47	47
合　　計			101.5	259

④　自主事業

講　　座　　名	実施日（回数）	時　間	時間数	延人数
スローヨガ（金）	主に第 2 金（全 12 回）	10:00～11:30	18	87
スローヨガ（土）	主に第 2 土（全 12 回）	10:00～11:30	18	96
養育費取得手続きに関する講座	8 月・12 月（全 2 回）	14:00～16:00	4	2
子どもと考える我が家の FP	8 月・11 月（全 2 回）	14:00～16:00	4	7
子育てわいわい茶話会	5 月～1 月(全 4 回)	14:00～16:00	4	24
リクエスト講座	6 月～8 月（全 3 回）	10:00～12:00	6	29
浴衣の着付けとマナー講座	8 月～12 月（全 11 回）	10:00～12:00	22	121
単発事業				
シニア向け健康体操	6 月～2 月（全 5 回）	10:00～11:30	7.5	50
えいごであそぼう	12 月	14:00～15:00	1	10
七夕行事	7 月	13:00～14:00	1	8
絵本の読み聞かせ	5 月～1 月（全 4 回）	13:00～14:00	4	31
安心住み替え相談会	1 月	13:00～16:00	3	1
合　　計			92.5	402

②　自主講座・自主練習

講　　座　　名	実施日（回数）	時　間	時間数	延人数
舞　踊（水）	毎週水曜日（全 47 回）	09:30～11:30	117.5	138
舞　踊（金）	毎週金曜日（全 46 回）	14:00～17:00	138	139
コーラス	第 1・3(木)他（全 43 回）	13:00～16:00	129	188
童　謡	第 1・3(水)（全 22 回）	14:00～15:30	33	279
煎　茶　道（休講）	主に第 2 日（全 12 回）	10:00～12:00	0	0
自主練習（PC・医療事務他）	開館日	開館時間中		75
合　　計			417.5	819

(4) 保育(託児)状況

区　分	1～2 歳	3～4 歳	5～6 歳	小学 1・2 年	小学 3・4 年	小学 5・6 年	合計
人　数	23	99	81	122	143	6	474
割　合	4.9%	20.9%	17.1%	25.7%	30.2%	1.3%	100%

(5) 図書利用状況

区分	幼児	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中学	高校	大人	小計	図書ｺｰﾅｰ	合計
人数	8	1	19	9	4	0	7	1	1	134	184	712	896

(6) 常設コーナー利用状況

コーナー名	ゆずりっこ	おしゃべりのんびりサロン	合　計
人　数	187	384	571

(7) 就労支援状況

	未就労者数累計 (就労支援講座受講者)	就労者累計	達成率
人数等	14	6	43%

	就労バンク 登録者	自立支援 プログラム	就労バンク 就労者
人　数	140	49	100

Ⅲ　職員研修

月	場　所	研　修　名
4 月	熊本市	相談業務について①（館内研修）・相談業務について②（館内研修） 相談業務について③（館内研修）相談業務について④（館内研修） 託児について（館内研修）・接遇について（館内研修）
5 月	熊本市	相談業務について⑤（館内研修）・相談業務について⑥（館内研修）
6 月	熊本市	相談業務について⑦(館内研修)　・　業務の振り返り（館内研修） 児童扶養手当現況届等について（館内研修） 人事考課者研修（事業団内部研修）
7 月	熊本市	事業団内体験実習(事業団内部研修：2 名) 求職者支援セミナー（熊本労働局主催） 管理職員研修（事業団内部研修）
8 月	熊本市	リスクマネジメントについて（館内研修）・最終考課者研修（事業団内部研修） 求職者支援セミナー（熊本労働局主催）
9 月	熊本市	窓口対応・相談業務について⑧（館内研修） 会計事務研修（事業団内研修）・一次考課者研修（事業団内部研修 熊本市母子寡婦福祉会研修大会・求職者支援セミナー（熊本労働局主催）
10 月	熊本市	営業について（館内研修）・アンガーマネジメント研修会（事業団内部研修）
11 月	熊本市	福祉職員レクリエーション研修会（県社協） リスクマネジメント研修会（県社協）・苦情解決研修会 相談業務について⑨（館内研修）・管理職員研修（事業団内部研修） 営業研修（事業団内部研修）
12 月	熊本市	リスクマネジメントについて(館内研修) ビジネスマナー研修（県社協）
1 月	熊本市	メンタルヘルス研修会（事業団内部研修）・相談業務について⑩（館内研修） 居住支援協議会研修（居住支援協議会）・
2 月	熊本市	第三者委員研修会 相談業務について⑪（館内研修）

老 人 福 祉 セ ン タ ー

Ⅰ　施設運営の状況

（1）２６年度の取り組み

①　各種集会等への場所の提供について

◇地域福祉の拠点として各地域の老人会やささえりあ、また、ボランティア等が行う地域会合や健康相談、講座やイベントに開放し提供しました。また、地域団体等への働きかけ、センターへの活用を、独自の手作りチラシで広報しました。

②　生活、身上、健康等の各種相談について

◇介護・健康相談として、地域の医療機関、法人内居宅介護支援事業所、デイサービスセンター、訪問介護ステーション職員の協力を得て各センターで相談会を実施しました。定期的に実施することで、利用者とのコミュニケーションも深まり、より良い相談環境につながりました。

③　講習会・研究会等の開催について

◇法人内専門職員による感染症対策や介護予防に関する講習を開催しました。また、関係機関(主に消防署や警察署）の協力を得て、利用者の防災や健康、安全に係る講習会を実施しました。

④　趣味講座、レクリエーションの開催について

◇各センターの地域性を生かし、四季折々の多彩な行事やご利用者のニーズに沿った講座を定期的に催しました。また、ゲートボールなど各種の大会や発表会、社交ダンスなどのレクリエーションを開催し、利用者同士の交流と生きがいづくりの創造に努めました。

昨年に続き第４回のセンター合同のカラオケ大会を実施し、出場者はもとより応援の方々、ご家族様にも来場頂き好評を博しました。各センター間の交流の場としても、今後とも継続して参ります。

⑤　ご利用者の要望等の把握を目的としたアンケートの実施について

◇全センター「利用者アンケート」として施設運営や利用状況に関するご利用者の声を収集しました。苦言や要望には迅速に対応し、改善の上、その報告も適時掲示しました。より快適に利用ができるよう環境整備等に努めて参りました。

（2）２６年度の成果

①　指定管理モニタリングにおける施設の運営・管理面について問題となる指摘事項はなく、目標のとおり、指摘事項ゼロを達成できました。

②　法人内施設の協力のもと、毎月２回定期的に介護や健康相談を実施することができました。

Ⅱ　主要事業（市指定事業実施状況）

指定事業 / 施設名	１．各種集会等への場所の提供	２．生活、健康等への各種相談	３．高齢者への講習会等の開催	４．趣味講座・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝの開催	５．ｱﾝｹｰﾄの実施
中央老人福祉ｾﾝﾀｰ	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ 美容教室	福祉相談 （田島内科） 健康相談 （中央ﾃﾞｲより） 無料法律相談 中央ﾃﾞｲ体験見学会	法律講話・相談 防災訓練 健康講話	手芸教室 お楽しみ歌の教室 折り紙教室 囲碁教室 七夕祭りﾐﾆ発表会 積台小児童との交流会 文化祭 ｸﾘｽﾏｽﾐﾆ発表会 節分会 さくらまつり 合同ｶﾗｵｹ大会	利用者ｱﾝｹｰﾄ
東老人福祉センター	ﾍﾙﾊﾟｰﾐｰﾃｨﾝｸﾞ	介護相談 （秋津・東部在宅より） 健康相談 （末藤内科） ラジオ体操	実践！かいご 生活安全教室 法律相談 年金セミナー 健康セミナー 税に関するｾﾐﾅｰ	あなたもﾌﾗｶﾞｰﾙ! はじめての花架拳 いきいき元気サロン イケメン・クッキング 歩け歩け会 子ども伝承遊び ボランティア東部劇場 パソコン講座 懐かしの映画劇場 東部よかとこ巡り バスハイク 園児との交流 健康体操 ふれあい祭 こども伝承遊び 東部よかとこ巡り 利用促進事業 囲碁大会 歌と踊りのﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ 合同ｶﾗｵｹ大会	利用者ｱﾝｹｰﾄ
西老人福祉センター		健康相談 （長寿の里より）	法律問題講演 個別相談 食中毒について 熱中症について 消防訓練 ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ・ﾉﾛｳｨﾙｽについて	かんたん健康体操 手芸教室 ゲートボール 祝敬老の集い 七夕まつり 盆踊り ふれあいﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ カラオケ慰問 クリスマス会 豆まき ひな祭りの集い お花見会 合同ｶﾗｵｹ大会	利用者ｱﾝｹｰﾄ

指定事業 / 施設名	１．各種集会等への場所の提供	２．生活、健康等への各種相談	３．高齢者への講習会等の開催	４．趣味講座・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝの開催	５．ｱﾝｹｰﾄの実施
南老人福祉センター	老人会(楽寿会) 講座代表者会議	健康相談 (長寿の里より)	交通安全講話 高齢者交通安全啓発デリバリー 消防訓練	舞踊 ユニーク体操 カラオケ 書道 文芸（俳句） フラダンス 体操 絵手紙 唱歌 太極拳 民謡 楽寿会（老人会） カラオケ発表会 ふれあいﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ 合同ｶﾗｵｹ大会 唄と踊りのﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ	利用者ｱﾝｹｰﾄ
北老人福祉センター	清水老人会 清水老人クラブ連合会 清水校区遺族会 ペタンク大会	高齢者介護相談 （健康体操） 高齢者介護窓口相談	防災対策 DVD 研修 俳句会研修 らくしゅう式研修 消防訓練・防火意識の指導	園芸教室 カラオケ教室 大正琴教室 社交ダンス カラオケ会 七夕かざりイベント 誕生者会 三味線教室 合同ｶﾗｵｹ大会 花見	利用者ｱﾝｹｰﾄ
川上老人福祉センター		健康相談 （ささえりあ北部・西里ﾃﾞｲより）	避難訓練	囲碁 茶道 絵手紙教室 カラオケ ひょっとこ踊り 太極拳 文学講座 合同ｶﾗｵｹ大会 花見の会 お助けﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ 園芸 踊り隊	利用者ｱﾝｹｰﾄ
河内老人福祉センター	俳句会	健康相談 （長寿の里・ささえりあ金峰より）	食中毒講演会 交通安全講習会 ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ予防講習会 冬場の生活について講演	コーラス教室 銭太鼓 園芸クラブ 踊り ｶﾗｵｹﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ 塩屋公民館と交流会 ｶﾗｵｹ“なつﾒﾛ”大会 長寿の里夏祭り参加 豆まき ｸﾘｽﾏｽｶﾗｵｹﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ カラオケ交流会 合同ｶﾗｵｹ大会	利用者ｱﾝｹｰﾄ

指定事業 / 施設名	１．各種集会等への場所の提供	２．生活、健康等への各種相談	３．高齢者への講習会等の開催	４．趣味講座・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝの開催	５．ｱﾝｹｰﾄの実施
天明老人福祉センター	天明地区障がい者会議	健康相談 （長寿の里より） ラジオ体操	救急講習 （AED 操作取扱） 振り込め詐欺等対策講習 体力測定 消防訓練	囲碁会 洋裁講座 調理講座 マジックショー ぜんざい会 桜観賞 琵琶演奏 収穫祭（じゃがいも） 漫談＆舞踊 七夕カラオケ大会 お月見会 節分（豆まき） 長寿の里ﾃﾞｲとの交流会 合同ｶﾗｵｹ大会 ひな祭りｶﾗｵｹ大会	利用者ｱﾝｹｰﾄ
西里老人福祉センター	高平台校区 ６町内老人会総会 法律無料相談会	健康相談	家族介護者教室	カラオケ 歌謡教室 懐メロ愛好会 健康体操 新舞踊 謡曲（観世流） ペン習字 つまみ絵 講座発表会 合同餅つき 合同ｶﾗｵｹ大会	利用者ｱﾝｹｰﾄ

Ⅲ　利用状況

１．年度別施設利用状況　　（単位：人）

施設名	中　央	東	西	南	北	川　上	河　内	天　明	西　里	合　計
22 年度	19,737	16,871	13,375	8,164	13,671	22,496	12,968	5,743	10,129	123,154
23 年度	19,217	17,691	11,669	7,107	12,695	23,201	12,537	6,361	9,547	120,025
24 年度	18,454	17,943	11,456	7,367	14,805	24,064	13,644	5,019	9,334	122,086
25 年度	17,307	18,775	9,353	7,003	16,854	21,609	12,060	3,831	9,171	115,963
26 年度	16,490	18,447	8,832	7,405	16,760	19,830	9,709	4,648	8,726	110,847

２．月別施設利用状況　　（単位：人）

施設名	中　央	東	西	南	北	川　上	河　内	天　明	西　里	合　計
4月	1,451	1,546	762	594	1,528	1,736	912	411	745	9,685
5月	1,392	1,499	768	522	1,325	1,562	923	394	715	9,100
6月	1,434	1,512	807	575	1,375	1,552	918	449	734	9,356
7月	1,440	1,596	753	560	1,484	1,563	831	390	722	9,339
8月	1,342	1,481	723	460	1,406	1,501	887	358	781	8,939
9月	1,317	1,460	794	789	1,376	1,498	770	339	711	9,054
10 月	1,437	1,630	890	664	1,518	1,761	813	394	738	9,845

施設名	中　央	東	西	南	北	川　上	河　内	天　明	西　里	合　　計
11 月	1, 425	1, 611	689	626	1, 382	1, 664	788	329	744	9, 258
12 月	1, 139	1, 436	690	623	1, 317	1, 683	718	413	705	8, 724
1月	1, 263	1, 459	603	620	1, 165	1, 687	686	390	675	8, 548
2月	1, 390	1, 576	666	677	1, 376	1, 727	708	363	697	9, 180
3月	1, 460	1, 641	687	695	1, 508	1, 896	755	418	759	9, 819
合　　計	16, 490	18, 447	8,832	7,405	16, 760	19, 830	9,709	4,648	8, 726	110, 847
開館日数	293 日	293 日	293 日	293 日	293 日	293 日	293 日	293 日	293 日	2, 637 日
1 日平均	56 人	63 人	30 人	25 人	57 人	68 人	33 人	16 人	30 人	378 人

３．月別浴場利用状況　　（単位：人）

施設名	中　央	東	西	南	北	川　上	河　内	天　明	西　里	合　　計
4月	263	529	204	140	121	1, 582	902	294	226	4, 261
5月	243	461	192	151	82	1, 439	895	273	221	3, 957
6月	247	453	237	129	104	1, 445	892	312	204	4, 023
7月	252	425	182	137	117	1, 442	814	260	201	3, 830
8月	249	382	191	132	117	1, 367	800	245	191	3, 674
9月	226	383	220	128	101	1, 374	754	218	183	3, 587
10 月	262	467	243	142	105	1, 579	798	237	216	4, 049
11 月	281	381	187	149	94	1, 502	698	208	235	3, 735
12 月	219	498	188	125	113	1, 529	679	277	207	3, 835
1月	287	464	170	140	98	1, 523	666	250	232	3, 830
2月	302	581	194	150	109	1, 559	695	234	263	4, 087
3月	293	605	207	123	117	1, 646	738	280	230	4, 239
合　　計	3, 124	5, 629	2,415	1,646	1,278	17, 987	9,331	3,088	2,609	47, 107
利用料	浴場利用者数　×100円									

訪問介護事業所

１．訪問介護事業

H26 年度の取り組み

- 26 年度は、7 か所の訪問介護ステーションの更なるサービス提供体制の強化と効率的運営を目指し、ステーションの統廃合や移転、並びに H27 報酬改定に伴う体制の整備等を行い、各ステーションの事業所化へ向けた準備を進めました。
  また、24 時間年中無休のサービスや福祉専門職（介護福祉士等）の充実等を広報・ＰＲすることで利用者増を図り、各拠点で収支均衡のとれた事業運営が図られるよう努力しました。

(1)　サービス提供体制の強化

- 効率的運営の観点から、平成訪問介護ステーションに近接する南部訪問介護ステーションを平成訪問介護ステーションに統合しました。また、施設譲渡に伴い、花園訪問介護ステーションを明生園内に、東部訪問介護ステーションを秋津デイサービスセンター内に移転しました。さらに、北部訪問介護ステーション内に居宅介護支援事業所を開設するため、北部ステーションを移転しました。
  これらステーションの統廃合・移転により、居宅と連携したサービス提供の基盤を整えました。
- 次年度に向けて 6 ステーションの事業所申請を行いました。事業所化を機に、これまで訪問介護ステーションと呼んできた名称を、ヘルパー事業所と事業所名を変更しました。
  また、H27 報酬改定に対応するため、明生園内にあったヘルパー事業所を西里デイサービスセンター内に移転するなど、制度改正に向けた対応を行いました。
  これらの事業所化によって、利用者、家族、ケアマネージャー等とより近い存在となることで、信頼関係を築き、各地域により密着したサービスを展開するとともに、新規利用者の獲得に努めていきます。
- 24 時間巡回チームでは、これまでの 8 名体制から 7 名体制に人員体制を見直し、効率的な事業運営に努めました。

(2)　障がい者等への支援強化

- 法人内障がい者施設『はなぞの学苑』、『平成学園』の利用者、家族に対して、保護者会等の機会を利用して、法人が有する高齢者サービスの組合せによる在宅生活の支援等について、居宅等と協力し説明を行いました。

(3)　営業・広報活動の推進と各事業との連携

- 定期広報誌（たんぽぽ）や各拠点のチラシ等により、地域包括や未利用の居宅、居宅を持たない病院等を中心に、事業所の強みである 24 時間 365 日営業していることの広報・ＰＲ活動を行いました。
- 前年度好評であった『ザ・ヘルパー・ランチ』を、ヘルパーの資質向上と居宅・包括への広報・ＰＲ活動を目的に、全ステーションで実施しました。本年度も多くのケアマネージャー等に参加いただき、新規利用者の紹介に繋がりました。
- 法人内養護老人ホームとの定期会議や老人福祉センターでの介護相談等の実施により、互いの事業への理解を促進し連携を図るとともに、利用の推進を図りました。

(4)　ヘルパーの確保と研修の強化

- 就労者に配慮した通信制による介護職員初任者研修を実施し、ヘルパーの養成・確保に努めました。7 名のヘルパー養成を行うことができましたが、本年度は採用までには結びつきませんでした。

・ 本年度は新しくガイドヘルパーの養成事業（同行援護従事者養成研修）を行いました。一般課程と応用課程を実施し、それぞれ 19 名、17 名の参加者のうち、4 名のガイドヘルパーの採用に繋がりました。
・ 本年度から 3 ヵ年計画による所長、サービス提供責任者、常勤ヘルパー、パートヘルパー、ガイドヘルパーごとの職責に応じた資質向上研修を実施しました。
・

研修対象者	研修テーマ
全従業者対象	接遇研修
新規採用者対象	新人研修
全従業者対象	個人情報に関する研修
〃	職業倫理に関する研修
〃	尊厳の保持に関する研修
〃	介護技術に関する研修
〃	口腔ケア研修
所長対象	クレーム対応研修
所長、サ責	法令遵守に関する研修
所長、サ責	組織力 UP のための研修
所長、サ責、常勤	訪問介護計画書作成に関する研修
ガイドヘルパー	スキルアップ研修

２．訪問入浴事業

・12 月末日を持って訪問入浴事業を廃止しました。
訪問入浴事業については、24 年度から業務改善と営業広報の強化に取り組み、25 年度には黒字収支まで改善していましたが、以前から懸案であった看護師の確保やヘルパー職員の応援体制の維持が難しく、26 年度は週 6 日の営業から週 5 日に営業日を減らし運営を行っていました。しかし営業日を減らしたことで、黒字運営をしていくことが難しくなったため、訪問介護事業と入浴事業の収益性等を考え、今後は訪問介護事業に専念することとしました。

３．平成２６年度事業実績

（1） 訪問介護事業

「年間利用者数等比較」

		22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
介護保険	利用者数	8,524	8,909	9,044	9,369	9,734
	利用時間数	114,793	113,036	97,274	96,518	92,639
	収入（千円）	312,276	312,832	312,993	319,833	310,228
障害者総合支援法	利用者数	2,974	3,024	2,807	2,878	2,909
	利用時間数	43,895	43,039	41,050	40,317	39,884
	収入（千円）	102,197	101,386	95,744	103,759	103,220
委託事業	利用者数	176	140	100	115	100
	利用時間数	1,184	1103	752	845	733
	収入（千円）	2,784	2,264	1,470	1,657	1,348
有料ホームヘルプ事業	利用者数	775	727	1,010	885	802
	利用時間数	4,767	3,821	4,787	3,656	3,285
	収入（千円）	9,302	7,966	8,851	6,493	6,403
合計	利用者数	12,449	12,800	12,961	13,247	13,545
	利用時間数	164,639	161,001	143,863	141,336	136,541
	収入（千円）	426,559	424,448	419,061	431,744	421,199

新規利用者については、日頃の営業、広報活動や『ヘルパーランチ』等の開催により、前年比 12%増の利用獲得をすることができました。介護保険、障がいサービスとも利用者増を図ることができましたが、その一方で利用時間数が減少したため、全体の収入では前年度と比較して約 1 千万円の減収となりました。この減収は、主に要介護者の利用時間数の減少が要因となっています。今後は要介護者の利用獲得を課題として、27 年度事業計画に挙げました認知症ケア、終末期ケアに重点を置いた広報・ＰＲに努めることとしています。

（2）「26 年度目標数値の達成度」

	延べ利用時間数
目標値	１４８，４４０
実績	１３６，５４１
増加率（%）	９２．０%

（3）「在席ヘルパーの 5 年間の推移」

	22 年度		23 年度		24 年度		25 年度		26 年度	
	ＰＨ	ＧＨ	ＰＨ	ＧＨ	ＰＨ	ＧＨ	ＰＨ	ＧＨ	ＰＨ	ＧＨ
当初契約者	176	29	168	21	168	20	176	18	163	19
年度内退職者	5	2	16	6	27	1	25	0	12	0
新規採用者	6	4	16	4	31	1	15	1	8	7
年度末契約者	177	31	168	19	172	20	166	19	167	26

※　ＰＨ：パートヘルパー　　ＧＨ：ガイドヘルパー

（4）訪問入浴介護事業所

「年間利用数比較」

	22 年度		23 年度		24 年度		25 年度		26 年度(12 月末)	
	件　数(件)	回　数(回)	件　数(件)	回　数(回)	件　数(件)	回　数(回)	件　数(件)	回　数(回)	件　数(件)	回　数(回)
介護保険	181	923	169	750	173	904	189	1,111	96	602
障害者自立支援	36	251	35	243	38	264	47	324	24	165
合計	217	1,174	204	993	211	1,168	236	1,435	120	768

訪問入浴介護事業は、26 年度の早い段階から前年度並みの人員体制を確保することが困難となったため、営業日を 1 日減らしたことが利用件数、利用回数の大きな減少につながりました。

中央デイサービスセンター

Ⅰ　施設運営の状況

１．　平成２６年度の取り組み

（１） 広報活動と地域交流の強化

① 広報誌“わが家”で　中央デイサービスセンター拠点 4 事業所（デイ・居宅・訪問介護・訪問入浴）の取り組みを掲載し　地域の民生委員・自治会・校区社協コミュニティセンター等への配布・町内回覧とともに、包括支援センター・居宅介護支援事業所への利用状況報告の際、配布し広報に努めました。

② “中央デイサービスだより”で行事の報告・紹介や健康衛生面の呼びかけ・防犯面の注意等　話題を取り混ぜながら、毎月利用者及びそのご家族に活動状況をお知らせしました。

③ 地域との連携の一環として、自治会・民生委員会・校区社協会議等に積極的に出席しました。

④ 地域交流行事の開催と地域行事への積極的参加を行い、地域交流の強化に努めました。

〇地域の実行委員会・事業所等と共催し地域交流事業を開催しました。

・歳末餅つき大会もデイのご利用者・地域の方々・近隣の保育園児と幅広い層で、力を合わせてとり行いました。

・老人センターの出前介護相談窓口開催を毎月行い、行事（カラオケ大会・花見など）に参加しました。

・壺川校区住民主催のいきいきサロンにも毎月参加し、健康保持やゲーム等ささえりあ熊本中央と協賛して行いました。

・男子厨房クラブ（年 2 回）を開催し、地域住民の福祉活動及び交流活動の推進を行いました。

・閉じこもり傾向にある高齢者の交流活動の一環とし健康麻雀を行いました。

〇壺川校区ふれあい農園の収穫祭、ふれあい夏祭り準備、地域や小学校行事等に積極的に参加し、地域交流強化に努めました。

（２） 魅力的で特色のある事業展開

① 自立支援に向けたサービス提供に取り組みました。

過度の介護を控え日常生活を送る上で必要な機能訓練のプログラムや仕掛け作りを行いました。また、デイでの 1 日の活動をご利用者自らが決める、自己選択・自己決定の取り組みを推進しました。メニューについては大きく分けて 4 つのコースを準備し意欲的に取り組んでいただけるような環境を作りました。

② 機能訓練の充実を図りました。

事業団理学療法士の研修を恒常的に施設の看護師をはじめ相談員・介助員が受け、3 か月ごとに全利用者の身体機能測定を行い、各々の方々のリハビリメニューカードを作成し、機能訓練の実施に努めました。また日々の記録と評価を各月の利用状況報告に反映し、ケアマネージャーへのフィードバックに活かしました。

③ 維持改善率の向上に取り組みました。

希望者の方々への学習療法の実施に加え、全体レクリェーションの際に回想法や音楽療法、言葉遊び等を取り入れ、認知症の維持改善を図りました。

地域交流スペース利用の３Ｂ健康体操教室の方々と、馴染みある歌に合わせて、ボール・ベル・ベルターなどの道具を使用した心身リラックス運動等の実施や、リラクゼーションマッサージの実施によって利用者の基礎体力の維持や健康づくりを図りました。

通年実施している口腔ケアに加え、来られた際のお茶うがいを冬期だけでなく通年実施することによって日常生活機能の維持・向上を図りＱＯＬを高める取り組みを致しました。

これらの成果として維持改善率82.4%を達成しました。

（３） 各関係機関との連携や職員の資質向上

① 毎月実施の中央在宅施設運営会議（養護　包括　居宅　訪問介護）をはじめエリア会議（養護・デイ・訪問介護・居宅・包括）を定期的に実施することで法人内事業所との連携強化につとめるとともに、自治会・民生委員等・３校区社協（壺川・黒髪・碩台）医療機関との連携会議への出席や壺川校区いきいきサロンへの毎月参加など、地域との連携強化にもつとめました。

② 職員の資質の向上に向けた毎月の内部研修の開催、外部研修に参加の折は、その後の着実な伝達研修を実施しました。

２．２６年度の成果目標

（１）下記項目に取り組むことで　２６度の稼働率は６７．５％でした。（目標７７％）

ア．地域広報誌については　年２回発行しました。

イ．地域交流事業については、下記（２）のとおり実施しました。

ウ．介護度の維持改善率は、６９．５％で目標の８０％は未達成でした。

エ．施設間連絡会を毎月実施しました。

オ．介護福祉士の確保は、５６．５％で目標の４０％以上を達成しました。

（２）地域交流事業

事業名	頻度	取り組み内容
介護・ふくし相談	随時	中央デイの相談員及び居宅介護支援事業所の介護支援専門員（CM）による介護・ふくし相談を実施
出前介護相談	月１回	中央在宅職員による出前介護相談を実施
地域活動実行委員会	３回	地域交流事業開催時（7月、8月、9月実施）
歳末もちつき大会	年１回	地域住民参加型のもちつき大会実施（12月）
友愛会保育園運動会	年１回	近隣の保育園の運動会に参加し、地域住民と交流を深めた（9月）
男子厨房クラブ	年２回	料理教室を通して、住民の福祉活動及び交流活動の推進を行った（６月、３月）
健康麻雀クラブ	年２回	娯楽である健康麻雀を通して、閉じこもり傾向にある高齢者等の交流活動の推進を行う
いきいきサロン（壺川校区）	毎月	壺川校区のサロン活動を支援し、6月と3月は中央デイで開催。
生活安全教室	年１回	自治会・防犯協会と連携し啓発活動に参加（2月）
まちづくり推進委員会活動支援	年６回	ふれあい農園収穫祭（年3回）やふれあい夏祭り、お月見会等に参加（5、6、9、10、1）
壺川校区高齢者推進委員会	随時	委員として参加し、健康マージャンを企画・実施を協働（4月～）
3校区社協月曜会	年３回	地域のネットワーク作りの推進活動を行った（7月、11月、3月）

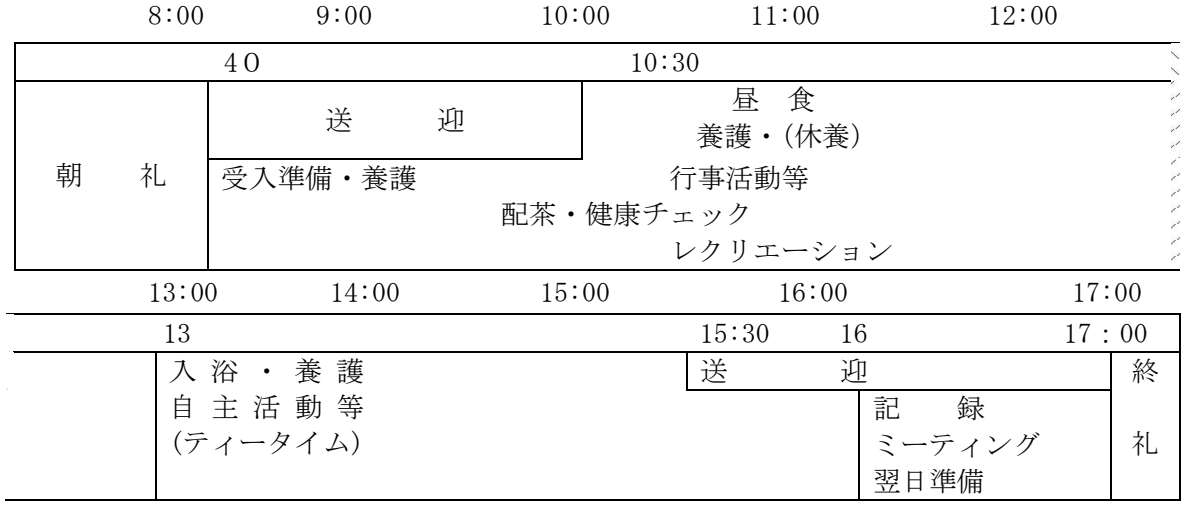
事業名	頻度	取り組み内容
壺川小学校行事への参加	年５回	入学・卒業式、運動会、学習発表会等ネットワーク作りの一環として参加（4 月、5 月、10 月、11 月、3 月）
壺川校区コミュニティーセンター文化祭協賛	年１回	文化祭へ協賛し相談窓口を開設（10 月）
介護者教室	年２回	地域住民、デイご利用者家族を対象とし開催
育児サークル活動支援とふれあい交流会	年２回	行事開催時協力と高齢者との世代間交流会を定期的に実施
歳末もちつき交流会	年１回	近隣の保育園を招待し高齢者との世代間交流事業として実施（12 月）
小中学校介護体験	２回	壺川小、竜南中等近隣の学校の介護体験・交流を実施
障がい者支援・交流会	年２回	視覚障がい者社交ダンスクラブとデイご利用者との交流

（3）貸し館利用者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
多目的ホール	840	1,014	945	789	790	1,028	1,150	1,086	1,551	952	1,064	1,069	12,278
和室	349	423	280	314	162	364	369	294	779	330	355	554	4,573
調理室	3	0	60	50	0	15	60	37	520	45	53	0	843
合計	1,192	1,437	1,285	1,153	952	1,407	1,579	1,417	2,850	1,327	1,472	1,623	17,694

Ⅱ　活動状況

１．デイリープログラム



２．主要行事

月	生活行事	給食行事	定例行事	実習・交流・事業等
4	お花見ドライブ 頭の体操	お花見弁当	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・寺原保育園交流会（4/22） ・タイからの研修生３名（4/2）
5	菖蒲湯 つつじ狩りドライブ 母の日 新聞棒ストレッチ	節句膳	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・　友愛会保育園交流会（5/26）

月	生 活 行 事	給 食 行 事	定例行事	実 習・交 流・事 業 等
6	父の日 魚釣り大会 ゲートボーリング		誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・ 寺原保育園交流会（6/25） ・ 友愛会保育園交流会（6/23）
7	七夕祭 茶話会 運動機能測定	七夕膳 土用うなぎ膳	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・ 友愛会保育園交流会（7/14）
8	夏祭り 頭の体操 体操週間 甲子園応援		誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・ 熊本学園大学社会福祉学部（ソーシャルワーク実習及び社会福祉援助技術現場実習） ・ 介護体験（熊本大学・熊本学園大学）
9	敬老祝賀週間 運動機能測定	敬老祝膳	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・ 熊本学園大学社会福祉学部（ソーシャルワーク実習及び社会福祉援助技術現場実習） ・ 竜南中ナイストライ（職場体験）
10	大運動会 秋のドライブ	運動会弁当	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・ 防災・避難訓練（10/27） ・ 寺原保育園交流会（10/23） ・ 友愛会保育園交流会（10/10） ・ 坪井幼稚園交流会（10/31）
11	文化週間 ゲーム大会 防災・避難訓練	秋の収穫祭	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	
12	クリスマス会・忘年会 運動機能測定 ゆず湯 歳末もちつき大会	クリスマス料理 冬至料理 年越しそば	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	
1	初詣（護国神社） 中央デイ神社参拝 初笑い	お正月寿料理 七草粥	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・ 友愛会保育園交流会（1/20）
2	節分（豆まき） 観梅		誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・ 寺原保育園交流会（2/20）
3	ひな祭り 防災・避難訓練 運動機能測定 茶話会 花見	おひなさま膳 お花見弁当	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	
毎月	誕生会 （３Ｂ健康体操）	誕生会膳		
隔月				《ボランティア》 ﾌﾙｰﾄ演奏、ｵｶﾘﾅ演奏 大正琴、手話ダンス、手品、 ギター演奏、社交ダンス、 ひょっとこ、アロマハンドマッサージ他１０団体

Ⅲ　利用者の状況（平成２６年度）

１　月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24年度	654	708	674	670	670	644	753	698	626	589	598	636	7,943
25年度	698	719	631	712	714	666	651	618	630	595	544	598	7,776
26年度	588	629	597	619	577	604	629	582	593	600	600	661	7,279

２　介護度別利用状況　（74人）　　（平成２７年３月３１日現在）

要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
10	17	30	8	5	4	0	74

３　年齢構成

年齢	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～
人数	3	6	5	13	22	19	6	0

４　居宅別利用状況　（74人）

事業団居宅	かなえ	聖母の丘	黒髪しょうぶ苑	くわのみ荘居宅	包括水前寺
４２	1	1	1	1	1
ヴィーヴル	包括・中央１	包括・井芹	包括･清水高平	包括・浄行寺	包括新地
1	１６	6	2	1	1

５　複数回利用状況　（74人）

1　　回	2　　回	3　　回	4回	5　　回	6　　回	計
17	31	15	6	5	0	74

Ⅳ　職員研修

月日	場所	研修名（センター外）	研修名（センター内）
4月			
5月			
6月	熊本市	・法人外体験研修（メロン）(6/11) ・デイサービス経営強化セミナー(6/25) ・集団指導（6/19）	・倫理法令研修（6/18）
7月	熊本市	・安全運転管理者講習（7/29） ・社会福祉施設労働災害防止講習会（7/31）	・認知症に関する研修
8月	熊本市	・法人外体験研修（メロン）(8/22)	・個人情報の取り扱いについて
9月	熊本市	・法人外体験研修（メロン）(9/5・17・26)	・接遇研修（9/17）
10月	熊本市	・法人外体験研修（メロン）(10/3)	・接遇でできる安全管理
11月	熊本市	・法人外体験研修（和楽）(11/15) ・県老施協総会（11/19）	・認知症研修（11/19）
12月		・県老施協研修（12/19）	・認知症研修（12/17）
1月	小倉市 熊本市	・	・認知症研修（1/21）
2月		・夢のみずうみ村（2/5）	・機能訓練学習会（2/13） ・認知症研修（2/18）
3月	熊本市		・法人内研修（3/5～6）

Ⅴ　介護度改善状況

① センターにおける介護度の維持・改善状況（４６名中）

利用者の介護度の維持・改善者数	利用者の介護度の維持・改善率
３２人	６９．５％

中央居宅介護支援事業所

(1) ２６年度の取り組みについて

①地域に根ざした居宅介護支援事業所を目指して本事業所から北部居宅介護支援事業所が分離し、新設されました。担当ケースの移行については、ご利用者様・ご家族様のご理解を得ることを最優先に取り組んできました。ケアマネジメントの質を低下させることなく、北部居宅へのケース移行を終えることができ、新設後も北部居宅との連携をはかってきました。

②事業所内の介護支援専門員については、年度内に新規採用１名、異動１名が新たに配属され、４名の介護支援専門員の配置となりました。

今年度は、主任介護支援専門員資格者が１名増え、２名となりました。

ケースの多様化、重度化に対応することが求められている中で、職員の資質向上のため、内外の研修会を行いました。

③管轄、周辺の包括支援センターとの協力連携を行うことで、新規利用者の紹介を得ることができました。

紹介されたケースを大事に、ご利用者様・ご家族様と真摯に向き合い、信頼される事業所として認知されるように全職員、努力しております。

④相談事業については圏域の老人センターと協力し、介護相談会やセミナーを行うことで介護予防事業に貢献することができました。

（2）２６年度の成果目標

①年間介護サービス計画依頼数については下記のとおりです。

１．介護サービス計画依頼数について

介護サービス計画依頼数状況（２６年４月～２７年３月）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件	208	217	207	207	210	208	105	99	96	103	103	107	1870
前年	214	221	224	226	226	235	239	226	223	217	214	210	2675

＊北部居宅分離設立

２．介護予防プラン受託・管理数について

介護予防プラン受託・管理数状況（２６年４月～２７年３月）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件	27	26	25	26	24	23	16	16	15	15	16	16	245
前年	23	23	24	24	25	27	27	30	28	27	26	27	311

＊北部居宅分離設立

３．サービス利用状況

・平成 27 年 3 月中のサービス利用状況

	サービス内容		前年
1	通所介護（ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ）	63	133
2	通所リハビリ（ﾃﾞｲｹｱ）	11	20
3	訪問介護（ﾍﾙﾊﾟｰ）	73	164
4	短期入所	9	13
5	訪問看護（訪問リハ含む）	19	27
6	訪問入浴介護	2	4
7	福祉用具レンタル	56	107
8	福祉用具購入	0	2
9	住宅改修	0	8
合　　計		233	478

４．相談事業について

主に寄せられる相談内容としては

① 申請・諸手続きに関すること　② 利用できる各種サービスに関すること

③ 介護認定に関すること　　④ 自己負担金に関すること

⑤ 保険料徴収等に関すること　などがあります。

相談内容も介護保険に関することのみならず家族関係のことや介護ストレスや経済状態など幅広くなっています。介護支援専門員のみでは解決できないような内容の相談の場合は、行政や地域包括支援センター、医師や民生委員などそれぞれの専門家につなげるケースも増えつつあります。

５．職員研修について

介護支援専門員スキルアップとして介護保険におけるサービス計画作成についてアセスメント能力の向上・対人援助技術向上に努めました。

(1)内部研修

◎毎月の職員会議や、ミーティング時などを利用してのケース検討

◎短時間のワンポイント研修 4 回/開催

◎事例検討会　1 回/月

(2)事業団内居宅介護支援事業所合同研修会

期　日	研修テーマ
平成 26 年 7 月 23 日	今後の事業団とケアマネジャーの役割について
平成 26 年 9 月 17 日	対人援助について
平成 26 年 10 月 17 日	事例検討会①
平成 26 年 11 月 12 日	精神疾患について
平成 27 年 3 月 18 日	介護保険改正について
平成 27 年 3 月 18 日	事例検討会②

(3)外部研修

期　日	会議・研修名
平成 26 年 5 月 7 日	最先端口腔ケアセミナー
平成 26 年 6 月 22 日	熊本市居宅介護支援事業者協議会研修会
平成 26 年 6/25、7/30、8/27、9/24、10/29、11/26	熊本県介護支援専門員協会　スーパービジョン研修会
平成 26 年 7 月 9 日	熊本県介護支援専門員研修会
平成 26 年 8 月 14 日	熊本市地域包括支援センター連絡協議会実務研修会
平成 26 年 9 月 10 日	熊本市居宅介護支援事業者協議会ステップアップ研修会（Ⅰ）
平成 26 年 9 月 17 日	熊本市居宅介護支援事業者協議会ステップアップ研修会（Ⅱ）
平成 26 年 10/23、11/4	多職種連携研修会ｉｎ中央区
平成 26 年 10/30、10/31	介護保険推進全国サミットくまもと

長寿の里デイサービスセンター

Ⅰ　施設運営の状況

（1）２６年度の取り組み

◆魅力的で特色ある事業展開

１．自立支援型（自己決定、自己選択）への転換

①団塊の世代のニーズに応えるプログラムメニューの拡大

・パソコン教室やデジカメ教室、手芸（つまみ細工）等、興味を示していただけるプログラム内容の検討をおこないました。

②利用者が好きな事、やりたいことを実現できる環境作り

・らくしゅう式機能訓練や塗り絵等の選択コーナー、書道コーナー、エアマッサージ器（メドマー）を設置する等、各コースの環境整備に取り組みました。また、習字やカラオケ等はボランティアの講師に来ていただき、利用者の楽しみに繋がっています。

③利用者が自分で選択できる選択肢の拡大。

・自動血圧計や自動サーバー、入浴後のドライヤーコーナーを設置し、選択肢の拡大を図りました。

④らくしゅう式機能訓練をメニューの一つとして積極的な認知症予防への取り組み

・らくしゅう式機能訓練のプリントコーナーを設置しました。また、個別で継続して取り組みたい方には、ドリルを作成するなどニーズに応じた取り組みを実施しました。

⑤機能訓練、回廊歩行等の充実を図り、下肢筋力維持向上に積極的に取り組み

・回廊の壁面を利用し、くまもとクイズや地域の方の写真・作品展示、利用者作品展示等、利用者の興味を引く仕掛け作りをおこなったことで、回廊歩行を楽しみと言われる方が増えてきています。

⑥長寿の里のコンセプトを明確に発信できるためのツール（プログラムメニュー表等）の作成

・認知症予防（らくしゅう式機能訓練）教室や予防運動教室等を地域で実施し、センターの取り組みを紹介しました。

⑦まごわやさしい食事の提供

・管理栄養士による栄養バランスの良い食事提供を実施しました。また、利用者への定期的な聞き取り調査をおこない、リクエストメニューを取り入れる等、食事の楽しみづくりに取り組みました。

⑧利用者、家族への+αのサービス提供

・長欠者への訪問や電話連絡を随時実施し、利用者・家族との信頼関係構築を図りました。

２．認知症対応型通所介護事業の開始、基盤作り

①らくしゅう式機能訓練等、科学的介護の実践に結びつく個別メニューの実施

・科学的介護の実践として、事業開始時より、らくしゅう式機能訓練を、6 月よりアロマセラピーを導入し個別メニューの充実を図りました。さらに、来年度より園芸活動の一環として新たに取り組む野菜作りの準備に取り組みました。

②積極的な地域・包括・居宅への広報・ＰＲの実施（毎月）

・拠点の他事業所と連携し、城山、三和、小島、中島、松尾、白坪、古町、春日、花園校区の社協長会・民協例会・自治協議会へ参加し、広報・ＰＲを行いました。

・居宅、包括、ご家族、ご利用者向けに活動内容がわかりやすく写真を掲載したファイルを作成しました。

・居宅、包括のケアマネ対象に「認知症とアロマセラピーの効果」についての研修会を

実施しました。

・積極的に、地域のニーズに応じて、出前講座を開催しました。

③認知症についての研修の定期的実施、認知症の状態に応じた的確なアセスメント・ケアができる職員の育成（研修・勉強会への参加）

・職員の質の向上を目的に、外部研修や他事業所の視察研修へ参加しました。さらに認知症への知識を深め、サービスの質の向上を目的に、法人内９施設とともに、内部職員研修(年５回)を実施しました。

④ご家族・地域参加型の交流会の立ち上げ、介護負担軽減と地域への認知症についての理解の深化、ニーズの把握と質の向上（２回/年以上）

・ご家族・地域参加型の交流会として、町内に出向いたり、施設内で認知症についての講話とらくしゅう式機能訓練・音楽療法の体験会を実施しました。(年３回実施)

・松尾校区の老人会、白坪校区のサロン活動に協力し、認知症とアロマセラピーについての講話と、活動内容の体験会(ミニデイ)を実施しました。(年３回実施)

３．利用者ニーズの把握、迅速な改善による満足度の向上

・アンケート調査による個別ニーズへの対応（ドライブツアーや夏祭りでのかき氷等）や外出希望チラシを掲示し、希望者への対応をおこないました。

◆広報活動と地域交流の強化

１．広報誌の発行及びホームページを有効活用します。

①「長寿の里通信」を発行します。

・写真を中心に長寿の里の取り組みをわかりやすく掲載し、地域回覧及び関係居宅・包括等へ配布しました。

②ホームページで長寿の里の「生きた情報」をタイムリーに更新し、発信していきます。

・認知症予防（らくしゅう式機能訓練）やスタッフ紹介、活動等の最新情報をタイムリーに掲載しました。

２．地域交流事業の開催

①らくしゅう式を取り入れた介護予防教室等を開催（年６回）します。

・薬師老人会や松尾サロン等で実施しました。

②地域貢献としての外部事業に積極的に取り組みます。(野中はつらつサロン　月１回)

・らくしゅう式を中心に転倒予防体操や健康チェック等を実施しました。

③夏祭り等地域参加型イベントを開催します。(年１回以上)

・「長寿の里夏まつり」では地元城山薬師サポーターズや城山校区自治会等の協力を戴き、近隣保育園の太鼓やボランティアの皆さんとの交流等、地域の交流事業として開催しました。当日は、３００名を超える来場者がありました。

④薬師サポーターズ（長寿の里復活プロジェクト）との交流の場をもち、地元住民との信頼関係を強化します。

・復活プロジェクトを隔月実施する中で、環境整備（草刈り等）や畑作り、薬師老人会の介護予防教室開催等、地元との協力関係を深めることができました。

⑤世代を超えた地域交流事業を開催（年２回）します。

・「おやつ作り教室」「クリスマスリース作り教室」を開催し、地域子供達との交流を深めると共に、心身の活性を図りました。

・ジュニアボランティア育成を目的とした「わくわくサマーキャンプ」は台風のため中止となりました。

３．地域団体との連携

①社協等ボランティア団体への積極的働きかけを図り、スマイルクラブ登録（２０名以上）を推進します。

・社協へのボランティア募集登録をおこない、傾聴ボランテイア等の応募があるなど、週１～２回のペースでボランティアに来ていただき､利用者の方にも喜ばれています。

②研修室（会議室）の提供を通して地域に開かれた施設を目指します。また、講座等への貸し出しを開始します。

・薬師老人会や地域のサロン、オカリナ講座の練習等に貸し出ししている状況です。

③地域イベントの準備協力を通して地元住民との連携を強化します｡(高橋の鯉のぼり準備、片付け等)

・４月、５月に実施される、高橋校区の鯉のぼり準備に協力する等、連携強化に努めました。

◆各関係事業所との連携強化及び、職員の資質向上を図ります。

①関係事業所（居宅・地域包括・訪問介護・養護老人ホーム）との連携をさらに強化します。

・居宅、包括等関係機関への訪問（月１回以上）や包括主催の「介護予防教室」協力、地域ケア会議、連絡会参加等により、連携強化に努めました。

②職員の資質向上に向けた各種研修会の開催・参加に努めます。

・ＯＪＴ、コーチング研修、若手社員研修、相談員のためのスキルアップ研修、レク研修等に参加し、職員会議等で研修報告会を実施し、スキルアップに努めました。

③他法人の同事業所及び居宅・包括、養護老人ホームとの連携を図り、職員交流の場（勉強会等）を設け自己研鑽・質の向上に努めます。（１回以上/年）

･法人内９事業所合同の認知症研修会や接遇研修会を実施し､資質の向上に努めました。

④内部委員会活動の推進

･各委員会とも随時会議を開催し､決定事項の周知や協力を図る等､連携を深めました。

（２）２６年度の成果目標

・２６年度の利用目標値：通所介護（８４％）→　８０％（未達成）
　　：認知症対応型通所介護（６０％）→　４４．７％（未達成）
・収支均衡：自立化できる収支　　未達成
・地域広報誌「長寿の里通信」の発行（年度４回）→　４回発行（達成）
・維持改善率：８０％以上 →　８４％（達成）
・利用者満足度アンケート（年度２回）による満足度９０％以上 →　９０％（達成）
・介護福祉士の安定的確保（介護職員の４０％以上）→　４４％（達成）

Ⅱ． 活動状況

1．デイリープログラム

8:30　8:45　10:00　11:00　12:00

ラジオ体操 朝礼	送　迎 受け入れ準備・養護・配茶 健康チェック イージーキューブ	選択活動 （らくしゅう式機能訓練） 個別リハ・介護予防運動	お口の体操	昼食 養護休養等

13:00　14:00　14:20　15:00　16:30　17:15

入浴・養護 選択活動等	おやつの時間	選択活動 （らくしゅう式機能訓練）	送　迎 （養護） ケア記録 翌日準備	反省会	終礼・休息

2．主要行事

月	生活行事	視察・交流事業等
4	春のドライブツアー	・高橋校区鯉のぼり準備
5	母の日　しょうぶ湯　体力測定 茶話会（アンケート調査）	・高橋校区鯉のぼり片付け
6	父の日	・八島いきいき会視察 ・天明老人センター交流会 ・西部公民館健康づくり交流会
7	七夕	・ナイストライ（三和中） ・地域交流（おやつ作り教室） ・薬師老人会予防教室
8	夏祭り 体力測定	・長寿の里夏祭り ・南部在宅交流会
9	敬老週間	・敬老週間（城山、池上、小島保育園）交流会 ・松尾西サロン視察・介護職員実務者研修
１０	大運動会　　避難訓練	・職業訓練センター介護職員実務者研修
１１	体力測定	・歌謡ショー（新さん）等
１２	餅つき　ゆず湯	・地域交流（クリスマスリース作り教室）等
1	初詣　正月遊び	・職業訓練生見学会
2	節分　体力測定	・ちょんかけ駒ボランティア等 ・松尾ふれあいサロン予防教室
3	花見散策　避難訓練	

（毎月）童謡ボランティア・洗濯ボランティア・カラオケボランティア・傾聴ボランティア
　　読み聞かせボランティア・書道ボランティア・料理ボランティア・アロマボランティア
（年４回）ピッカリブラザーズ
（毎月）サークル活動（生花）
　　野中校区はつらつ教室（らくしゅう式機能訓練実施）
（隔月）薬師サポーターズ会議　薬師介護予防教室

Ⅲ．利用者の状況

１．月別利用者数（人）

（大規模通所介護）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H24年度	888	955	929	869	884	867	942	948	874	832	827	910	10，725
H25年度	872	907	906	1020	1008	950	981	996	942	907	840	897	11，226
H26年度	946	918	849	868	829	886	927	893	875	768	783	857	10，399

（認知症対応型通所介護）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H26年度		84	91	102	100	100	136	121	137	119	126	150	1，266

２．要介護度別利用者数（人）　３月末現在

（大規模通所介護）

要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
9	１４	３３	１９	9	3	6	９３

（認知症対応型通所介護）

要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
0	0	5	6	2	2	1	１６

３．年齢構成　　３月末現在

（大規模通所介護）（９３人中）

年齢	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~
	0	2	8	１６	２１	１９	１８	8	1

（認知症対応型通所介護）（１６人中）

年齢	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~
	0	0	0	0	4	6	2	4	0

４．居宅介護支援事業所別利用者数（人）　３月末現在

（大規模通所介護）

熊本市社会福祉事業団　長寿の里居宅介護支援事業所	５２	居宅介護支援事業所白藤	1
熊本市社会福祉事業団　平成居宅介護支援事業所	4	アースサポート熊本	1
熊本市社会福祉事業団　中央居宅介護支援事業所	1	さくらの苑居宅介護支援事業所	1
地域介護相談センターけあまっぷ城西	1	居宅介護支援事業所　あきた	3
指定居宅介護支援事業所　たさき	2	居宅介護支援事業所ヒルサイドガーデン大樹	1
居宅介護支援事業所せいぶ	1	居宅介護支援事業所　みゆきの里	1
三和荘居宅介護支援事業所	2	ささえりあ　平成	2
ささえりあ　三和	１２	ささえりあ　飽田	1
ささえりあ　花陵	6	ささえりあ　熊本西	1

（認知症対応型通所介護）

熊本市社会福祉事業団　長寿の里居宅介護支援事業所	１０	熊本市社会福祉事業団　平成居宅介護支援事業所	3
熊本市社会福祉事業団　中央居宅介護支援事業所	1	城山会	1
医療法人社団昌洋会　まごころ居宅介護支援事業所	1		

５．複数回利用状況（人）　３月末現在

（大規模通所介護）

週１回	週２回	週３回	週４回	週５回	週６回	計
１８	３３	２６	4	7	5	９３

（認知症対応型通所介護）

週１回	週２回	週３回	週４回	週５回	週６回	計
4	5	1	6	0	0	１６

Ⅳ．職員研修

６月２７日	認知症予防とアロマテラピー（内部研修）	アロマライセンスカレッジ
８月２２日 ９月５日、１９日	人材育成セミナー ・マネジメント基礎研修 ・ＯＪＴ、コーチング研修	熊本県雇用環境整備協会
１０月１７日	九社連・老人福祉施設協議会通所介護部会セミナー	九社連・老人福祉施設協議会
１０月２２日 ２３日	若手社員研修 ・コミュニケーション力を磨こう ・効果的に仕事を進める力を磨こう	熊本労働局
１０月～ 平成２７年２月	認知症研修（内部研修）月１回（５回） ①認知症の理解②認知症の早期発見③認知症の評価④認知症の予防・ケア⑤コミュニケーション・関係つくり	熊本市社会福祉事業団 （９事業所） 講師：みゆきの里認知症対策室理事長付室長　川畑智氏
１１月５日	社会福祉施設における感染症及び食中毒対策研修会	熊本市保健所
１１月１４日	福祉施設のための「リスクマネジメント研修会」	損害保険ジャパン日本興亜
１１月１５日	平成２７年度介護保険制度改正に伴う通所サービスの選ばれ方、選び方	熊本市南区通所連絡会ともにステップ
１２月１９日	熊本県老人福祉施設協議会通所介護部会研修会	熊本県老人福祉施設協議会
平成２７年 １月２４日	相談員のためのスキルアップ研修	福祉と介護研究所
２月２０日	介護報酬・制度改定対応セミナー 「制度改定に対応する個別機能訓練」	日本通所ケア研究会
２月２４日	人生は「挨拶の３秒」で変わる（内部研修）	長寿の里デイサービスセンター 講師：城山薬師自治会長
３月５日	レクリエーション研修	介護労働安定センター

Ⅴ．介護度の維持・改善状況

①センターにおける介護度の維持・改善状況

（大規模通所介護）（６２人中）

利用者の介護度の維持・改善者数	利用者の介護度の維持・改善率
４５人	７２．６％

※認知症対応型通所介護については、事業初年度の為該当なし

長寿の里居宅介護支援事業所

Ⅰ．事業運営の状況

（１）平成 26 年度の取り組み

①　地域の拠点として地域住民からの信頼獲得

（ア）関係事業所（デイ・訪問介護・養護老人ホーム）との連携強化に取り組み、広報・PR 活動を行い、新規利用者獲得に努めました。

（イ）長寿の里復活プロジェクトに参加し、地域に根ざした事業所を目指しました。

（ウ）同法人内の老人福祉センター（南・天明・河内）やスーパーマーケット（パディ）での定期相談窓口を毎月開催し、血圧測定や介護保険、認知症に関すること等、各種相談に応じ、『地域の相談所』としての役割を定着させるよう努めました。

②　職員の資質向上

（ア)利用者のニーズに対応した質の高いサービス提供のために外部研修に積極的に参加しました。また、内部研修については、毎月ワンポイント研修や困難ケースの事例検討を行い、情報の共有化や日頃の業務の振り返りを行い職員の質の向上に努めました。

③　積極的な広報・ＰＲ活動の実施、関係機関との連携強化

（ア）効率的に地域包括支援センター・事業所・病院等へ広報・PR を実施し、利用者数アップを目指しました。

④　認定調査の安定運営

（ア）専任の統括責任者を配置し、事務局機能を向上させ順調に実施できました。

（イ）安定的な認定調査員の人材確保を目指し、定期的かつ継続的な募集活動に取り組みました。

（ウ）調査業務の正確性、迅速性の向上をめざし、現任研修に加え、事業団主催の自主研修を年１回開催し、外部研修会へも年１回参加しました。

（エ）調査員に対しては、１回/２か月程度認定調査員同士の交流の場を設けるとともに、勉強会等を実施し、積極的なサポート体制を図りました。

（２）平成 26 年度の成果

１．居宅介護支援事業所のプラン件数については下記のとおりです。

①　介護サービス計画依頼について

介護サービス計画依頼数状況（２６年４月～２７年３月）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件	92	88	92	94	94	96	100	101	100	95	95	101	1,148
前年	116	112	119	114	117	113	115	122	119	118	119	120	1,404

②　介護予防プラン受託・管理数について

介護予防プラン受託・管理数状況（２６年４月～２７年３月）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件	1	1	1	1	1	2	5	5	5	5	6	5	38
前年	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	43

③　サービス利用状況

平成２７年３月中のサービス利用状況

	サービス内容		前　年
1	通所介護（ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ）	78	71
2	通所リハビリ（ﾃﾞｲｹｱ）	7	10
3	訪問介護（ﾍﾙﾊﾟｰ）	47	78
4	短期入所	6	6
5	訪問看護（訪問リハ含む）	8	4
6	訪問入浴介護	5	2
7	福祉用具レンタル	59	69
8	福祉用具購入	0	0
9	住宅改修	0	0
合　　計		210	240

④　相談事業について

相談内容については①介護保険の窓口に関する事②ご家族の事③認知症に関する事④病気に関する事等多岐にわたっており随時対応しました。必要に応じて、包括支援センター等への情報提供を行い情報の共有化を図りました。

⑤　介護予防教室・講話件数

内部（老人福祉センター）　3 件以上/月

⑥　職員研修について

(1)内部研修

◎全体研修会

期日	テーマ
平成２６年７月２３日	今後の事業団とケアマネジャーの役割について
平成２６年９月１７日	対人援助について
平成２６年１０月１６日	9 部署合同認知症研修会（～月 1 回/全 5 回）
平成２６年１０月１７日	事例研究；対人援助；家族への働きかけ、対応について
平成２６年１１月１２日	精神疾患について
平成２６年１１月１２日	アロマセラピーと認知症予防
平成２７年２月２４日	接遇研修会
平成２７年３月１８日	平成 27 年度介護保険法改正について/事例研究

◎毎月の職員会議やミーティング時などを利用してのケース検討

◎短時間のワンポイント研修　１回/月開催

(2)外部研修

期　日	会議・研修名
平成２６年7月１５日	ケアマネ連絡会　認知症高齢者の支援について
平成２６年7月１８日	地域ケア会議
平成２６年9月１６日	認知症高齢者の実態把握と見守り支援について
平成２６年１１月１２日	西区ケアマネ勉強会　認知症で支援困難な事例
平成２６年１１月２６日	平成２６年度　認定調査員現任研修会
平成２６年１１月２６日	平成２６年度　介護予防ケアマネジメント研修
平成２６年１２月２５日	高齢者見守り会議
平成２７年2月１３日	西区ケアマネ連絡会　ケアマネジメント勉強会
平成２７年3月１２日	西区ケアマネ全大会　介護保険改正について

平成２６年度　要介護認定調査委託業務報告

平成２１年度より、熊本市並びに他市町村から委託を受けた介護保険認定調査訪問業務を行っており、今年度の委託実績は次のとおりです。今年度は熊本市より２，１６０件の委託があり、市外についても増加傾向であり、５９７件の依頼があり随時対応しました。

【Ｈ２６年度】

専任調査員９名　　（２６年４月～２７年３月）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総計
熊本市	210	189	185	179	175	173	176	172	178	171	176	176	2,160
市外	45	46	54	55	46	51	54	42	45	37	50	72	597
合計	255	235	239	234	221	224	230	214	223	208	226	248	2,757

【Ｈ２５年度】

専任調査員９名　　（２５年４月～２６年３月）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総計
熊本市	197	202	185	207	189	184	198	176	175	180	196	206	2,295
市外	53	45	40	31	49	49	45	33	44	35	48	49	521
合計	250	247	225	238	238	233	243	209	219	215	244	255	2,816

秋津デイサービスセンター

Ⅰ　施設運営の状況

１．　　２６年度の取り組みについて

（１）自己選択・自己決定のプログラム

本年度は団塊の世代に合わせて、自己選択・自己決定のプログラムを導入し、集団レクから個別レクへ移行し自立支援の促進を図りました。

認知症予防に効果的なアロママッサージやリンパマッサージ・書道や手芸・外出行事、カラオケ等豊富なメニューから選んで参加してもらったため、満足度を高めることができました。

（２）利用者や家族が満足して利用できるサービス内容

①憩のスペースを作り、利用者がテレビや映画を見たりソファに横になったりゆっくりと過ごせるよう環境整備を行いました。カフェコーナーでは利用者やボランティアの方、見学者の方がコーヒーやお茶を飲みながら談笑されています。また地域交流スペースとしても活用しています。

②・日曜日の営業開始により、雁回敬老園の利用者や認知が進み在宅生活が困難な方の需要があり、少人数ではありますが必要性は高く今後も継続していきます。

・ご利用者のニーズに合わせてサービス提供時間(7:30～19:30)を選べるようにし、他デイとの差別化を図りました。その結果、ご利用者や家族、ケアマネからも利用がしやすいと高評価で、新規利用につながっています。

（３）広報活動及び地域交流の強化

①　広報誌を年４回発行し広報誌1,500部を地域に配布し、夏祭りや餅つき等のイベントの案内や施設ＰＲを行いました。
広報誌、チラシ、ホームページの内容を配布先別にアピールポイントを検討し、効果的な広報活動に努めました。

②　地域との交流・世代間交流について

・ 夏祭りや餅つき、ハンドベルコンサートを地域交流事業として毎年実施しており、校区自治会や民生委員､地域ボランティアの方々にもボランティアとして協力していただき地域の認知度も高まりました。

・ 熊本学園大　ボランティアサークル　あすなろ　　夏祭りボランティア
熊本濟々黌　体験学習　５３名　　熊本市職業訓練校　　４名
東野中・桜木中　　ナイストライ　　近隣保育園(のぞみ保育園他３園)
秋津小４年生　　年間を通しての交流　　夏祭りダンス披露
体験学習や行事を通して世代間交流を行い、地域の福祉の拠点としての役割を果たすことができました。

③ 地域のサロンに職員が参加し、デイスタッフの介護技術や知識のノウハウを地域に活かし、包括や地域の方々にとても好評でした。

（４）各関係機関との連携

・包括主催の地域イベント(よさこいソーラン)や事業所連絡会に参加し、地域のデイ関係者や包括・居宅のケアマネと親交を深めて秋津校区だけでなく、桜木校区にもＰＲができ、広報範囲が拡大しました。

・困難ケースの地域連携会議を秋津デイで開催し、秋津デイのきめ細やかな質の高いサービスを行政、医療、弁護士、包括等の関係者に知ってもらう、良い機会となりました。

（５）職員の資質向上

・施設内外の研修会に参加し、職員の質の向上に努めました。特にＨ２７年度の介護報酬改定の研修会に主任以上の職員はできるだけ参加し、改定後の対応がスムーズにいくようにしました。

・報酬の加算に関係する介護福祉士の資格取得、認知症実践者研修参加を促し職員の意識を高めて、各１名ずつ増やすことができました。

２．２６年度の成果について

・２６年度利用率　８６．８％（前年比12.4%増）（目標：８２％）
・地域広報誌の発行　年４回、地域交流事業の開催　年３回、地域交流セミナー　年１回
・維持改善事業の取り組み２６年度３事業以上。
・利用者満足度アンケート年２回実施。（アンケートの全項目で約８０％が満足と回答）
・介護福祉士の安定的確保、介護職員６２％。

Ⅱ．活動状況

1.デイリープログラム

8:30	12:00	13:00	14:30	15:00	19:30
送迎　→ 健康チェック、体操、入浴 個別機能訓練Ⅰ・Ⅱ 脳トレなど選択レク	昼食	口腔ケア 昼休み	選択レク 個別機能訓練 Ⅰ・Ⅱ	おやつ	送迎→ 夕食・養護

2．主要行事

月	生　活　行　事	給　食　行　事	その他
４	フラワーアレンジメント 秋津公園散歩 アロマテラピー（毎月） リンパマッサージ（毎月）	誕生会御膳 おやつ調理（毎月）	秋津校区自治会挨拶 熊本市職業訓練センター実務者研修 東部在宅福祉センターへ交流
５	母の日 下江津湖散策 ショッピング フラワーアレンジメント	母の日膳	地域交流事業（秋津小交流会） 東部在宅福祉センターへ交流
６	父の日 下江津湖散策 ショッピング	父の日膳	第1回家族介護者教室 避難訓練 ナイストライ受入
７	七夕 健康体操教室	七夕膳	熊本市職業訓練センター実務者研修
８	盆踊り 夏祭り		地域交流事業（夏祭り） ふれあい事業―家族交流会（夏祭り） ナイストライ受入 済々黌勤労学生体験実習 地域交流事業（秋津小交流会） 東部在宅福祉センターへ交流
９	敬老祝賀会 彼岸花見学	敬老祝い膳	地域交流事業･家族交流会(敬老のつどい) 教育実習（尚絅大学） 東部在宅福祉センターへ交流
１０	動植物園散策 スポーツレクリェーション ショッピング		地域交流サロン参加 本市職業訓練センター実務者研修
１１	あきつ文化のつどい 紅葉見学ドライブ		避難訓練
１２	ショッピング 忘年会 クリスマス会 もちつき ルーテル学院ハンドベル演奏会	クリスマス食	地域交流事業（近隣保育園児との交流会・ あきつ児童館交流会・ 東部在宅福祉センター交流会） 熊本市職業訓練センター実務者研修

月	生　活　行　事	給　食　行　事	その他
1	初詣	七草がゆ	食事アンケート 満足度調査
2	節分行事 植木市	豆まき膳	
3	花見（秋津公園にて弁当） 公園散策	雛祭り膳	地域交流サロン参加
【毎月実施】　選択活動（書道ボランティア講師参加）、誕生会、リンパマッサージ、アロマテラピー ボランティアの受入（日舞・短歌・演奏など）			

Ⅲ.利用者の状況

1　月別利用状況　（人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
２５年度	792	803	755	801	777	707	726	722	669	623	631	705	8711
２６年度	727	790	752	779	777	830	859	837	835	824	789	829	9628

2 介護度別利用状況　（H27.3.31現在）

要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
11	14	34	18	13	0	1	91

3　居宅別利用状況　（人）（H26.3.31現在）

同法人		地域包括					
秋津居宅	平成居宅	ささえりあ 桜木・秋津	ささえりあ 尾ノ上	ささえりあ 江津湖	ささえりあ 富合	宇城市	八代市
42	6	15	1	2	2	1	1

他法人居宅						
ふくし大夢	おんさ	御船清流園	セントケア	はぁとふる	ﾓﾝｸｰﾙの丘	九州記念病院
5	2	2	2	1	1	1
栞	まこと	わらべ	青い鳥	ﾘﾃﾞﾙﾎｰﾑ	ｸﾘｰﾝｺｰﾌﾟ 熊本西	南の風
1	1	1	1	1	1	1

4　複数回利用状況　（人）（H27.3.31現在）

１　回	２　回	３　回	４　回	５ 回	６回	計
15	42	16	10	4	2	91

Ⅳ　職員研修

月	研　　修　　名	場　　所
4		
5		
6		
7	認知症介護実践者研修（講義：５日・実習：１日） 介護支援専門員再研修（３日間）第１回管理職員研修	ＫＫＲホテル熊本
8	人事考課者研修	希望荘
9	介護支援専門員再研修（４日間） 会計事務研修	ＫＫＲホテル熊本 法人本部２階会議室
１０	認知症研修（1回目） アンガーマネージメント研修	長寿の里 希望荘
１１	営業・広報研修 労務管理研修会 介護保険推進全国サミットｉｎくまもと 認知症研修（2回目） 生活リハビリプログラムの仕掛け作り研修会	法人本部２階会議室 法人本部２階会議室 崇城大学ホール （長寿の里） 崇城大学ホール （長寿の里）
１２	認知症研修（3回目）	（中央在宅）
1	認知症研修（4回目） 介護保険改正の対応策研修会 メンタルヘルス研修会	（中央在宅） くまもと県民交流パレア 希望荘
2	平成26年度九社連老人福祉施設協議会研修会 コンプライアンス研修会 新「個別機能訓練」研修会	ホテル日航 くまもと県民交流パレア
3	人事考課者研修	法人本部２階会議室

*事業団内施設実習研修・・事業団研修計画

*接遇研修　　・・事業団研修計画

Ⅴ.介護度維持・改善状況（平成26年度更新認定者　81　名中）

①　　年齢構成

年齢	６５～６９	７０～７４	７５～７９	８０～８４	８５～８９	９０～９４	９５～９９	１００～
	5	6	14	23	22	17	5	0

②　センターにおける介護度の維持・改善状況

利用者の介護度の維持・改善数	利用者の介護度の維持・改善率
67人	82.7%

秋津居宅介護支援事業所

Ⅰ．事業運営の状況

（1）26 年度の取り組み

① 名称変更

H26 年 4 月より東の里居宅介護支援事業所から秋津居宅介護支援事業所に名称変更し、秋津デイサービスセンター内にある居宅としての認識を高めることが出来ました。

また、土曜日の営業を開始することで、利用者や事業所間との相談や連絡が平日と同様スムーズに行えるようにしました。

② 効果的な広報活動

秋津デイサービス、東部在宅福祉センターとの共催イベントや広報誌配布により、地域の介護拠点としての認知度アップに努めた結果 11 件の新規紹介があり、相談や介護認定申請等の支援を行いました。そのうち、5 件が当居宅の新規利用者に結びつきました。

③ 介護相談・健康相談の実施

東部在宅や憩いの家での定期介護相談の他、秋津デイサービスの夏祭り、東部在宅でのふれあい祭で介護相談窓口を開き地域にＰＲし認知度を高めることが出来ました。その結果、民生委員さんからの新規相談が 1 件あり、秋津デイサービスセンター利用に繋がりました。

④ 各関係事業所との連携

毎月開催される東区主任ケアマネ会議や東 5 圏域の包括・居宅介護支援事業所との連携会議（年 5 回）に参加し、情報交換や勉強会を通して連携を深めました。

また、個人のクリニックの勉強会に参加し医療機関との連携に努めました。

⑤ 職員のスキルアップ

介護保険制度改正の研修や内部研修・外部研修により最新の情報を学び職員のスキルアップを図り、プランに活かし質の高いマネジメントができるようにしました。また、東区主任ケアマネ会議に参加し、ケアマネの質の向上を図る事が出来ました。

（2）26 年度の成果

① プラン件数について

介護サービス計画依頼、予防サービス受託件数状況（２６年４月～２７年３月） （件）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
介護	92	96	91	88	92	89	88	91	95	87	91	85	1,085
予防	19	16	17	20	21	20	21	19	20	22	21	20	236

② サービス利用状況

平成２７年３月中のサービス利用状況

	サービス内容		前　年
1	通所介護（ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ）	55	61
2	通所リハビリ（ﾃﾞｲｹｱ）	12	16
3	訪問介護（ﾍﾙﾊﾟｰ）	49	80
4	短期入所	12	9
5	訪問看護（訪問リハ含む）	7	13
6	訪問入浴介護	1	2
7	福祉用具レンタル	41	57
8	福祉用具購入	1	0
9	住宅改修	0	3
合　　計		178	241

③ 相談事業について

東部在宅福祉センター（介護相談）　　・・・第２水曜日（月１回）
秋津２町内憩の家（介護・健康相談）　・・・第２．４金曜日（月２回）
秋津デイ地域交流夏祭り（相談窓口）　・・・８月
東部在宅ふれあい祭　　（相談窓口）　・・・１１月

相談内容については①介護保険の手続きについて②ご家族の事③認知症に関する事④病気に関する事等多岐にわたっており、随時対応しました。

④ 職員研修について

(1)内部研修

期日	テーマ
4/1～4/4、7/17、12/11	新規採用職員研修
7/23、9/17、10/17、11/12、1/21	事業団居宅合同研修
10/16、11/19、12/17、1/21、2/18	認知症合同研修

◎デイとの合同職員会議で、外部研修の伝達研修を実施し、全職員のスキルアップを図る。
◎朝のミーティングや毎月のケアミーティングで随時困難ケースについて現状報告、検討。

(2)外部研修

4/22	東5介護予防活動支援委員会(仮)発足会
6/22	介護支援専門員と診療報酬
8/14	地域包括支援センター連絡協議会　実務者研修
8/27	介護電子請求受付システムについて
9/20	在宅ホスピス・ボランティア活動の取組みについて～それぞれの老い支援
10/23	東区管内権利擁護研修会
10/30.31	第 15 回介護保険推進サミット in くまもと
11/21	介護予防ケアマネジメント研修
11/26	認定調査員　現任研修
2/19.20	九社老施協　施設長研修会

※東5圏域　居宅、包括連絡会　　(5/22、7/16、9/23、11/19、2/18)

※わかばクリニック　ティータイムミーティング　　(6/25、8/20、2/4、3/18)

※東区主任CM部会

① 全体会議(4/14、6/11、10/21、12/22)

② 地域ケア会議推進部 (7/15、11/14、11/18、1/14、2/17、3/18)

③ 他職種連携部会(6/20、11/20)

西里デイサービスセンター

Ⅰ．施設運営の状況

１．２６年度の取り組み

（１）デイサービス事業

①運営理念及び基本方針を明確にして利用者本位のサービスを提供し、運営理念と基本方針を職員全員が共有しその実現を目指しました。

②デイルームの一部を改装しカラオケ等のサービスの充実を図りました。

・ヘルパー事業所の移転に伴いデイルームの環境を見直し、カラオケ室、機能訓練室、くもんコーナー、談話室等の整備をし、ご利用者が創作活動やカラオケ等、自発的に動き活動していただけるよう工夫をしました。

③制度改正への対応を進め、機能訓練の充実を図りました。

ア．理学療法士と２月から配置した作業療法士を活用して機能訓練の充実を図り、機能訓練の場所を移して動きやすい環境にしました。

イ．理学療法士、作業療法士、看護師、介護職員等が協働して利用者の身体状態や住環境の把握に努め、効果的なリハビリメニューの作成・評価を行いました。

ウ．看護、介護職員での内部研修や理学療法士による合同勉強会を実施して知識、技術の向上に努め、個別機能訓練の拡充を図りました。

④魅力的で特色あるデイサービスの展開を積極的に進めました。

・ご利用者の自己選択、自己決定を尊重し自立を促す支援へ移行しました。
ご利用者が住み慣れた地域で在宅生活を継続できるようにお一人おひとりの心身状態や能力に合わせた自立支援を行いました。

・認知機能の維持・向上を図るメニューの充実を図りました。
脳機能の維持、改善のプログラムや運動を利用者の状態に合わせて組み入れ、「くもん学習」との相乗効果により認知機能や心身の維持・向上を図りました。

・利用者、家族のニーズにあわせたサービス内容

ア．多様なニーズに応えるため３時間～12 時間のサービスを提供しました。

イ．年末年始の休業中、入浴希望のご利用者でケアマネージャーが必要であると認めた方に対し 12 月 31 日に入浴を目的としたデイサービスを実施しました。

ウ．機能訓練プログラムの一環として特に要望の高い「季節の花見」や「西里買い物ツアー」などの外出行事を定期的に実施し、季節感を味わい気分転換を図っていただく機会を提供しました。

エ．職員のアイディアやご利用者の希望を取り入れたメニュー作りをし、自己決定を尊重した個別活動プログラムを実施しました。

オ．介護度の高い方や認知症の方に応じた活動を実施しました。

（２）地域交流事業

① 施設を地域に積極的に開放し地域交流を進めました。

② 「ふれあい祭」等の地域交流事業を積極的に進めるとともに「いきいきサロン」、老人会、民児協や自治会の定例会などの地域事業にも積極的に参加協力し、地域の方々との連携を図りました。

③ 実習や福祉体験等を積極的に受け入れ、地域の社会資源としての役割を果たし、地域への貢献とともに交流を図りました。

（３）老人センターとの交流事業

①老人センターご利用者とデイサービスご利用者との交流を積極的に進めました。

・西里老人センターと協力体制を取り、福祉ふれあい祭、新春の集い、家族介護者教室など積極的に交流を図りました。また、本年度は餅つき会も合同で行い、双方のご利用者に喜ばれました。
・老人センターのご利用者とデイサービスのご利用者が共同参加するプログラムの実施やボランティアの活用により、日々の活動における交流を図りました。当センターのゆったりした空間を活かし、ご利用者に館内を移動していただく工夫をしました。

②西里、川上老人センターに介護相談窓口を設置し、地域への貢献とともに交流を図りました。

（4）広報宣伝活動

①広報紙やＨＰを効果的に活用して､デイサービスの事業内容を地域や関係機関にＰＲしました。

②近隣の民児協例会、自治会、老人会、地域包括センター、居宅、校区コミセン等での地域活動を通して地域へＰＲしました。

③地域の民生委員や自治会長等のデイ見学や食事体験会を通じて西里デイの PR をしました。

（5）職員の資質向上と関係機関との連携強化

①来所された全ての方に職員が笑顔で接することができるよう接遇を徹底させました。また、介護接遇のマナー研修を受講した職員を中心に伝達研修を行いました。

②全職員が計画的に内外の研修会へ参加し共通理解を持って業務に取り組みました。
今年度は特に認知症、機能訓練についての理解やスキルアップに重点を置きました。

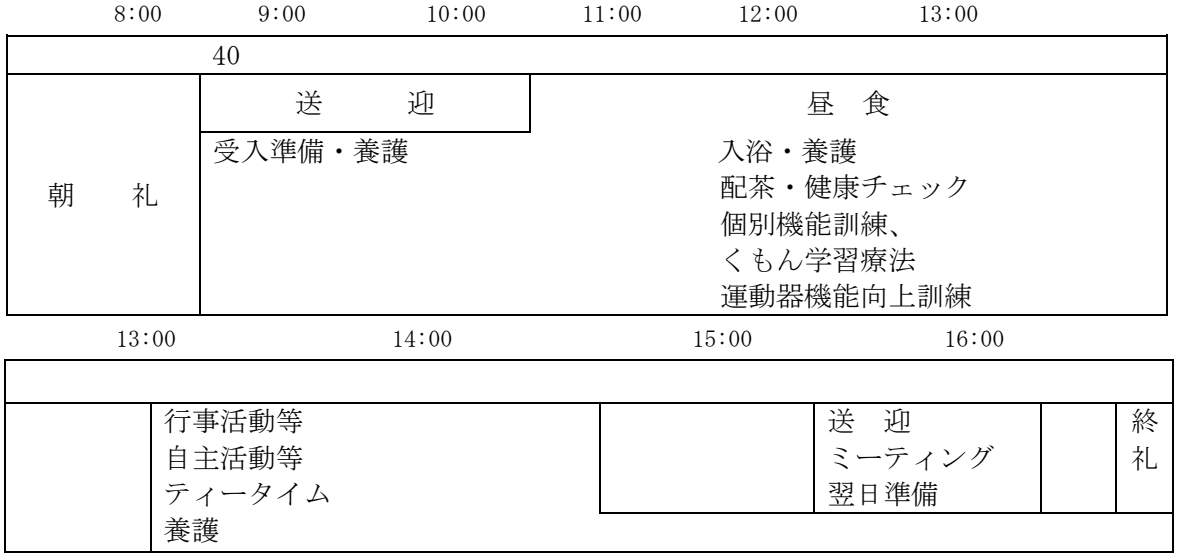
③養護、訪問介護、居宅、包括等との連携会議開催を継続し、お互いの状況を理解して日頃から円滑な関係作りができるよう心がけました。

④地域の居宅介護支援事業所や地域包括支援センター、近隣の関係機関との連携強化を図り、顔の見える関係づくりをしました。

２．２６年度の成果目標

・２６年度の稼働率７１．７％（目標稼働率 81%)。
・地域広報誌の発行年度４回、地域交流事業の開催年度３回実施。
・維持改善事業の取組み２６年度３事業以上、介護度の維持改善率は８０．６％
（目標数値は８０％以上)。
・利用者満足度アンケート（年度２回）による満足度 95%（満足度 90%以上)。
・施設間連絡会年度５回実施。

３．デイリープログラム



Ⅱ．主要行事

月	生 活 行 事	給 食 行 事	実 習・交 流・事 業 等
4	桜見物、買物外出（ロッキー、フードパル） つつじ見学　　健康体操 おやつ作り（梅枝餅）		・家族介護者教室「遺言、相続について」4/17
5	母の日行事、健康体操、 体力測定、選択活動（カレンダー作成、バラ園見学、脳トレ、買物）、しょうぶ湯、 西里のど自慢大会	母の日祝い膳	
6	父の日行事 七夕準備（飾り作り）	父の日祝い膳	・ピッカリブラザーズ6/14 ・五丁保育園（17名程）6/6 ・健康体操 ・日舞 ・保健科学大より見学・交流8/20 ・介護者教室（詐欺被害予防）6/27
7	七夕祭、盆踊り練習		・手話ダンス7/23
8	夏祭り	夏バテ予防食	・家族介護者教室8/5 「熱中症対策と水分補給について」 ・尚絅短大より実習２名8/18～22 ・夏祭りでの老人センター利用者＆五丁保育園園児との交流8/8 ・報徳保育園児来所、交流
9	敬老週間 梨狩り	敬老の日祝膳	・日舞（藤川先生）9/9 ・交通安全安心サポーター9/4 ・フラ「カ・フラ・オ・ロケラニ」9/10 ・ピッカリブラザーズ9/11 ・フラ（南部在宅より）9/12
10	運動会	行楽弁当	・西里福祉ふれあい祭10/26
11	紅葉狩り（金峰山、県庁前） 利用者作品展示 アロマハンドトリートメント		・家族介護者教室11/21「お薬の話」 ・崇城大学介護実習3名
12	クリスマス会(職員寸劇) ゆず湯 アロマハンドトリートメント	クリスマス食	・ちょんかけゴマボランティア12/5 ・フラ「カ・フラ・オ・ロケラニ」12/10 ・防災訓練12/11 ・ピッカリブラザーズ12/15 ・熊本保健科学大学より見学
1	新春の集い（獅子舞） 初詣（護国神社） アロマハンドトリートメント	おせち	・新春の集い1/15（椿会） ・国立病院機構熊本医療センター附属看護学校（老年看護学実習）
2	節分・豆まき 農業公園植木市見学 梅の花見、茶話会 アロマハンドトリートメント	お弁当週間	・国立病院機構熊本医療センター附属看護学校（老年看護学実習） ・避難訓練2/12（消防署立会い） ・家族介護者教室「転倒予防」、体操
3	ひな祭り、お花見、茶話会 合同餅つき会3/10 アロマハンドトリートメント デイサービス利用者や利用者家族、老人センターとの交流	ひな祭り膳 お花見弁当	・ピッカリブラザーズ3/16 ・フラ「カ・フラ・オ・ロケラニ」3/24 ・シルバーヘルパー講習会（見学）3/24 ・講座発表会（老人福祉ｾﾝﾀｰ）3/27

月	生 活 行 事	給 食 行 事	実 習・交 流・事 業 等
毎月	誕生会・体重測定・機能回復訓練	誕生会食	・柿原いきいきサロン協力参加 ・さつきクラブ（ハーモニカ演奏）
随時	保育園交流 家族介護者教室（6回） 老人センター講座生との交流 （カラオケ、舞踊、健康体操等）		

Ⅲ．利用者の状況

1　月別利用状況　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25年度	588	603	565	645	613	612	621	634	598	564	512	538	7093
26年度	573	581	520	558	565	582	608	553	547	485	499	558	6629

2　介護度別利用状況　（人）

要支援1	要支援2	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
6	6	２４	１３	4	3	2	５８

3　年齢構成（５８人中）　平均年齢（　８４．０歳）　（単位：人）

64以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～
0	1	6	5	１４	２１	１０	1	0

4　居宅別利用状況　（人）

中央居宅	北部居宅	平成居宅	けあまっぷ城西	熊本機能病院	八景水谷クリニック	竜　山
１８	１３	１０	2	1	1	1
はーと	河本内科小児科クリニック	ささえりあ北部	ささえりあ井芹	ささえりあ清水・高平	長寿居宅	計
1	1	0	5	3	2	５８

5　複数回利用状況　（人）

1　回	2　回	3　回	4　回	**5回以上**	計
16	16	17	2	**7**	58

Ⅳ．職員研修

期日	研　　修　　名	場　　所
5.22	2015年に向けた介護保険制度・報酬改正の展望と今後の介護事業戦略	KKRホテル熊本
6.25	デイサービス経営力強化セミナ	パレア 10F
8.7	「ケアサポートセンターメロン」実習研修	メロン
６月	介護支援専門員更新研修	ＫＫＲホテル熊本
8～9月	認知症実践者研修	天寿園、他
9～11月	認知症リーダー研修	天寿園、他

期日	研　　修　　名	場　　所
8.21	介護保険制度改正の内容と方向性について 新しい地域支援の在り方を考える研修会	はあもに
8.22	県老施協　通所介護部会講演会	ニュースカイホテル2F.
10.12	作業療法フェスタ	県劇
11.15	平成27年度介護保険制度改正に伴う通所サービスの選ばれ方、選び方	和楽
10.16	認知症の理解＃１	長寿の里
10.3	タクティールケア講習会	国際交流会館
11.12	労務管理研修　　法改正　ハラスメント研修	希望荘
11.19	認知症の理解＃２	長寿の里
11.20	営業広報研修会	平成本部
12.17	認知症の理解＃3　評価について	中央デイ
10.30	アンガーマネジメント研修	希望荘
1.15	感染症対策	ウェルパル熊本
1.15	メンタルヘルス研修会	希望荘
1.16	介護接遇マナー研修	福岡市博多区
1.21	認知症の理解＃４	県民交流会館パレア
2.13	「らくしゅう式」研修	長寿の里
2.13	機能訓練に関する研修	中央デイ
2.18	「コンプライアンス」契約書・計画書を々考えるか～	県民交流会館パレア
2.19	コーチング研修	平成本部
3.19	人事考課者研修	平成本部

Ⅴ．利用者の年齢構成と介護度の維持・改善状況

・　介護度の維持・改善状況（４９人中）

利用者の介護度の維持・改善者数	利用者の介護度の維持・改善率
３９人（維持：３９人　改善０人）	７９．６％

平成居宅介護支援事業所

(1) ２６年度の取り組みについて

①新規居宅介護支援事業所の開設

社会福祉事業団の第４ヶ所目の居宅介護支援事業所として、法人本部１階に設置され、事業を開始しました。

熊本市南部方面を中心に事業を展開する目的での設立であり、南部地区のサービス事業所、地域包括支援センター、病院等への広報活動を行い、徐々に信頼される事業所として地域の方に認知されるようになりました。

②居宅介護支援事業所としての事業

平成 26 年 4 月に新規に開設した事業所であるため、地域包括支援センター、圏域のサービス事業所、病院等に対して広報活動を行ったり、包括主催の研修会に出席するなどにより信頼関係を築くことができ新規ケースのご紹介を受けることができました。

（地域包括支援センター、病院、近隣の有料老人ホーム、近隣の住民の方からのご紹介による居宅介護支援依頼実績あり）

③相談事業の実施

介護相談：南老人センター　年間 12 回

毎月、同じ職員が訪問することで顔見知りの関係を築くことができました。

④職員の資質向上

介護支援専門員スキルアップとして介護保険におけるサービス計画作成についてアセスメント能力の向上・対人援助技術向上に努めました。

平成 26 年度、主任ケアマネージャー研修受講修了により、平成 27 年度より居宅介護支援事業所特定事業所加算Ⅲの算定が可能になりました。

（２）２６年度の成果目標

①年間介護サービス計画依頼数については下記のとおりです。

１．介護サービス計画依頼数について。

介護サービス計画依頼数状況（２６年４月～２７年３月）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件	41	49	47	47	52	55	59	99	99	95	91	91	825
前年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

２．介護予防プラン受託・管理数について

介護予防プラン受託・管理数状況（２６年４月～２７年３月）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件	0	0	1	1	1	3	5	8	9	9	10	10	57
前年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

３．サービス利用状況

・平成 27 年 3 月中のサービス利用状況

	サービス内容		前年
1	通所介護（ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ）	57	0
2	通所リハビリ（ﾃﾞｲｹｱ）	12	0
3	訪問介護（ﾍﾙﾊﾟｰ）	70	0
4	短期入所	3	0
5	訪問看護（訪問リハ含む）	6	0
6	訪問入浴介護	1	0
7	福祉用具レンタル	50	0
8	福祉用具購入	1	0
9	住宅改修	0	0
合　　計		200	

４．職員研修について

(1)内部研修

◎毎月の職員会議や、ミーティング時などを利用してのケース検討

◎短時間のワンポイント研修　年間 12 回

◎事業団全職員　認知症研修　シリーズ 5 回

◎事業団内居宅介護支援事業所合同研修　年間 6 回

◎メンタルヘルス研修会

(2)事業団内居宅介護支援事業所合同研修会

期　日	研修テーマ
平成 26 年 7 月 23 日	今後の事業団とケアマネジャーの役割について
平成 26 年 9 月 17 日	対人援助について
平成 26 年 10 月 17 日	事例検討会①
平成 26 年 11 月 12 日	精神疾患について
平成 27 年 3 月 18 日	介護保険改正について
平成 27 年 3 月 18 日	事例検討会②

(3)外部研修

期　日	会議・研修名
平成 26 年 7 月 23 日	ケアマネージャーの帳票勉強会
平成 26 年 11 月 14 日	車椅子シーティング　～身体状況に合わせた適合調整～
平成 26 年 10/16、11/19、12/17、平成 27 年 1/21、2/18	認知症研修
平成 26 年 10 月 30～31 日	介護保険推進全国サミット　in　くまもと
平成 27 年 1 月 23 日	熊本市南区虐待対応研修
平成 27 年 2 月 20 日	サービスつき高齢者向け住宅について
平成 27 年 3 月 13 日	平成 27 年度 介護報酬改定について
平成 27 年 3 月 20 日	平成 27 年度介護保険制度改正について 第 6 期くまもとはつらつプランについて

北部居宅介護支援事業所

Ⅰ．事業運営の状況

（1） ２６年度の取り組み

① 新規居宅介護支援事業所の開設

平成２６年１０月に、５ヶ所目の居宅介護支援事業所として「北部居宅介護支援事業所」を開設し、その事務所を北部ヘルパー事業所と共に、北区武蔵ヶ丘の地に置きました。北部居宅介護支援事業所は、新たな事業所として、北部エリアを中心にケアマネジメントを行う拠点として、地域住民に認知され、利用者には、安心できる適切なケアプランの提供をアピールしてまいりました。

② 居宅介護支援事業所としての事業

１．地域に根ざした事業所として地域のニーズを把握し、地域住民に頼られる事業所を、目指しました。

（ア）新規事業所として地域住民に認知されるよう、 積極的に広報活動を行うとともに関係機関との連携強化に努め、利用促進を図りました。
（武蔵･弓削校区民協例会、老人会、校区社協会議で広報活動実施）

（イ） 地域に向けて、介護相談会を開催し気軽に介護の相談できることをアピールしました。（武蔵校区ふれあいサロン、よりみち、ご近所クラブなど）

（ウ）事業所や病院、地域民生委員や自治会等関係機関と連携を図り、地域福祉の増進に努めました。
（ささえりあ、近隣の医院、介護事業所など）

（エ）法人内の訪問介護事業所、通所介護事業所と情報を共有し、相互のサービスの質の向上をはかりました。

２． 利用者のニーズに対応した質の高いサービス提供を目指すため、職員の資質向上に努めました。

（ア）困難ケースの事例研修を内部で実施し、職員の質を高めました。

（イ）介護保険制度や困難ケース事例研究等の外部研修に積極的に参加し、情報を収集集しケアマネの質の向上に努めました。
（具体的には、居宅内での事例検討。北部主任ケアマネ研修会、認知症研修会などに参加しました。

（2）２６年度の成果

① プラン件数について

介護サービス計画依頼、予防サービス受託件数状況（２６年１０月～２７年３月） （件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護							９４	７２	７４	７７	８１	７７	４０１
予防							6	7	8	7	7	7	４２

② サービス利用状況

平成２７年３月中のサービス利用状況

	サービス内容	今年度	前年度
1	通所介護(ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ)	51	
2	通所リハビリ(ﾃﾞｲｹｱ)	12	
3	訪問介護(ﾍﾙﾊﾟｰ)	49	
4	短期入所	3	
5	訪問看護(訪問リハ含む)	10	
6	訪問入浴介護	1	
7	福祉用具レンタル	30	
8	福祉用具購入	0	
9	住宅改修	1	
合　計		157	

③ 職員研修について

(1)内部研修

期日	テーマ
平成２６年１２月	認知症研修会
平成２７年　１月	認知症研修会
平成２７年　２月	コーチング研修

(2)外部研修

平成26年10月	介護支援専門員更新研修
平成26年11月	介護予防研修
平成26年11月	武蔵丘校区居宅連絡会
平成26年11月	北区主任ケアマネネットワークの会
平成27年1月	北5圏域内連絡会
平成27年2月	北区主任ケアマネネットワークの会　制度改正と第6期はつらつプラン
平成27年3月	介護保険改正に対する説明会

熊本市東部在宅福祉センター

（1）２６年度の取り組み

①「熊本市東部在宅福祉センター」の周知活動

毎月の行事カレンダー及び年２回のポスティングを兼ねた広報誌を発行しました。またボランティア東部劇場やふれあい祭等の主要行事に際してはポスターも作成し、更には、ホームページや市政だよりを大いに活用し広報活動に努めました。

②各事業（指定事業・自主事業）の取り組み

事業団（専門有資格者）及びボランティアの方々の協力を得て、指定事業・自主事業を全て実施することを第一に心がけて取り組みました。またアンケートを実施して次年度の事業に反映するよう取り組みました。

③関係機関との連絡と協力体制の確立

地域住民やセンター利用者及び包括支援センターを中心とした運営委員会（８名）を設置し隔月（年６回）で実施し、ご意見等を反映させる運営を心がけました。

④事業団内職員の有効活用の確立

スケールメリットを活かした事業団職員の活用では、居宅による介護相談や実践介護、更には管理栄養士による料理教室の育成等組織内職員の有効活用に努めました。

⑤研　修

会計、接遇、広報、相談員、認知症研修など幅広い研修計画に基づき職員の資質向上に努めました。

（2）２６年度の成果目標

①「熊本市東部在宅福祉センター」の周知活動実施

広報誌の発行、行事カレンダー（毎月）、主要行事ポスター（適時）、広域ポスティング（年２回）、ホームページの活用（毎月）、市政だより活用（毎月）。

②各事業（指定事業・自主事業）の基礎作り（次年度以降も継続可能な企画事業の立案と実施）

事業名	実施回数	内　容　等	結果回数	結果延人数
何でも介護相談	月2回	秋津居宅･東部在宅による介護相談	24回	49人
ふれあい相談	毎　日	東部在宅職員による相談	22件	22人
ふれあい祭	年1回	毎年11月地域住民とのお祭り	1回	350人
夏祭り	年1回	毎年8月地域の子供とのお祭り	台風にて中止	朝のラジオ体操時菓子100袋配布
イケメンクッキング	年6回	料理教室	6回	94人
おばあちゃんの料理教室	年6回	料理教室	6回	85人
元気で体操	毎　日	元気で毎日ラジオ体操	240回	5769人
健康セミナー	年3回	外部講師　事業団内講師による健康講話	3回	56人
花架拳	月2回	中国式健康法	20回	801人
歩け歩け会	年4回	徒歩1時間程度の散歩	4回	44人

あなたもフラガール！	月2回	当センター職員講師による フラダンス	24回	627人
ステップアップフラ	月1回	あなたもフラガールの上級	12回	183人
いきいき元気サロン	月1回	高齢者によるサロン	12回	91人
実践！かいご	月1回	事業団内(有資格者)職員 による介護の実践	12回	129人
わくわくシニアクラブ	適　時	広報、ポスター掲示、窓口 での説明		
税に関するセミナー	年2回	税務署員指導による税相談	2回	55人
わさもんIT講座	年3期 (1期4回)	パソコン、携帯メール等	15回	150人
生活安全教室	年3回	消防署、警察署員による 防災・防犯指導	3回	109人
園児と高齢者の ふれあい事業	年2回	ハロウィンを中心に園児との ふれあい	2回	90人
子供伝承遊び	年3回	昔ながらの遊びの伝承	3回	45人
学習交流スペース	適　時	夏休み勉強のため開放		
ボランティア 東部劇場	月1回	当センターの看板事業	12回	702人
バスハイク	年1回	南部在宅との共同事業 久木野そば道場	1回	38人
東部よかとこ巡り	年1回	四時軒散策	1回	16人
リクエスト講座	適　時	よかよか料理教室として実施 他、遺言状の作り方	6回 1回	207人 35人

③運営委員会の設置状況

所　　属	人　　数	メンバー
利用者代表	4人	カラオケ代表、囲碁代表、講座代表2人
地域代表	4人	自治会長、老壮会会長、民生児童委員 地域包括
施設側	2人	所長、相談員
合　　計	10人	

実施回数

年６回（4/9　6/11　8/6　10/8　12/10　2/12）

④事業団内職員の有効活用

何でも介護相談	月1回	秋津居宅
イケメンクッキング	年6回	事業団管理栄養士
おばあちゃんの料理	年6回	事業団管理栄養士
実践！かいご	年6回	東部ヘルパー
リクエスト講座	年12回	料理教室　事業団管理栄養士

⑤研　修

- 相談員各種研修
- 認知症各種研修
- その他在宅福祉関係各種研修

月	研 修 名	場　　所	人員
4月	法律相談	東部在宅福祉センター	2人
6月	高齢者の感染症、肺炎対策	東部在宅福祉センター	5人
8月	年金について	東部在宅福祉センター	5人
8月	救急業務(AED)について	東部在宅福祉センター	5人
9月	会計事務について	平成事務局2階	2人
10月	認知症について	東部在宅福祉センター	5人
10月	アンガーマネジメント	希望荘	2人
11月	労務管理について	希望荘	1人
11月	感染症について	ウェルパル熊本	2人
11月	広報研修	平成事務局2階	1人
12月	法人運営について	メルパルク	1人
12月	学習療法士研修会	国際交流会館	2人
12月	防犯研修(振り込め詐欺)	東部在宅福祉センター	5人
1月	税に関するセミナー	東部在宅福祉センター	5人
1月	メンタルヘルス	希望荘	2人
1月	相談員スキルアップ研修	熊本県総合福祉センター	1人
2月	感染症について	東部在宅福祉センター	5人
2月	コーチング研修	希望荘	1人

（3）２６年度利用者数

東部在宅利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1F多目的ホール	402	448	611	634	636	669	644	985	604	559	641	604	7,437
調理室	25	27	34	47	98	50	34	44	82	31	80	34	586
会議室	392	437	476	465	435	463	445	480	433	473	631	389	5,519
施設外活動	0	717	750	744	869	603	599	184	589	571	265	602	6,493
26年度合計	819	1,629	1,871	1,890	2,038	1,785	1,722	1,693	1,708	1,634	1,617	1,629	20,035
25年度合計	954	1,033	1,052	986	1,670	1,068	1,229	1,347	950	985	1,303	1,140	13,717

熊本市南部在宅福祉センター

Ⅰ、施設運営の状況

（1）２６年度の取り組み

①熊本市南部在宅福祉センターの周知活動に努めました。

- 広報誌を年４回発行し、南部地区の社協、関係機関に配布するとともに、新たに川尻校区、力合西校区も加わり６校区の自治会に依頼し、回覧板や公共の掲示板を活用して、広く南部在宅福祉センターの事業内容等の周知を図りました。
- 市政だより、ホームページ、チラシ、各社新聞の情報コーナー・ミニコミ誌、町内回覧板等を活用して、事業や講座・イベント等の情報を発信しました。また、希望者には e-メール配信をし、きめ細やかに広範囲に広報活動に努めました。
- 地域活動（各種会議参加、行事等参加、老人会、民生委員会）に積極的に参加し、事業や講座、イベント等の紹介をし、周知に努めました。

②指定事業、自主事業、講座等の確実な立案と実施により、南部在宅福祉センターとしての事業の基礎作りをしました。

- 事業団の人材を活かした、各種事業（障がい者支援活動、介護相談）を実施しました。
- 利用者のニーズを探り、ニーズを反映した事業に努めました。リクエスト講座としてフラダンス・ポーセラーツ・キルト教室・プロに学ぶ和菓子作りなど新たに実施しました。
- 地域の食生活改善推進員さんやリクエストに応じたセンター職員によるおやつ作り、郷土の特色を活かした親しまれる料理教室を実施しました。
- 地域のボランティアを活用した交流の場として、子ども祭りやふれあい祭りなど開催し、センターを開放して交流を図りました。また、チャレンジボランティアとして多くの方々の協力により、集まったペットボトルキャップは、世界の子ども達にポリオワクチン約９人分、３５，６ｋｇを贈る事ができ、感謝状をいただきました。

③貸し館事業

- ホームページ･チラシ･広報誌等を広範囲にわたり広報活動を行い利用者増に繋がりました。
- リクエスト講座が貸し館に繋がるよう、講師に対しアプローチを行いました。
- 利用しやすい施設作りに心がけ、気持ちよく利用していただけるよう努めました。

④地域関係機関との連携強化及び新たな連絡・協力体制の確立に努めました。

- 運営委員会を年３回実施し連絡・協力体制のもと、アンケートを年１回、その他各講座、イベント終了後にアンケートを取り、意見を反映した事業の運営を心がけました。
- 専門機関や包括支援センター、その他の事業所との良好な関係作りに努めました。また、いきいきサロンへの協力参加を行い更にネットワーク作りに努めました。

⑤同法人内事業所との連携や有効活用の方策確立を図りました。

- 事業団内事業所との連携・協力体制のもと、他事業所の施設見学、障がい者支援活動の送迎依頼など、高齢者支援活動や障がい者支援活動に必要な事業の有効活用を計画的に行いました。また、母子・父子福祉センターへの講師派遣、各施設への高齢者向けダンス指導、他施設のデイサービスでのボランティア依頼等、活用内容についての打ち合わせや連絡を確実に行い、スムーズに有効活用ができるよう努めました。

⑥研修による全員のスキルアップを図りました。

- 接遇を徹底し、「心地よい挨拶、丁寧な説明」を心がけ、地域の方々に気持ちよく利用していただけるよう努めました。
- それぞれの職務に必要な研修に参加し、スムーズな職務の遂行、資質の向上を図りました。

（２）２６年度の成果目標

①「熊本市南部在宅福祉センター」の周知活動実施

・ 広報誌の発行年４回、行事カレンダー毎月、主要行事ポスター適時
日吉、日吉東、力合、力合西、城南、川尻校区自治会へ回覧の依頼と当センターで行われる月例会時に広報誌を配布しました。

・ 事業・講座等紹介のチラシ配布・・・随　時
チラシ、市政だより、各新聞社の情報コーナー・ホームページを活用し、事業や講座等の情報を発信しました。

・ ホームページ、地域活動での紹介・・・・随　時
各種会議参加、行事等参加、老人会、民生委員会に積極的に参加し、事業や講座、イベント等の紹介をし、周知に努めました。

Ⅱ事業実績状況

（１） 事業実績状況

事　業　名	実施回数	内　容　等
介護相談	随時	16回　　計7名
ふれあい相談	随時	13回　　計15名
子ども祭り	年1回	5/3　　計63名
ふれあい祭り	年1回	12/13　　計278名
夏祭り(日吉校区)	年1回	7/26　　計3名
敬老のつどい(日吉校区)	年1回	10/26　　計3名
イケメンクッキング	年6回	事業団職員・地域の食改による料理教室　計43名 5/23、7/25、9/26、11/28、1/23、3/13
おばあちゃんの料理教室	年2回	6/19、10/23　　計26名
四季の料理	年2回	4/25、12/19　　計26名
認知症サポーター養成	年1回	8/23　　計71名
みなみ社協長会議	隔月	計6回
子育てネットワーク会議	月1回	計13回　（内1回日吉東）
自治会関係		計7回
生活安全教室	年2回	11/17　熊本県警(詐欺被害について) 12/15　市社協(私の老後の生き方について) 2/5、3/2　南消防署(防火訓練・AEDの使い方について)
ボランティア育成研修会	年1回	3/16　市社協
いきいきサロン(6校区)		38回　計1，241名
わさもんIT講座(ケーブル・光)	年7回	30回　計97名
わさもんIT講座(ケーブルテレビ)	年1回	3回　　計44名
わさもん講座(職員)		4回　　計5名
はつらつ教室の開催	毎週月曜	51回　計1，013名
「歩け歩け会」の支援	年4回	5回　　計117名
施設外活動(障がい者対象)		9/27　果物狩　計54名
寺子屋		74回　計283名
農業高校での農業体験	年1回	1回　　計0名
リクエスト講座		41回　総合計686名 ポーセラーツ、ひとみおばちゃんの料理教室 おやつを作ろう、フラダンス、キルト教室 オカリナコンサート、ちょんかけゴマ、合同バス ハイク、童謡・唱歌クラブ、あっぱれざ公演 プロに学ぶ和菓子作り
プチ夏祭り	年1回	8/16　計50名
交流支援活動		296回　　計2，279名

（2） 運営委員会

所　　属	人　　数	メンバー
利 用 者	1名	利用者代表
みなみ社会福祉協議会	4名	日吉校区社会福祉協議会代表 日吉東校区社会福祉協議会代表 力合西校区社会福祉協議会代表 城南校区社会福祉協議会代表
自治協議会	2名	日吉校区自治協議会代表 川尻校区自治協議会代表（川尻公民館長）
老人クラブ	1名	日吉校区老人クラブ代表
民生委員・児童委員協議会	1名	日吉校区民生委員・児童委員代表
実施回数　　3回　　7/18、　　12/16、　　3/27		

（3） 事業団内職員の有効活用・地域食生活改善推進員の協力

イケメンクッキング	年6回	当センター職員、日吉校区・川尻校区食生活改善推進員
おばあちゃんの料理教室	年2回	
四季の料理教室	年2回	
障がい者支援活動	年1回	希望荘バス及び運転手

（4） 研修実績状況

期　　日	研 修 名	場　　所
4/7	事業内容について	南部在宅福祉センター
4/7	個人情報マニュアル	南部在宅福祉センター
4/7	危機管理マニュアル	南部在宅福祉センター
4/14	接遇研修	南部在宅福祉センター
5/23	不審者進入研修	南部在宅福祉センター
6/2	感染症マニュアル	南部在宅福祉センター
6/11, 6/12	防火管理者講習	火の国ハイツ
6/14	消防用設備取り扱い	南部在宅福祉センター
8/23	認知症サポーター	南部在宅福祉センター
9/10	会計事務研修（簿記の基本）	平成事務所
9/17	会計事務研修（当初予算に向けて）	平成事務所
10/30	アンガーマネジメント	希望荘
11/5	レクレーション	フードパル
11/12	労務管理研修（ハラスメント）	希望荘
11/15	他事業所研修（東部）	東部在宅
11/25, 11/26	リスクマネジメント研修	県総合福祉センター
12/1	社会福祉法人法令法研修	メルパルク
1/15	メンタルヘルス研修	希望荘
1/21	契約書類研修	平成事務所
2/13	らくしゅう式研修	長寿の里
2/19	コーチング研修	希望荘
3/16	ボランティア育成研修	

（5） 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1F多目的ホール	568	561	475	597	564	520	647	62	742	507	713	669	6,625
2F多目的ホール	476	369	363	481	450	425	163	498	321	231	252	309	4,338
調理室	31	51	25	12	26	49	23	16	28	28	106	40	435
和室	114	97	126	127	268	269	88	227	115	130	263	166	1,990
郊外活動	40	63	70	39	50	238	279	190	155	80	147	61	1,412
26年度合計	1,229	1,141	1,059	1,256	1,358	1,501	1,200	993	1,361	976	1,481	1,245	14,800
25年度合計	1,229	1,182	1,102	1,177	984	1,282	1,071	1,189	1,099	1,088	1,085	1,410	13,898

（6） 来訪者及びボランティア数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ボランティア日常	92	70	66	55	67	91	75	50	82	72	68	83	871
ボランティアリクエスト	5	7	7	11	13	18	11	12	37	8	16	9	154
郊外活動	10	20	6	18	25	3	10	7	13	5	8	11	136
26年度合計	107	97	79	84	105	112	96	69	132	85	92	103	1161
25年度合計	61	84	73	99	87	102	106	72	58	32	44	67	885

ささえりあ熊本中央（熊本中央１地域包括センター）

Ⅰ　施設運営の状況

1　26年度の取り組みについて

（1）5校区ごとの特色に応じた地域包括ケアシステム構築

5校区ごとの地域の特色やニーズに応じた地域活動を通してネットワークの構築を目指し活動を行いました。自治協議会の協力を得ながら地域の社会資源（高齢者の集いの場、生きがい・健康づくりの場、商店会情報、介護保険情報など）を掲載した「高齢者お役立ちガイド」を作成しました。「認知症サポーター養成講座」や「地域ネットワークと命のバトン」の啓発では地域の方と一緒に計画を練ったり寸劇をすることで地域の主体性をひきだし顔の見える関係づくりができました。また支援困難なケースの事例を通し、地域で支える見守り体制づくりについて地域の方や事業所（郵便局や交番、介護事業所）に参加いただき地域ケア会議を開催しました。
高齢者見守り事業や個別ケースの支援を通じて民生委員、事業所、行政、医療機関、各種団体と連携することでネットワーク構築を行いました。

（2）　制度改正を視野に入れた事業展開、人材育成

（3）

平成30年度に介護予防が地域支援事業に完全移行されることを踏まえて制度改正の研修に参加し情報収集に努めました。今後は地域で様々なサービスや住民が参加して地域全体でサービス提供するためのしくみづくりを行ったり介護や医療との連携などコーディネーターとしての役割が求められるためにさらなる知識やスキルアップをめざし人材育成を行ってまいります。また個別ケースの相談内容は多岐にわたり専門性が必要となってきております。権利擁護などの研修参加、増える認知症の相談に対してはキャラバンメイトの養成講座に参加し相談対応技術の向上を図りました。

2　　26年度の成果について

①	予防プラン	年間目標2,720件	年間3,091件
②	総合相談	年間目標3,600件	2,908件

高齢者人口の増加、介護保険の浸透もあり認定者数が増加し、予防プラン件数の大幅な増加がみられました。総合相談については包括支援センターの定着もあり、本人・家族のほか民生委員や警察・病院などの相談も増加しています。相談内容も複雑になっており多職種連携、地域や行政の協力が必要なケースも多くみられました。今後は地域ケア会議なども有効に活用しながら地域包括ケアシステム構築に取り組んでまいります。

Ⅱ　業務内容・活動状況

1　介護予防ケアマネジメント業務

（1）地域支援事業

①　利用者数（のべ件数）

通所型	運動器(陸上)	107
	運動器(水中)	9
	栄養改善	0
	口腔	35
合　計		115

（２）予防給付に関するケアマネジメント業務

①　利用者数（のべ件数）

	今年度	前年度
要支援１	3,050　人	2,296　人
要支援２	1,197　人	1,444　人
合　計	4,247　人	3,740　人

（平成27年3月31日現在）

②　予防給付対象者数の推移（利用実績）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ささえりあ直営	233	235	246	248	252	261	268	273	269	270	266	270
居宅に委託	84	85	86	91	94	102	106	100	103	101	104	100
合　計	317	320	332	339	346	363	374	373	372	371	370	370
前年度	304	310	316	314	305	319	307	308	313	314	316	314

③　予防給付に関するケアマネジメント業務

●　利用者数（のべ件数）

	件　数	割　合
地域包括センターで作成	3,091　件	72.8%
居宅支援事業者に依頼	1,156　件	27.2%
合　　計	4,247　件	100.0%
前年度	3,740　件	100.0%

（平成27年3月31日現在）

●　介護予防プランに位置づけられた事業所別利用件数

サービス種別	事業所種別	合計	
		件数	割合
介護予防訪問介護	同一法人	1,139件	54.8%
	同一法人以外	937件	45.2%
	合　計	2,076件	100.0%
介護予防通所介護	同一法人	180件	14.0%
	同一法人以外	1,109件	86.0%
	合　計	1,289件	100.0%

（平成27年3月31日現在）

２　総合相談支援及び権利擁護事業

（１）地域におけるネットワーク構築業務

民協例会	壺川（2回）一新（3回）慶徳・五福（1回）城東（5回）
校区社協会議	壺川校区社協総会　月曜会
自治協議会連合会	城東自治協議会　（2回）
自治会連合会	町内会長宅訪問　一新・城東・五福・慶徳
いきいきサロン	壺川（10回）一新（9回）慶徳（3回）
運営推進協議会	グループホームこせん　６回　グループホーム　五福 5回 小規模多機能居宅　銀座通りハウス　5回
家族介護者教室	壺川（2回）慶徳（1回）城東（1回）一新（3回）
地域ケア会議	慶徳（1回）壺川（1回）一新（1回）
その他	認知症サポーター養成講座、敬老会、ｽﾎﾟｰﾂﾌｪｽﾀ、コミセンまつり命のバトン委員会、健やかネット、新春の集い等

（平成27年3月31日現在）

（2）総合相談支援・実態把握業務

① 相談件数等

項　　目	相談の形態			
	電　話	来　所	訪　問	合　計
(1)在宅福祉・生活に関すること	203　件	45　件	178　件	426　件
(2)介護保険に関すること	671　件	128　件	787　件	1,586　件
(3)保健・医療に関すること	94　件	11　件	101　件	206　件
(4)認知症に関すること	83　件	22　件	53　件	158　件
(5)権利擁護(虐待関連含む)に関すること	86　件	18　件	50　件	153　件
(6)家族問題に関すること	11　件	3　件	9　件	23　件
(7)経済的な問題に関すること	24　件	4　件	16　件	44　件
(8)居住環境に関すること	65　件	15　件	53　件	133　件
(9)在宅高齢者事業に関すること	3　件	1　件	12　件	16　件
(10)地域支援事業に関すること	67　件	7　件	13　件	87　件
(11)その他	36　件	15　件	25　件	76　件
合　　計	1,342　件	269　件	1,297　件	2,908　件

②相談者の内訳

区　分	延件数
本人	1,367 件
配偶者	177 件
子供	365 件
兄弟	59 件
親類	122 件
地域住民	17 件
民生委員	87 件
ケアマネージャー	194 件
事業者・施設等	409 件
その他	127 件
合　　計	2,924 件

③対象者の年齢

区　分	実人数			
	男	女	不明	計
59 歳以下	8 人	9 人	0 人	17 人
60～69 歳	43 人	65 人	0 人	108 人
70～79 歳	167 人	376 人	4 人	547 人
80～89 歳	248 人	736 人	22 人	1,006 人
90 歳以上	62 人	176 人	1 人	239 人
不明	20 人	33 人	27 人	80 人
合　計	548 人	1,395 人	54 人	1,997 人

④ 介護保険に関すること

項　　目	相談の形態			
	電話	来所	訪問	合計
① 申請等の手続きに関すること	168 件	42 件	171 件	381 件
② 認定内容に関すること	104 件	19 件	138 件	261 件
③ サービス内容に関すること	231 件	43 件	308 件	582 件
④ 保険料・利用料に関すること	15 件	5 件	15 件	35 件
⑤ その他	153 件	19 件	155 件	327 件
c 計（①～⑤）	671 件	128 件	787 件	1,586 件

（3）権利擁護に関すること

項　　目	相談の形態			
	電話	来所	訪問	合計
① 成年後見制度に関すること	28 件	8 件	17 件	53 件
② 老人福祉施設等への措置に関すること	16 件	3 件	6 件	25 件
③ 虐待への対応に関すること	7 件	3 件	6 件	16 件
④ 困難事例への対応に関すること	19 件	1 件	15 件	25 件
⑤ 消費者被害の防止に関すること	2 件	0 件	4 件	6 件
⑥ その他	13 件	3 件	2 件	18 件
c 計（①～⑥）	85 件	18 件	50 件	153 件

（平成 27 年 3 月 31 日現在）

3　包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

（1）地域の介護支援専門員への日常的個別指導

支援困難事例などへの個別指導・相談　　年間 36 件

（2）支援困難事例等への指導

介護支援専門員の日常業務に関する個別指導、相談　年間 28 件

（3）包括的・継続的なケア体制構築業務

①　サービス担当者会会議開催支援

②　入退院・入退所時の連携、支援

（4）地域における介護支援専門員のネットワーク形成業務

①　相談窓口として随時対応

②　個別事例に対するサービス担当者会議開催支援

③　介護支援専門員に対する情報支援（居宅連絡会や広報誌発行等）

4　職員研修

（1）　内部研修（法人内）

・介護支援専門員研修会

・包括内職員伝達研修

・コーチング研修

（2）　外部研修

①　介護予防ケアマネジメントに関する研修

・予防ケアマネジメント研修

・予防ケアマネジメント指導者育成研修

②　総合相談・権利擁護に関する研修

・熊本県高齢者虐待対応研修現任研修

・成年後見制度利用促進研修

③　包括的・継続的ケアマネジメントに関する研修

・主任ケアマネジャー研修

・多職種連携世話人会

④　地域ケア会議に関する研修

・地域ケア会議の運営準備に係る実務者研修

・地域ケア会議開催支援研修

⑤　その他

・認知症サポーター養成講座開催

・キャラバンメイト養成研修

・サロン研修会

・包括連絡協議会実務者研修（年 2 回）

・介護保険改正に伴う研修

・一新校区自立支援協議会研修（年 3 回）

・中央区校区社協勉強会

他

5　運営協議会の開催

(1)　運営協議会の開催　4 回開催　　（全体会 2 回　地域ケア会議 2 回）

希　望　荘

1、２６年度の取り組み

（1）　貸し館事業

在宅障がい者及びその家族やボランティアの憩いの場として、また会議や研修、趣味活動の場として利用していただきました。

利用者の活動内容も多様化しており、ニーズに合わせて部屋を利用していただくことで、 利用者数は増加しました。

（2）　ふれあい事業

○ 夏まつりについて

台風のため中止となりました。

○ 文化祭について

夏まつりが中止となったため、希望荘文化祭作品展 - 秋まつり - と称し開催しました。

例年開催している文化祭作品展に加え、カラオケ大会、福引き大会を行い、盛会でした。

恒例となった障がい者関係施設展示即売会も大変好評でした。

今年も市役所１階ロビーに最優秀賞、優秀賞の個人作品を展示し、一般市民への理解を深めました。

（3）学習講座事業

利用者の登録率は90%近いが、一回当たりの利用率は64%と低い状況です。

利用者の高齢化が大きな要因となっています。

26年度、見直しを図り3講座を廃止し、利用者のニーズに応じて、自主事業として取り組みました。

（4）ふれあい総合相談事業

障がい者及び家族が抱える悩みなどを気軽に相談できる窓口として、問題の適切かつ迅速な解決を目指しました。(「特定非営利活動法人ともにある会」に委託)

（5）福祉バス運行事業

障がい者の社会参加と福祉の増進を目的とした、リフト付きバスの貸し出しを行いました。

当事者が小規模のグループで、定期的に屋外活動を計画され、楽しむ様子が多く見受けられました。

（6）自主事業

自立につながる料理講座等を開講し、好評を博しました。

アンケートで利用者のニーズを出来る限り把握し、バスハイク等の様々な事業を行いました。

特に力を入れている障がい者スポーツでは「卓球バレー」が定着し、外部チームとの親睦会を行えるまでになりました。

（7）地域活動支援センター事業

昨年度より１８９人の減となり、1日あたりの利用者数は１９．８人で利用率は約７９％でした。

今年度は、長期入院による利用者減が大きく影響し、利用率は伸びませんでした。

今後も、相談支援事業所や居宅介護支援事業所等との連携による新規利用者の積極的な受入と、利用者のニーズに沿ったきめ細やかな対応の継続により、利用実績の増加に結びつけていきます。

また、在宅障害者（身体・知的・精神）を対象に、自立の促進・生活の質の向上・身体機能の維持向上に寄与するため、入浴、機能訓練、社会適応訓練、創作的訓練など事業を行いました。

２、２６年度の成果

(1) 貸館事業　目標利用者数の 27,000 名（講座生を含む）を超え、28,534 名の利用がありました。1 日の目標である 93 名は、97.7 名となりました。

(2) 講座事業　目標実利用率 80%は達成することができず、64%にとどまりました。目標達成のため利用の少ない３講座を閉講し、自主事業として様々な事業に取り組みました。

(3) 自主事業　月１回のメールを発信、ホームページの更新を随時行い情報提供に努め、様々な事業を行いました。

(4) 地域活動支援センター　利用日や送迎ルートの見直し、様々な自主活動等を行いましたが、1 日の利用率が 79.56%となり目標の実利用率 85%は達成することができませんでした。

(5) 指定管理モニタリングでの指摘もなく、適切な運営に努めました。

(1)貸館事業

【障がい別利用状況】　（人）

	肢体	視覚	聴覚	知的	内部	精神	ボランティア	その他	合計	利用団体数
24 年度	2,134	2,064	634	4,108	281	3,035	2,332	7,467	22,055	1,569
25 年度	1,707	2,181	538	3,808	354	4,052	2,617	7,684	22,941	1,740
26 年度	1,982	2,320	631	3,628	268	4,136	2,749	8,399	24,113	1,692

(2)ふれあい事業

○ 夏まつりについて

【参加者数】　（人）

	肢体	視覚	聴覚	知的	精神	すずらん会	ボランティア	その他	合計
24 年度	46	30	21	35	30	14	118	382	676
25 年度	49	23	24	62	26	30	141	309	664
26 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（※26 年度は台風の為中止）

○ 文化祭について

【参加者】　（人）

	障がい者	その他	合計
24 年度	289	190	479
25 年度	220	131	351
26 年度	186	233	419

【出品数内訳】　（出品者数/出品数）

	身体	知的	精神	団体	合計
24 年度	39	8	5	10	62
	90	40	13	183	326
25 年度	32	32	4	13	81
	118	80	8	246	452
26 年度	25	15	7	14	61
	95	27	19	213	354

（3）学習講座事業

【主催講座】

								1回あたりの平均(人)		
講座名	開催日	開催時間	在籍者数	定員	開催回数	登録率	利用率	26年度	25年度	24年度
絵手紙	毎月2回	13～15時	19	15	24	127%	45%	8.6	8.1	7.5
音楽	第3木曜日	13～15時	24	20	12	120%	50%	12.1	11.0	10.1
絵画	第2.4月曜日	13～15時	12	15	24	80%	66%	7.9	8.1	7.1
花と紙のクラフト	第3水曜日	13～15時	12	11	12	109%	59%	7.1	5.7	6.1
さをり	第2.4水曜日	13～15時	8	8	24	100%	80%	6.4	5.5	5.0
3B体操	第2.4水曜日	13～15時	16	15	23	107%	59%	9.5	10.2	9.6
七宝焼	第1.3月曜日	13～15時	6	10	24	60%	75%	4.5	4.1	4.7
陶芸	第1水曜日	10～12時	8	8	12	100%	84%	6.7	6.4	8.3
パソコン上半期	第2.4木曜日	13～15時	8	7	12	114%	88%	7.0	6.6	6.6
パソコン下半期	第2.4木曜日	13～15時	8	7	12	114%	61%	4.9		
ペン習字	第2木曜日	13～15時							6.4	7.3
料理	第2日曜日	10～12時	22	20	12	110%	58%	12.8	10.1	11.7
料理(基礎)	第4日曜日	10～12時	13	20	12	65%	46%	6.0	5.5	6.7
組み紐	第1.3木曜日	13～15時	5	8	12	63%	80%	4.0	3.6	3.9
茶道	第1.3土曜日	10～12時							2.5	3.2

【ボランティア育成講座】

								1回あたりの平均（人）		
講座名	開催日	開催時間	在籍者数	定員	開催回数	登録率	利用率	26年度	25年度	24年度
視覚障がい者支援	第2.4土曜日	14～16時	8	15	23	53%	45%	3.6	2.7	2.9
手話(初級)上半期	毎週金曜日4月～9月	10～12時	10	20	24	50%	50%	5.0	10.8	10.3

【自主講座】

								1回あたりの平均（人）		
講座名	開催日	開催時間	在籍者数	定員	開催回数	登録率	利用率	26年度	25年度	24年度
編み物	第2.4月曜日	13～15時	7	10	24	70%	53%	3.7	4.0	3.5
華道	第1.3土曜日	10～12時							2.0	2.9
着物着付	第2.4月曜日	14～16時	6	10	22	60%	48%	2.9	3.4	8.5
三味線	毎週土曜日	10～12時	4	10	30	40%	60%	2.4	2.3	2.1
手話(中級)	毎週金曜日	10～12時半	16	20	31	80%	54%	8.7	9.5	12.5
手話ダンス	第2.4土曜日	13～16時	31	30	24	103%	56%	17.4	21.3	14.3
手話(中級)	第2.4土曜日	10～12時	7	10	23	70%	80%	5.6	5.4	4.4
スポーツダンス	毎週金曜日	13～16時	33	20	47	165%	73%	24.0	24.3	26.9
和裁	第1．2.4木曜日	10～15時	17	16	35	106%	74%	12.5	11.5	9.0
組み紐	毎週木曜日	13～15時	5	8	17	63%	80%	4.0	3.8	4.5
茶道	第1.3土曜日	10～12時							1.7	3.1

平均登録率：89%、平均利用率：64%

（4）ふれあい総合相談事業　（人）

年度		肢体	視覚	聴覚	知的	内部	精神	発達	その他	合計
24	件　数	10	22	7	95	0	49		4	177
	利用者数	7	15	3	55	0	28		4	105
25	件　数	13	7	3	103	0	42	45	2	215
	利用者数	10	4	2	88	0	27	30	2	163
26	件　数	7	13	1	108	0	44	36	3	212
	利用者数	6	8	1	83	0	33	24	3	158

（5）福祉バス運行事業　（人）

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24	団体数	5	5	12	11	11	13	18	14	10	5	18	10	132
	利用者数	120	128	276	227	179	299	401	300	252	104	408	254	2,948
25	団体数	9	10	14	12	9	9	13	18	8	8	14	12	136
	利用者数	198	203	281	293	199	168	288	390	192	191	336	268	3,007
26	団体数	8	11	15	8	10	13	14	15	10	6	14	13	137
	利用者数	164	238	326	189	197	284	310	310	249	148	302	308	3,025

（６）自主事業

（ア） バスハイク

第１回	４月４日	お花見バスハイク　立岡自然公園	参加	27 名
第２回	６月１日	バスハイク　グリーンランド	参加	23 名
第３回	７月 16 日	バスハイク　プラネタリウム	参加	16 名
第４回	９月 29 日	バスハイク　三角　海の旅	参加	26 名
第５回	12 月７日	バスハイク　ボウリング	参加	16 名
第６回	１月９日	バスハイク　人吉　初詣	参加	23 名
第７回	２月 18 日	バスハイク　ＪＡ植木まつり	参加	18 名

（イ）バリアフリー映画鑑賞会　８月 17 日　アナと雪の女王　　参加　129 名

（ウ）変身！メイクアップ体験塾　10 月４日　　参加　20 名

（エ）わくわく料理講座

第１回	９月７日	だご汁、いきなり団子、おにぎり	参加	20 名
第２回	２月 21 日	サンドウィッチ、パンケーキ	参加	10 名

（オ）希望荘カラオケ　　毎週金曜日

（カ）パソコン短期集中講座　5～6 月／8～9 月／1～2 月　　参加　各回６名

パソコンで年賀状づくり	12 月５日	参加	６名
	12 月 12 日	参加	７名
	12 月 19 日	参加	７名

（キ）その他の自主事業

あなただけの勾玉づくり	５月 23 日	参加	13 名
エコキャンドルを作ろう	６月 12 日	参加	13 名
初めてのやさしい太極拳	７月 24 日	参加	13 名
スポーツ吹き矢	10 月 30 日	参加	25 名
ビーズでアート	11 月 24 日	参加	15 名
大人の折り紙クラブ	３月 11 日	参加	６名

（７）地域活動支援センター事業　　（人）

年度		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
24	利用者数	473	450	456	455	529	471	503	509	427	469	472	526	**5,740**
	生活訓練	77	74	82	71	91	81	83	89	77	79	83	73	960
	社会適応訓練	50	39	39	56	62	50	43	61	60	46	36	43	585
	創作的訓練	94	78	109	101	90	94	103	71	81	68	75	70	1,034
	機能訓練	245	267	281	273	324	290	309	290	264	259	280	299	3,381
	相談支援	6	9	2	8	2	6	8	4	9	18	3	5	80
	入浴支援	353	339	331	333	378	331	368	344	315	351	362	410	4,215
25	利用者数	508	449	544	552	540	493	510	468	424	457	455	558	**5,958**
	生活訓練	81	86	83	77	67	66	84	86	60	70	78	75	913
	社会適応訓練	53	64	63	64	52	49	42	59	46	40	38	55	625
	創作的訓練	77	69	83	98	68	76	81	73	73	66	80	73	917
	機能訓練	318	240	308	327	295	277	299	295	278	284	276	318	3,515
	相談支援	4	4	9	2	7	6	11	13	6	4	9	3	78
	入浴支援	370	350	427	421	416	372	376	330	302	331	320	426	4,441
26	利用者数	486	463	531	478	519	482	534	500	448	432	407	489	**5,769**
	生活訓練	72	65	71	74	71	74	93	75	63	66	60	63	847
	社会適応訓練	52	52	80	71	87	84	97	105	75	74	71	89	937
	創作的訓練	82	89	100	79	63	70	73	67	65	72	76	91	927
	機能訓練	266	262	283	289	265	274	305	290	255	248	218	236	3,191
	相談支援	3	5	8	6	8	9	2	3	7	2	6	6	65
	入浴支援	340	340	375	366	383	334	373	361	311	294	282	344	4,103

【障がい者利用状況】　　（人）

年度			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24	身体	男性	172	178	178	195	227	209	204	189	150	152	184	191	4,561
		女性	210	189	191	171	209	188	207	218	178	187	176	208	
25		男性	192	161	190	200	193	195	183	171	146	142	148	170	4,386
		女性	200	177	200	212	209	184	202	186	165	182	166	212	
26		男性	159	148	180	154	181	152	176	163	149	142	142	165	4,010
		女性	190	192	198	185	181	172	184	177	152	155	137	176	
24	精神	男性	9	6	6	7	14	7	20	19	11	26	17	18	313
		女性	17	12	14	11	10	6	7	7	7	14	19	29	
25		男性	14	11	14	21	14	15	21	15	14	18	23	29	499
		女性	17	25	36	27	31	24	24	14	18	17	21	36	
26		男性	20	17	26	22	25	24	23	23	17	19	25	24	622
		女性	31	20	23	18	18	28	36	28	44	34	38	39	
24	知的	男性	3	3	3	4	1	2	3	7	4	7	7	7	56
		女性	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
25		男性	5	3	9	7	3	5	5	0	0	0	1	9	88
		女性	1	0	8	6	1	2	0	2	6	8	6	1	
26		男性	1	1	5	2	1	2	5	2	1	3	4	8	54
		女性	0	0	1	1	5	2	3	0	1	2	2	2	
24	身体・精神	男性	9	11	10	6	8	8	8	6	9	6	0	0	184
		女性	7	5	8	8	6	7	5	13	13	14	12	5	
25		男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	103
		女性	9	8	8	10	9	6	7	6	9	12	7	12	
26		男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114
		女性	9	7	10	9	10	10	10	17	11	8	6	7	
24	身体・知的	男性	31	32	30	37	38	30	33	28	31	39	33	42	601
		女性	13	10	13	13	14	12	14	20	21	22	22	23	
25		男性	47	41	44	38	51	37	43	46	40	46	49	56	812
		女性	22	23	26	23	26	24	22	22	20	20	22	24	
26		男性	49	53	58	64	70	56	62	63	57	50	44	52	932
		女性	20	22	26	20	22	30	29	25	16	19	9	16	
24	精神・知的	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
		女性	2	2	3	3	2	2	2	1	2	2	2	2	
25		男性	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	4	5	40
		女性	1	0	2	5	3	1	2	3	2	2	2	3	
26		男性	1	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	28
		女性	6	1	3	2	2	4	4	0	0	0	0	0	
25	身体・知的精神	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
		女性	0	0	7	3	0	0	1	1	4	7	6	1	
26		男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
		女性	0	0	0	1	4	2	2	0	0	0	0	0	
24年度合計			473	450	456	455	529	471	503	509	427	469	472	526	5,740
25年度合計			508	449	544	552	540	493	510	468	424	457	455	558	5,958
26年度合計			486	463	531	478	519	482	534	500	448	432	407	489	5,769

熊本市発達障がい者支援センター　みなわ

１　２６年度の取り組み

（１）　当事者及び家族ならびに事業所や学校等を対象とした相談支援等

①　当事者支援では、本人・家族の主訴を整理し課題を明確にして今後の方向付けに努めてきました。必要に応じて本人の特性整理を促しつつ、地域資源（福祉や労働、教育関係機関等）と連携して支援に当たってきました。

②　機関支援では、小・中学校からの要請に応じた支援が中心であり、事業所は１カ所でした。

（２）　みなわの知名度向上と普及啓発・研修

①　　熊本県自閉症協会を含む親の会連絡会に参加されている４団体で、熊本県と熊本市の後援名義をとって、４月２日から６日までの期間、取り組みました。

・４月１日（月）～6 日（土）発達障がい当事者作品展（ウェルパルエントランス）

・４月２日（火）パレード出発式（ウェルパル大会議室）

自閉症（発達障がい）について市民へ広く啓発する目的で開催しました。くまモンをはじめ熊本市のキャラクターが一堂に会して自閉症啓発デーパレード出発式を開催しました。熊本県及び熊本市からご挨拶をいただき、当事者による体験作文発表、大会宣言を行い、会場を下通に移し、くまモンほかキャラクターも勢揃いして啓発ビラを市民に配布しました。みなわが親の会と連携したことで、今回から熊本県及び熊本市の担当職員、熊本県発達障がい者支援センターわっふるからも参加していただき、県と市と自閉症協会をはじめとした関係親の会が一体となった初めての啓発デーの取り組みができました。

・４月６日（土）当事者講演会（ウェルパル大会議室）

発達障がい当事者の思いに触れ、共に生きる社会のありようを考える機会として、九州ルーテル学院大学の河田先生をコーディネーターに迎えて当事者２人と保護者１人から思いを語っていただきパネルディスカッションを開催しました。当事者を主体とした初めてでの取り組みでしたが、会場いっぱいの参加者で『当事者の思いが聴けてよかった』との感想をたくさんいただくことができました。

②　支援者養成講座（基礎研修）

ア　教育にかかる支援者対象講座（8 月 8 日ウェルパル）

講座内容は、みなわの現状報告、①「発達障がいのある生徒の支援」～進路・就労の基礎知識～（熊本県私学特別支援相談員　浦田氏）、②「保護者として学校に願うこと」(成人当事者保護者　吉永氏)の二コマで行いました。浦田氏の講座では、自閉症スペクトラム(ASD)や注意欠如多動性障害 (ADHD) や学習障害(LD)の特性の理解と大学入試センター試験の特別措置や新卒の就職に備えた基礎的なタイムスケジュールや就労に代わる福祉サービス機関の利用及び関係機関等について学ぶことができました。吉永氏の講座では、「学校への願いでは、本人の特性を理解したうえで保護者と連携して(家族の特性も考慮して)取り組んでほしい、子どもたちの将来像が観えるように地域力と本人一人一人の生活力を育んでおくこと(心の貯金)が重要。」との学びを得ることができました。出席者の 38.9%から大変満足、51.9%から満足との感想を得た講座でした。

イ　就労支援にかかる支援者対象講座（10 月 24 日ウェルパル）

講座内容は①みなわの紹介及び研修の目的説明②発達障がいの特性と具体的な支援について③ジョブマッチングについて④「移行支援事業所の取り組みに学ぶ」(社会福祉法人明徳会　チャレンジめいとくの里サービス管理責任者中田安俊氏) ⑤「企業の取り組みに学ぶ」（有限会社明星印刷所代表取締役　梅木健一郎氏・NPO 法人夢のかけら舎障がい者就労継続支援 A 型事業所　理事長五島てるみ氏）⑥助言（熊本障害者職業センター所長本田壮一

氏）の 6 コマ。④の中田様の話しでは「一人一人の特性に沿った細やかな支援の重要さ」を学び、⑤の五島様、梅木様の話しでは「実際の事例を踏まえて、具体的な関わりや、情報共有や連携の大切さ」を学ぶことができました。参加者からも「現場で役に立つ内容だった」とのお声をいただきました。

③　関係機関への訪問

関係事業所や公的な機関を定期的に訪問してみなわのパンフレットや発達障がいの啓発チラシを介して理解啓発に努めました。

・チャレンジめいとくの里ゆめワークス訪問・4 名、ウイズ訪問・2 名、トリニティ訪問・4 名、心水堂訪問・4 名、オルタナ訪問・1 名等

・発達障がい就労支援の連携先として関係のある事業所を中心に訪問しました。事業所の特色、特長などをご説明いただき施設内を見学しました。写真撮影など事前に許可をとり訪問レポートとして「みなわ通信」や自閉症協会の機関誌「いとしご」などで紹介させていただきました。

④　みなわが計画的に主催した研修会

ア　「保護者講座」（7 月 12 日ウェルパル）

親子関係の円滑化を行うための方法を具体的に学ぶ場として、親の会関係者に呼びかけて保護者勉強会を行いました。自閉症協会、めだかの会、手をつなぐ育成会、ル・シエルから 23 名のご参加をいただきました。講師は熊本県私学特別支援派遣事業相談員の浦田氏に依頼し、講演テーマは「発達障がいのある大人への理解～当事者との関わりの中で思うこと」として、感情やストレス等への気付きと対処について、ワークを含めて行いました。参加者からは「大変満足している」（39%）「満足している」（48%）との感想をいただきました。

イ　「当事者を囲む会」（3 月 6 日希望荘）

出席者は保護者が 11 名、支援者が 6 人（みなわ 4 人）でした。講師のトークを 60 分、小休止をはさみフリートークを 80 分、昼食後、個別面談の申し出のあった 5 人の方と一人 20 分の持ち時間で語りの時間をとった。トークでは『自分が自分らしくあるように』の主題で、生きにくさと立ち直りのきっかけを語っていただきました。フリートークでは、参加者の質問に応えてもらいながら『イイトコサガシ』や『似たところさがし、違うところさがし』等のワークも含めて和やかな中に有意義な時間が持てました。個別面談では、臨まれた各人が満足した表情で会場を後にされた姿が印象的でした。その一人から感想をお聴きしたが、『共に涙を流して聴いていただいた。またお会いしたい。』と強く熱望されておられたこともあり、当事者で親である立場の方との面談がいかに心強いものであったか改めて実感しました。

講師：横山小夜子氏（アスペルガーの自分取扱説明書副代表）

ウ　県・市連携発達障がい等講演会「市民講演会」（11 月 30 日熊本学園大学）

「成人期の発達障がいについて」というテーマで講師のこれまでの体験やその中で感じることなどを約２時間半お話ししていただきました。アンケートから参加者の内訳は保護者を含む一般の方、教育関係者、福祉関係者が多数でした。また、参加していただいた感想として「視野を広げることができた」「勉強になった」「これからも当事者の講演会を聴きたい」という意見を多く頂きました。講演会に対する満足度も 9 割の方から「満足した」という意見をいただきました。

講師は、当事者で「あたし研究」などを出版されている小道もこ氏。

エ　中小企業家同友会との研修会（10 月 24 日希望荘）

県内各企業・事業所を対象とした発達障がい者の理解啓発研修会

・発達障がいの基礎について：特性と整理、就労支援につなぐみなわの取り組み

・発達障がいの就労支援：移行支援事業所の取組に学ぶ～ﾁｬﾚﾝｼﾞﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝ（中田氏）
・企業（事業所）の取組に学ぶ～中小企業家同友会会員企業、本人からの報告
・助言～障害者職業センター

⑤　熊本市教育委員会と共催した事業（8 月 12 日国際交流会館）

熊本支援学校と第 3 分科会の企画・運営を担当。「中学校⇔卒業後の移行支援」に焦点化し、テーマ『中学校から高校へ、高校から就労へと切れ目ない移行支援のあり方』に沿って熊本工業高校猿渡教諭、済生会かがやき移行支援事業所就労支援員堤さんの提案をもとに協議を行いました。参加者が当初予定を上回り立ち見も出る状況で保護者からの質疑で熱の入った協議が展開されました。

分科会出席者 57 名、他に就労支援にかかる労働・福祉関係者 5 人、スタッフ 8 人

（3）　連絡協議会

年間３回実施し、運営の在り方に関する指導助言を受けることができました。

（4）　事業団内での連携

法人内に設けられている『障がい者雇用支援委員会』と連携して法人内での取り組みも関心が高まってきています。

（5）利用状況

[26 年度実績]

Ⅰ－①　相談支援の全体相談件数

来　所	訪　問	電　話	その他 （メール・FAX 等）	合　計
950	122	729	88	1889

相談支援	実支援人員数	487
	延べ支援件数	1889

Ⅰ－②　相談内容（相談支援）※重複回答あり

	発達障がいなのか知りたい	現在の生活、家族ができること	利用可能なサービスを知りたい	診断・相談・支援可能な機関について知りたい	学校・利用サービスに関する相談	進路や将来の生活について	対応困難状況への対応	今後の就労についての相談	現在の職場に関する相談	その他	合　計
作成件数	65	522	42	57	149	233	113	299	62	566	2108
割　合	3.1%	24.8%	2.0%	2.7%	7.1%	11.1%	5.4%	14.2%	2.9%	26.9%	100%

Ⅰ－③　主たる相談者

	本　人	家　族	合　計
件　数	495	79	544

Ⅱ　事業内容

1　相談支援・発達支援

		実　　績
（1）実支援人数・延支援件数	実支援人数	439 人
	延支援件数	1573 件
（4）相談支援・発達支援に伴う情報共有（調整会議）		57 件
（5）相談支援・発達支援（機関コンサルテーション）		20 件

2　相談支援・就労支援

		実　　績
（1）実支援人数・延支援件数	実支援人数	105 人
	延支援件数	316 件
（2）相談支援・発達支援に伴う情報共有（調整会議）		21 件
（3）相談支援・発達支援（機関コンサルテーション）		1 回
（4）職場拡大のための企業等への啓発活動		0 回

3　地域住民等に対する普及啓発

（1）パンフレット等の作成	21 件
（2）地域住民向け講演会の開催等	2 回

4　関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修

（1）センター主催研修又は共催で企画した研修	実施回数	8 回
	延参加人数	886 人
（2）外部から講師依頼を受けた研修（講師派遣）	実施回数	26 回
	延参加人数	962 人
（3）（（1）及び（2）の再掲）教育関係者との合同研修会	実施回数	6 回
	延参加人数	382 人

5関係施設・関係機関等の連携

（1）連絡協議会の開催状況	実施回数	6 回
（2）　障害者総合福祉法第 89 条協議会等への参加状況	参加回数	10 回
（3）他の協議会への参加状況	参加回数	25 回

※重複相談者があるため、発達・就労相談の実支援者数を足しても年間の実支援者数とはならない。

2　２６年度の成果目標

みなわの職員のスキルアップ研修の時間として毎月１回２時間程度時間を確保し研修を行うように計画しました。

実施日７月１８日（金）、９月１９日（金）、１０月１７日（金）、１２月５日（金）、1月９日（金）、２月 20 日（金）、３月１３日（金）の全８回。内容は主にケース検討会。みなわのスタッフが担当しているケースの中で困難なケースを発表し、他のスタッフの意見を聞き。また、スーパーバイザーとして毎回私学特別支援相談員の浦田氏をお迎えして浦田氏からも助言を頂きました。困難なケースをみなわ全体で検討できるとともに、スーパーバイザーの助言もあるので、支援の質を向上させるためにも今後も継続していきます。

はなぞの学苑

Ⅰ　施設運営の状況

１　２６年度の取り組みについて

（１）利用者一人一人の満足を追求したサービスの提供

○サービス毎の日課を見直し、年間計画・月計画を立てることにより、活動の見通しを持って取り組むことができました。生活介護での４領域(作業・健康・余暇・創作)の活動もしっかりと取り組むことができました。

○急に状態が悪くなったり、なかなか利用者の要求が分かりづらかったりすることもありましたので、一人一人の体調や状態をより的確に捉え、それに応じた対応ができるように努めていきたいと思っています。

（２）苑内環境整備の推進

○木工室をばらグループの活動場所として改修できたことは、利用者の安全・安心の確保につながりました。活動の幅も広がり、年間を通して充実した取り組みができました。
ただ、狭い学苑の中で個室化を図ることはできませんでした。パーティション等での空間の確保に努めていきたいと思っています。

○ばらグループ活動室入口の段差とさくらグループ活動室前の段差については、簡易なスロープ工事を行い、より安全な環境を作ることができました。また、身障者トイレの転倒防止手すりも設置しました。今後も、できる範囲で整備を行っていきたいと考えています。

（３）きらりプロジェクトの推進

○利用者さんが描いた作品が事業団のポスターに採用されました。手提げ袋やＴシャツなどの製品化も試みました。また、次年度からの取り組みと考えていたＵＭＵとの連携を前倒し的に取り組むことができました。少しずつアドバイスを頂きながら改良を加えているところです。

○地元花園小学校での音楽会にも参加することができました。公民館やコミセンでの行事でも展示したり販売したりすることができました。より多くの利用者が参加できるように検討していきたいとも考えています。

○ネットでの販売までは考えることができませんでした。

○日々の活動の中で、一人一人と向き合った支援を心がけ、特技・特性をしっかりと見極めていくことができるようにしたいと考えています。

（４）質の高いサービスの提供

○年間を通して、ケース会を行うことができました。事例を通して、利用者とのかかわりについて学び合うことができました。これからも継続してケース会を行い、その質を高めていくことで、職員の支援力の向上、ひいては質の高いサービスの提供につながると考えています。

○社会福祉士受験資格取得に向けて２人が受講しています。次年度には受験ができます。また、サービス管理責任者(就労)と防火管理者の資格を２人が取りました。今後も計画的に資格取得を進めていきたいと考えています。

（５）学苑と利用者家族との連携強化

○家族との個別面談会は１回しか開けませんでしたが、「苑長室だより」を発行することにより学苑の考えや様子を知っていただくことができたと思っています。また、保護者会の時にお話しをしたり、グループ懇談会の時に職員としっかり懇談をすることができましたので、それなりに理解していただき協力も頂けたと思っています。

（６）送迎サービスの充実

○アンケートを実施し、個別送迎の希望があるところについては検討をしました。希望すべてを受け入れることができませんでしたが、できる範囲内で個別送迎の拡充を行うことができました。

○利用者の高齢化と家族の高齢化を考えると、車両を増やすことやパート運転手の雇用等についてさらに検討していかなくてはいけないと考えています。

（７）地域への広報活動推進

○８町内と花園小学校・井芹中学校には学苑ＰＲのチラシを配布しました。また、８町内には学苑祭やクリスマスコンサート・ふれあいのつどいの案内も回覧しました。今後も継続していきたいと考えています。

○地域の行事等には積極的に参加し、今まで通りの交わりができています。学苑祭でも多くのお手伝いを頂きました。もっと深い交わりができるようなことを考えていきたいと思っています。

（８）自分のペースで楽しくできる仕事

○自主的な取り組みができてきました。自分の仕事としての自覚があり、自分のペースで時間いっぱい取り組む姿が見られました。

生活介護では、より質の高い製品作りができるようにと考えています。就労では、今までの紙袋製造の仕事に加え、部品の組み立てやテープ張りの仕事にも取り組むようになりました。今後も、より個にあった仕事が提供できるように開拓していきたいと思っています。

○就労での工賃も 3,000 円から 4,000 円程度と、少しアップしました。年度末には 10,000 円前後の一時金も支払うことができました。次年度はしっかりと実態調査を行い、能力給を取り入れていきたいと考えています。

工賃お楽しみプランも計画的に実施できましたので、次年度も継続して取り組んでいきたいと考えています。

（９）安定した収入のための継続的な利用者獲得

○支援学校の産業現場等における実習は積極的に受け入れ、協力していくことができました。しかし、それが新規獲得に至らなかったことは事実であり、大いに反省をして次年度に生かしていきたいと思っています。

○利用者及び家族の高齢化については十分な対応はできませんでした。個別送迎の充実もひとつの方策ですが、高齢事業部との連携をより充実させていかなければならないと思っています。

２　２６年度の成果について

（１）利用者登録者６０人を目指します。

施設見学や夏の体験会、年間を通しての中学校支援学級及び支援学校の産業現場等における実習などたくさんの方に見学・体験をしていただきましたが、新規学卒の利用にはつながりませんでした。

高等部１年生・２年生の見学・体験も多くありましたので、次年度に期待していきます。

（２）１階作業場改修による安全安心の充実を図ります。

木工室の改修により、ばらグループの活動場所を広く確保できました。そのことで、ばらグループの活動にも広がりが見られました。また、利用者さんに広い活動場所を提供できましたので、活動が活発になり笑顔も多くなりました。

１階作業場が十分に整備できていませんので、次年度からの課題として残ります。

（3）サービスの質の向上に努め、満足度８０％以上を目指します。

９月と３月と利用者及び家族へのアンケート調査を実施しましたが、満足度８０％を達成することができました。

利用者アンケートにおいては、ほとんどの方に満足していただいています。家族アンケートにおいても、施設・設備面以外の項目で概ね満足していただいおり、今後の改修・改築に期待されています。

Ⅱ　入苑者の状況

１　入退苑の状況（２６年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍者数	59	59	59	59	59	59	59	59	58	58	59	59	７０６
入　　苑	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
退　　苑	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2

２　年齢別（H.27 年 3 月 31 日現在）

年　　齢	20歳未満	20歳～	30歳～	40歳～	50歳以上	計
生活介護	3	１１	１１	１０	5	４０
就労Ｂ型	0	3	7	8	1	１９
合　　計	3	１４	１８	１８	6	５９

（平均年齢；生活介護　３５.3歳　　就労　３６.5歳）

３　障害支援区分（H.27 年 3 月 31 日現在）

支援区分	未判定	1	2	3	4	5	6	計
生活介護	0	1	3	１５	9	8	4	４０
就労Ｂ型	1	0	4	6	5	3	0	１９
合　　計	1	1	7	２１	１４	１１	4	５９

（平均支援区分；生活介護　３.８　　就労　３.４）

４　障害程度（H.27 年 3 月 31 日現在）

程度程度	最重度・重度	中・軽　度	未判定	計
生活介護	３１	9		４０
就労Ｂ型	7	１１	1	１９
合　　計	３８	２０	1	５９

５　障害及び併せ持つ障害の状況　（H.27 年 3 月 31 日現在）

障害名	脳性麻痺	ダウン症候群	けいれん性疾患	視聴覚障害	自閉的傾向	統合失調症気分障害	身障手帳	服薬中
生活介護	3	9	１４	3	7	4	8	２１
就労Ｂ型	0	1	2	0	5	4	0	6
合　　計	3	１０	１６	3	１２	8	8	２７

Ⅲ　年間の事業内容と実習生受け入れ等

月	事　　業　　内　　容	実習生受入等
4 月	職員着任式　入苑式　グループ別支援会議　内科検診 保護者会　避難訓練　苑内研修　地域清掃　煎茶教室 古紙回収　障がい者スポーツ大会熊本県大会（水泳） 利用者委員会　花心(木イチゴ)　さくら(買い物) つくし(買い物)　ばら(図書館)	見学　１６人 体験者　１人 ボランティア　１５人
5 月	開苑記念日　家族１日旅行　グループ別支援会議 保護者会総会　地域清掃　「はなぞのだより」発行 避難訓練　煎茶教室　防災センター見学　苑内体験実習 障がい者スポーツ大会（ボウリング）　利用者委員会 ばら(図書館)TSUBASA(八景水谷､ﾌｰﾄﾞﾊﾟﾙ) つくし(買い物)　さくら(買い物)	見学　１３人 体験者　３人 松橋西支援他 ボランティア　１７人
6 月	保護者会　音楽活動　避難訓練　地域清掃　煎茶教室 苑内体験実習　防災センター見学　プール活動 熊本市育成会大会音楽発表会　苑長個別面談(保護者) 古紙回収 ばら(伝統工芸館､買い物)	見学　３０人 実習生　５人 松橋西支､熊本支 附属特支､井芹中 ボランティア　１４人
7 月	健康活動　音楽活動　煎茶教室　避難訓練　盆踊り大会 プール活動　苑内体験実習　利用者セミナー　施設体験 施設見学会　１日研修(母子福祉センター､平成学園) 古紙回収　利用者委員会 ばら(図書館)つくし(買い物)さくら(買い物)	見学　５４人 実習生　１人 熊本支援 施設体験　２人 熊本支援 ボランティア　７人
8 月	保護者会　プール活動　音楽活動　煎茶教室　避難訓練 施設体験受け入れ　グループ別苑外活動　害虫駆除 保護者会主催による歯科検診　古紙回収 つばき学園夏祭・職業訓練センター駐車場開放 教職１０年経験者研修(松橋西支援)　利用者委員会 つくし(ｼﾞｮｲﾌﾙ)ばら(買い物､図書館､八景水谷) さくら(買い物･ビール工場)TSUBASA(そうめん流し) 花心(プール)	見学　１７人 実習生　４４人 済々黌 施設体験　５人 熊本支､松橋西支 熊大附属特別支 ボランティア　９人
9 月	社会体験活動（国立阿蘇青少年交流の家）　プール活動 音楽活動　避難訓練　地域清掃　保護者会　古紙回収 内科検診　利用者委員会	見学　３人 実習生　０人 ボランティア　８人
10月	保護者会　音楽活動　煎茶教室　地域清掃　避難訓練 学苑祭　グループ別苑外活動　熊本市障がい者大運動会 古紙回収　利用者委員会　つくし(ﾌｰﾄﾞﾊﾟﾙ)	見学　８人 実習生　０人 ボランティア　６４人
11月	音楽活動　煎茶教室　地域清掃　避難訓練　古紙回収 花園小学習発表会参加　施設見学会　柿原公民館文化祭 花園コミセン祭　希望荘文化祭作品展示　利用者委員会 ばら(図書館)TSUBASA(泗水ｺｽﾓｽ)	見学　１６人 実習生　１人 ボランティア　２９人

月	事　　業　　内　　容	実習生受入等
12月	保護者会　音楽活動　煎茶教室　避難訓練　地域清掃 害虫駆除　クリスマスコンサート　古紙回収　花園小学 校学習発表会　花心(木いちご、水辺プラザ) TUBASA(バーベキュー,カラオケ)　ばら(調理、図書館、ﾌｰﾄﾞﾊﾟﾙ)　ハートウイークステージ発表会　利用者委員会 はなぞのだより発行	見学　０人 実習生　１人 ボランティア　１７人
1 月	音楽活動　煎茶教室　避難訓練　地域清掃　古紙回収 レントゲン検診　苑内研修　利用者委員会 さくら(調理)　ばら(図書館)　花心(なべしま) TSUBASA(初詣、ﾓﾝﾏﾙﾄ)	見学　１人 実習生　０人 ボランティア　１５人
2 月	音楽活動　煎茶教室　避難訓練　地域清掃　保護者会 保護者研修会　防災研修　精神障がいﾈｯﾄﾜｰｸ協議会 利用者委員会 はなぞのだより発行 花心(カラオケ、外食) ばら(ﾃﾞｻﾞｰﾄ調理、図書館) つくし(ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ、ﾃﾞｻﾞｰﾄ調理)さくら(調理実習)TSUBASA(調理実習)	見学　１人 実習生　４人 ボランティア　７人
3 月	総合消防訓練　音楽活動　煎茶教室　避難訓練 地域清掃　ふれあいのつどい　還暦祝い　利用者委員会 つくし(食事会、調理)　さくら(調理) ばら(食事会、図書館、島田美術館	見学　４人 実習生　３人 ボランティア　４０人

Ⅳ　年間の研修等について

月	場　　所	研　　修　　人　　(苑外)	研 修 名 (苑内)
４ 月	熊本市	就労部会	各グループ支援会議 地域交流会議 TUBASA担当者会
５ 月	熊本市 熊本市	市行政説明会 就労部会	各担当別討議 各グループ支援会議
６ 月	熊本市 熊本市 熊本市 熊本市 熊本市	てんかん講座 就労部会 県施設協会福祉大会 レクレーション研修 サビ管研修会	内科検診報告 各担当別討議 ケース会議 各グループ支援会議
７ 月	熊本市 熊本市 熊本市 熊本市	熊本ＤＣＡＰ基礎研修 人権研修 就労部会 安全運転管理者法定講習	ＡＥＤ研修 盆踊り実技講習 各担当別討議 各グループ支援会議
８ 月	熊本市 熊本市 熊本市 熊本市 熊本市 熊本市	支援学校フォーラム(熊附特別支援) 人権研修会 就労部会 モチベーションアップ研修会 人権シンポジウム サビ管協議会	各グループ支援会議 ケース会議 １期まとめ(各委員会、部会)

月	場　　所	研　　修　　人　　（苑外）	研 修 名 （苑内）
９　月	熊本市	就労部会	各グループ支援会議
	熊本市	精神保健福祉ネットワーク連絡会	ケース会議
			安全対応マニュアル検討
10　月	熊本市	就労部会	各グループ支援会議
	熊本市	モチベーションアップ研修	ケース会議
	熊本市	県知的障害者施設協会研修	
	熊本市	救急法研修会	
	熊本市	人権フォローアップ研修	
	熊本市	運営管理者研修	
	熊本市	防火管理者研修	
	熊本市	アンガーマネジメント研修	
	熊本市	就労支援基礎講座	
	熊本市	社会福祉法人会計研修	
11　月	熊本市	苦情解決研修会	感染症対策および衛生面につ
	益城町	自閉症研修会全国大会	いて
	熊本市	工賃向上支援研修会	各グループ別支援会議
	熊本市	県市連携発達障がい講演会	ケース会議
12　月	熊本市	行動援護研修会	虐待防止･人権問題研修
	熊本市	職員・家族合同研修会	各グループ別支援会議
	熊本市	就労部会	２期まとめ(各委員会･部会)
１　月	熊本市	メンタルヘルス研修会	各グループ別支援会議
	佐賀市	施設見学研修(佐賀県)	ケース会議
	熊本市	法人会計研修会	はなぞのあり方検討会
２　月	熊本市	人権フォローアップ研修	各グループ別支援会議
	熊本市	成年後見研修会	ケース会議
	菊陽町	行動障がい研修会	防災研修
	熊本市	コーチング研修	はなぞのあり方検討会
	熊本市	就労部会	
３　月	熊本市	リスクマネージメント研修会	各グループ別支援会議
	嘉島町	サービス管理者講習会	年度まとめ(各委員会･部会)
	熊本市	就労部会	各担当別討議　ケース会議
			はなぞのあり方検討会

平　成　学　園

Ⅰ　施設運営の状況

１．２６年度の取り組み

（１）　利用者を主体とした日中活動の取り組みについて

①　　健康活動の取り組みについて

・利用者の身体機能の維持・向上と心身の安定を目的として、「動作法」の日中活動プログラムへの導入の時期や方法等を検討すると共に、第一段階として専門の講師を招いての職員研修を月２回実施するなど平成２７年度本格導入に向け準備を進めました。

・全体での「ヨガ教室」やグループごとの「ウォーキング」など、利用者一人ひとりに合った多様な健康活動に取り組みました。

②　　「きらりプロジェクト」の取り組みについて

・外部講師の指導のもと創作活動もさらに充実。利用者一人ひとりの手による個性豊かな作品の数々が季節ごとに形となって、利用者や学園を訪れる方々の目を楽しませることができました。中でも、現代美術館での展覧会は「きらりプロジェクト」の取り組みが結実する絶好の機会となるとともに、次なる挑戦への大きな一歩となりました。

・音楽活動グループ「へいせいレインボーズ」は、今年度もオハイエの活動に参加するなど、社会との関わりを深めるとともに利用者の大きな喜びや達成感に繋げることができました。

③　　個別送迎について

・１０月から取り組み始めた２便目の個別対応は、職員の日々の熱心な声かけもあって保護者への周知が図られ、６名の利用者の出席に繋げることができました。ほかにも保護者の入院による送迎の負担軽減や病院受診などの個別送迎利用のニーズを掘り起こし、柔軟に対応した結果、利用者から好評を得ることができました。今後も引き続きニーズ調査と運行スケジュールの見直しを行いながら、個別送迎２便目による稼働率 UP を目指します。

（２）　環境整備について

・6月からそらグループがふれあい棟、はばたき・ひだまりグループは１階ホールへ移動。利用者それぞれの個性に配慮した安全で、落ち着いたグループ活動がより可能となりました。

・ふれあい棟の多目的トイレの増設については平成２７年度着工に向け準備を進めました。

（３）　職員の資質向上について

・自閉症や行動障がい等の外部研修に積極的に参加し、様々な情報や知識・技術の習得を図るとともに、その内容については、内部での伝達研修等を通じて全職員へ周知し支援に繋げました。また、内部研修についても上述の「動作法」研修のほか、定期的に職員（社会福祉士）の講話や法人所属の理学療法士より助言を受け、重度者向けプログラムの展開に反映させました。

・職員一人ひとりが自己研鑽に励み、２名の職員が行動援護の資格を取得しました。

（４）利用者・保護者との連携強化について

・「はなぞの学苑と合同の保護者懇話会」など通常の保護者会以外にも意見交換等コミュニケーションの場を設け、利用者・保護者との信頼関係の構築に努めました。

・親子で一緒に活動する「ふれあい参観」を隔月実施し、利用者の日々の活動の様子を保

護者が体感できるよう、利用者や保護者の意見を取り入れながら内容の充実を図りました。

・「年度末アンケート」や「給食アンケート」等を実施し、次年度の学園運営に反映するよう全職員で検証しました。

（5）法人ほか関係諸機関との連携強化について

・利用者や保護者の高齢化にも対応すべく法人の機能（高齢者事業部等）についても保護者会等を利用して PR に努め、ご家族そろって安心した生活が送れるよう支援しました。

・「グループホームすまいる」のバックアップ施設として、学園職員がサビ管を兼務するとともに全職員でその運営を支えました。また、住まいの場のさらなる確保に向け、１月に障がい福祉部でグループホーム建設委員会を立ち上げ取り組みを開始しました。

・サービス管理責任者間の情報交換の場として西地区のサービス管理責任者協議会を発足させ、２ヶ月に１回の割合で実施。会合場所を各施設持ち回りに設定することで、サビ管にとどまらない施設間のネットワーク作りを進める機会となりました。ほかにも、自立支援協議会を通して相談支援部会、精神病院関係者、相談支援事業所に学園のパンフレットや送迎表を配布し広報活動を展開しました。

・各支援学校に定期的に訪問し、進路担当職員との情報交換や施設体験利用の案内をするとともに相談会にも参加し施設の PR に努めました。特に今年度は中学部の保護者を中心に「施設見学会」を実施し、見学後には実習生として受け入れることができました。

（6）地域交流について

・「へいせい交流サロン」の開催をはじめ、地元の小・中学校の「体育大会」等に出席するとともに、毎月の町内会合では広報誌を配布するなど情報の相互交換を行ないながら、地域との交流をさらに深めることができました。また、学園で作った農作物は地域の方々に好評で収益 UP に繋がりました。

・地域と保護者参加のさをり織りサークルや夏祭り、グランドゴルフやサッカークラブのバーベキュー等の地域イベントに場所を提供、受入にあたっては草かり等の環境整備に全職員で当たり交流の促進を図りました。

２．２６年度の成果

① 新規利用者は 1 名（在宅）で、3 名の退園者があり 3 月末日現在 59 名の利用登録状況となっています。

② 個別送迎への声かけや、第 2 便の利用をお勧めしましたが、稼働率は、ＭＡＸ利用者 15,900 人に対し、12,665 人で 79.7%となりました。

Ⅱ　入園者状況

1.　入退園の状況（２６年度）　　平成２７年３月３１日現在

区分＼月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	計
初日在籍者数	６１	６０	６０	６０	６０	６０	６０	６０	６０	５８	５９	５９	５９
入　　園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
退　　園	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3

2.　年齢別　　平成２７年３月３１日現在

年齢別／性別	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65 以上	計
男　　性	1	6	4	１３	6	1	0	３１
女　　性	0	１２	3	7	4	1	1	２８
合　　計	1	１８	7	２０	１０	2	1	５９

3.　能力別

程度／性別	最 重 度	重　　度	中　　度	軽　　度	計
男　　性	１９	１１	1	0	３１
女　　性	２３	2	3	0	２８
合　　計	４２	１３	4	0	５９
比率(%)	７１%	２２%	７%	０%	１００%

4.　障害程度区分

障害程度区分	未判定	1	2	3	4	5	6	計
男　　性	0	0	3	6	8	9	5	３１
女　　性	0	0	0	2	9	9	8	２８
合　　計	0	0	3	8	１７	１８	１３	５９

5.　併せ持つ障害の状況

障害／性別	Ｃ　Ｐ	ダウン症候群	てんかん性疾患	視聴覚障害	自閉的傾向	心因性疾患	その他	服薬中
男　　性	2	6	7	3	１７	1	2	１９
女　　性	3	2	9	2	8	1	１０	２１
合　　計	5	8	１６	5	２５	2	１２	４０

Ⅲ　年間行事

月	行　　事　　名	定 例 行 事	そ の 他 （来園者等）
4	着任式　　入園式　　４月保護者会 ヨガ教室　　音楽療法　　調理実習 内科健診	誕生会 体重測定 地域清掃 バス洗車	施設見学(看護師) 日産労連劇団
5	個別面談　　ふれあい参観 障害者スポーツ大会　　保護者懇親会 「時計台」広報誌配布 音楽療法　　ヨガ教室　　創作活動 バスハイク　　懇親会(保護者会)	誕生会 体重測定 避難訓練 地域清掃 バス洗車	熊本支援学校より施設見学 体験利用１名
6	個別面談（家庭訪問を含む） ６月保護者会 園外活動 調理実習 ヨガ教室　　音楽療法 しょうぶの里まつりに参加 熊本市手をつなぐ育成会定期大会音楽交流会（平成レインボーズ）	誕生会 体重測定 地域清掃 バス洗車	
7	戸別面談（家庭訪問を含む） ヨガ教室　　音楽療法　　創作活動 調理実習 ふれあい参観	誕生会 体重測定 避難訓練 地域清掃 バス洗車	三和中学ナイストライ受入４名 熊本支援学校より施設見学２名
8	平成夏祭り ８月保護者会 へいせい交流サロン スペシャルデー　　ヨガ教室 音楽療法　　園外活動 熊本水灯り展	誕生会 体重測定 地域清掃	八代農業高校教諭初任者研修１名 九看大実習１名 熊本学園大学実習１名 社会福祉専門学校実習１名
9	「時計台」広報誌配布 熊本県親善スポーツ大会 創作活動　　ヨガ教室　　音楽療法 園外活動　　スペシャルデー 調理実習　　ふれあい参観	誕生会 体重測定 地域清掃	九看大実習１名 熊本社会福祉専門学校実習１名 熊本学園大学実習１名 熊本支援学校実習１名
10	10 月保護者会 ふれあい祭 内科健診 熊本市大運動会 調理実習　　ヨガ教室　　音楽療法 スペシャルデー	誕生会 体重測定 地域清掃	九看大実習１名 熊本学園大学実習１名 熊本支援学校実習１名
11	親子旅行　　ゆうし祭　　創作活動 小島小学校交流会参加 園外活動　へいせい交流サロン 調理実習　　園内バーベキュー ヨガ教室　　音楽療法　ふれあい参観 希望荘作品展示　　内科健診	誕生会 地域清掃 体重測定	体験実習１名 ひかりの森支援学校見学２名
12	12 月保護者会　　スペシャルデー レストランマナー学習 クリスマス会　　冬の灯り展 ハートウィーク参加 園外活動　　小島郵便局展示 音楽療法　　調理実習　　ヨガ教室 へいせい交流サロン	誕生会 地域清掃 体重測定	

月	行　　事　　名	定 例 行 事	そ の 他 （来園者等）
1	園外活動　　退園式 県立美術館分館（県美展） 買い物学習　　園内成人式 ふれあい参観　　ヨガ教室、音楽療法、 「時計台」広報誌配布 レインボーズ長寿の里へ	誕生会 体重測定 地域清掃	松橋西支援学校見学２名 新採研修２名
2	２月保護者会 園内スポーツレクレーション 調理実習　　ヨガ教室	誕生会 体重測定 地域清掃 避難訓練	九看大実習１名 新採研修１名 西消防署立入検査
3	園外活動 ふれあい感謝の集い オハイエ熊本参加 新入園者利用開始（２名） 調理実習、音楽療法、 現代美術館展示会 スペシャルデー	誕生会 体重測定 地域清掃 避難訓練	九看大より教諭来園

Ⅳ　平成２６年度職員研修

月	場　　所	研　　修　　名　　（園外）	研 修 名（園内）
４月	熊本市	事業団新人研修（2 名）　みなわ講演会（3 名）	動作法研修会 （2 月まで）
５月	熊本市	人権倫理研修（１名）　　人事考課研修１名	
６月	熊本市	新任施設外研修（2 名）サビ管協議会研修（１名） 自閉症及び発達障害の行動と支援（2 名）	
７月	益城町 熊本市	ゆいの郷見学（全希望者）人権倫理研修（1 名） 介護支援専門員更新研修（１名） 安全運転管理者研修(１名) 事業団新人研修（２名）	管理職研修１名 事業団新人研修（２名）
８月	熊本市	施設外研修（１名）　サビ管協議会研修（２名） 人権同和問題指導者研修会（１名） 一次考課者研修（３名）	
９月	熊本市	アンガーマネジメント入門研修（１名） 会計研修（１名）	
１０月	青森県 熊本市 鹿児島県	全国知的障害福祉関係職員研究大会（１名） 九州地区知的障害施設関係職員研修大会（１名） ボランティアコーディネート養成研修（1 名） 労務研修(１名)　　サビ管協議会研修（２名） アンガーマネジメント入門研修（１名） 鹿児島県強度行動障害支援初任者研修(１名) 福祉職員レクレーション研修（１名）	
１１月	熊本市	全国自閉症者施設協議会熊本大会（１名） 管理職職員研修（１名）営業・広報研修会（２名）	
１２月	熊本市	施設職員・家族合同研修（1 名） 福祉施設感染対策研修会（１名） 施設職員・家族合同研修（３名） 初任者キャリアアップ研修会（1 名） 福祉法人法令関係研修会（1 名） サビ管協議会研修（２名）	新規採用職員フォローアップ研修（２名）

月	場　　所	研　　修　　名　　（園外）	研 修 名（園内）
１月	熊本市	H26 障害施設支援連絡協議会（1 名） 県知的施設長連絡会（1 名）	
２月	熊本市 菊陽町	成年後見制度利用促進研修会（１名） 行動障害、支援についての研修会（２名） コーチング研修（３名） サビ管協議会研修（１名）	
３月	熊本市	社会福祉連合会研修（２名）	

グループホームすまいる

１　２６年度の取り組み

① ご利用者の誕生会をはじめ、暑気払い焼き肉大会や忘年会など、ご利用者が楽しくホームでの生活が送れるよう様々な行事を行いました。また、これらの行事には、ご家族もご案内し、参加していただくことで、ホームでの生活を見て頂き、安心・安全を感じていただくことと、その運営にご理解・ご協力をいただくことに努めました。

② 地域行事への参加や地域の方々との関わりは十分に果たすことができず、今後の課題となりました。

③ 毎月全職員によるスタッフ会議を開催し、支援状況の確認や問題点の共通認識・解決すべき課題や取り組みについて話し合い、ご利用者が楽しく安心して生活が出来るよう努めました。また、防災マニュアルをはじめとした各マニュアルの整備を行い、利用者の健康と安全・安心を守る取り組みを行いました。

２　２６年度の成果目標

① 地域行事への参加は今後の課題となりました。また、避難訓練については、防災マニュアルの作成にとどまりました。

② ご家族アンケートについては、家族会の開催時、また行事へご参加いただいた際に直接聞き取りを行い、ホームの運営・利用者支援の改善に生かすことができました。

相談支援センターきらり

利用者が、社会の中で持てる力を最大限に発揮できるように環境を整え、「きらり」と輝く人生を送れるよう支援します。

1　26年度の取り組み

① はなぞの学苑、平成学園の利用者のサービス利用計画を確実に確保し、作成とモニタリングを行いました。

② サービス利用計画の作成に当たっては、両施設のサービス管理者の協力の下、的確な支援計画がスムーズに作成できるように連携を強化しました。

③ 法人が持つスケールメリットを活かし、利用者の高齢化に対応したサービスの充実を図るために訪問介護課と連携し、利用者への包括的でワンストップの支援を目指すとともに、高齢の家族への支援をコーディネイトするなどして質の高い相談サービスを提供しました。

2　26年度の成果目標

① はなぞの、平成の両施設と連携しながら、両施設利用者のサービス利用計画の作成82件（平成27年4月1日現在）を達成しました。

② 事業団訪問介護を利用する居宅介護サービスの受給者に対して、計画相談の対象者となるよう、重点的に獲得に努めました。

③ 事業所の計画相談件数は３２５人（平成27年4月1日現在）を達成しました。

3　26年度の実績

基本相談件数（延べ）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
相談件数	272	306	325	446	437	471	507	429	463	563	623	744	5,586
前年	36	60	62	72	88	89	106	111	100	96	92	126	1,038

計画相談件数（延べ）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
プランニング	16	15	17	12	17	12	16	20	20	23	11	50	229
前年	11	4	19	16	24	10	21	17	19	11	18	14	184

モニタリング	16	20	21	15	15	21	21	12	19	22	6	27	215
前年	20	28	26	17	22	23	14	18	17	21	19	17	242